

関西労災病院
臨床・学術業績集

2010年

目 次

臨床業績集	ページ
内 科	1
環境医学研究センター	
（シックハウス診療科）	8
循環器科	9
心療内科・精神科	15
小 児 科	16
外 科	17
整形外科・スポーツ整形外科	27
形成外科	34
脳神経外科	36
心臓血管外科・呼吸器外科	38
皮 膚 科	40
泌尿器科	41
産婦人科	47
眼 科	50
耳鼻咽喉科	52
リハビリテーション科	57
放射線科	60
麻酔科・中央手術部	62
救急部・重症治療部	63
病 理 科	66
歯科口腔外科	67
栄養管理室	69

学術業績集	ページ
内 科	71
環境医学研究センター	
（シックハウス診療科）	74
循環器科	75
心療内科・精神科	79
小 児 科	80
外 科	81
整形外科・スポーツ整形外科	91
形成外科	94
脳神経外科	95
心臓血管外科・呼吸器外科	96
皮 膚 科	97
泌尿器科	97
産婦人科	99
眼 科	100
耳鼻咽喉科	102
リハビリテーション科	103
放射線科	103
麻酔科・中央手術部	104
病 理 科	105
歯科口腔外科	106
医療情報部・診療情報管理室	107
薬 剤 部	107
看 護 部	108
検 査 科	110
栄養管理室	110
勤労者予防医療センター	111
産業中毒センター	112
教育・研修センター	112

＜ 凡 例 ＞

〔1〕臨床業績集

下記した4つの臨床指標に基づき、各科(グループ)ごとにまとめた。

- (1) 人材と設備に関する指標
- (2) プロセスに関する指標
- (3) 経験値に関する指標
- (4) アウトカム指標

〔2〕学術業績集

1. 収載範囲

この学術業績集は平成22年1月より12月までに発表された学会、研究会発表、論文、テレビ・ラジオ講演、新聞等公にされた記事で、著者が関西労災病院に所属し、関西労災病院の所属名で発表・掲載された学術業績を集録した。学会・研究会等の座長、および院内職員のみ対象の講演・発表はこの業績集には含まない。

また、学会・研究会での発表ならびに掲載論文・著書については、医学・医療に関するものに限って掲載した。

2. 各科毎に下記のように構成した

(1) 論文・著書

a 論文発表

表題

著者名

掲載誌名、巻(または号)、始頁－終頁、発行西暦年

b 著書

表題

書名、始頁－終頁、発行所、発行西暦年

(2) 学会報告(国際学会→国内学会)

演題

発表者名

発表学会名、発表年月日、地名

(3) 講演会やテレビ出演

表題

発表者名

講演会名(番組名)、発表年月日(収録年月日)、地名

(4) 主催研究会

主催者名

研究会名、開催年月日、地名

3. 配 列

(1) 論文発表・著書

誌名(著書名)の欧文(アルファベット順)、和文(50音順)順、ページ順。

(2) 学会報告、講演会やテレビ出演、主催研究会

開催日順に配列

序

関西労災病院「臨床・学術業績集2010」刊行にあたって

このたび関西労災病院の2010年(平成22年)版「臨床・学術業績集」が発刊のはこびとなりましたので、ここに関係各位にお届け致します。

関西労災病院におきましては社会構造の変遷と医療技術の飛躍的な進歩に伴い、取り扱う対象疾患も、診療内容も年々変化しつづけています。

勤労者医療、地域医療そして南阪神医療圏における急性期高度医療に対応する基幹病院としての責務がより明確になり、全職員も使命感をもって当院の更なる発展に邁進しています。そしてがん診療連携拠点病院、地域医療支援病院の承認を受け、地域医療圏のみならず関西一円、さらに広範囲の方々からも信頼される病院に躍進しつつあります。「ガイドラインに沿った標準治療・高度医療の推進」、「チーム医療の拡大」を診療基本方針として掲げて職員一同奮闘しています。最近では取り扱う臨床症例数が増加の一途をたどっているのみならず、個々の症例に対してより高度で良質な医療の提供が求められています。「豊富な取り扱い症例数」と「高度かつ良質な医療」の両立という課題を実現するためには、臨床実績と学術業績という医療機関のいわば両輪となるものを毎年再点検し、世の批判を仰ぎ、そして新たな医療技術の発展に繋げていくプロセスを継続していく努力が必要です。良質な医療をより多くの人々へ、そして医療の結果は臨床研究として学会発表や論文発表を通じて世に問うことで新たなエビデンスの確立、新たな医療技術の発展へと広がってゆくのです。

本業績集では例年通り各診療科ごとに臨床実績と学術業績について掲載しています。臨床実績については臨床指標として、1) 人材と設備 2) プロセス 3) 経験値 4) アウトカムの4項目に沿ってまとめていますので、より具体的な診療内容や臨床成績、合併症頻度などがご理解いただけるかと思います。また学術業績については論文、学会報告や講演などに分類してタイトル、著者を掲載しています。国内のみならず海外での学会活動・論文発表も活発になりつつあるところをご覧いただけるかと存じます。中でもご興味、ご批判のある論文などございましたら当院にご連絡いただければ更なる情報提供も可能かと思います。

医療を取り巻く環境は厳しさを増していますが「安全で良質な医療を提供する」という基本理念を追求しつづければ、結果としてその厳しい状況を乗り越えることができると信じています。本業績集はその「安全で良質な医療を公開する」役割を果たしています。林紀夫院長体制2年目を迎え、今後も当院の使命を忘れることなく全職員が医療の向上のため職務に専念し、なおかつ学術活動推進にも精力的に取り組んでまいり所存です。

関係各位におかれましても本業績集に対し忌憚の無いご意見ご指導を賜れば幸甚です。

平成23年6月吉日

独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院

副院長 大園 健 二

臨床業績集

〔消化器内科〕

1. 人材と設備

人 材

消化器内科は2010年4月以降、萩原秀紀部長以下8人の常勤医、4人のレジデントで肝臓、消化管疾患を中心とする消化器疾患全般に対応しており、消化器外科、放射線科などとも連携をとりながら診療を行っている。2011年1月には望月圭が赴任し、常勤医が1人増員となった。日本消化器病学会専門医8人(指導医3人)、日本肝臓学会専門医6人(指導医2人)、日本消化器内視鏡学会専門医8人(指導医1人)、日本内科学会認定内科医10人が在籍し、日本消化器病学会、日本肝臓学会、日本消化器内視鏡学会の認定指導施設となっている。萩原は兵庫県肝炎対策協議会委員および大阪府肝炎肝がん対策委員会委員に任命されており、当院は肝疾患専門医療機関に指定されている。

設 備

内視鏡関連では、上部消化管内視鏡、大腸内視鏡に加え、2005年からダブルバルーン小腸内視鏡を導入、2008年からカプセル内視鏡も導入した。内視鏡システムは狭帯域光観察(NBI)機能にも対応しており、内視鏡的止血には高周波手術装置、アルゴンプラズマ凝固装置を使用している。2011年に超音波ガイド下生検が可能であるコンベックス型超音波内視鏡を導入した。

肝悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法には、クールチップ型電極(Radionics社)と展開型電極(Boston Scientific社)を症例に応じて使い分けられるように2種のラジオ波焼灼装置を使用している。腹部超音波はソナゾイド使用の造影超音波検査に対応可能な機器を有している。

2. プロセス

(1) 使用しているクリティカルパスと対象疾患

- ①内視鏡的粘膜切除術：消化管の腫瘍性疾患(腺腫、早期癌など)
- ②内視鏡的粘膜下層剥離術：消化管の腫瘍性疾患(主として胃の早期癌)
- ③大腸内視鏡検査：大腸疾患
- ④エコーガイド下肝生検：肝炎などの肝機能障害、肝腫瘍
- ⑤経皮的ラジオ波焼灼療法：肝悪性腫瘍
- ⑥経皮的エタノール注入療法：肝悪性腫瘍
- ⑦経カテーテル的動脈塞栓術、動注療法：肝細胞癌
- ⑧慢性肝炎に対するインターフェロン療法：C型慢性肝炎

C型慢性肝炎については地域連携パスを作成している。

(2) 治療方針の決定

肝癌、食道癌、胃癌、大腸癌については消化器外科、放射線科などと定期的にカンサーボードを開催し、最新のガイドラインや治療指針に基づき、治療方針を決定してい

る。その他の疾患についても、週1回の消化器内科カンファレンスおよび内視鏡カンファレンスで治療方針の決定、確認を行っている。

3. 経 験 値

(1) 入院患者数

2010年の年間入院患者数は1,464人で、平均在院日数は10.2日。

(2) 疾患の内訳(のべ症例)

- ①肝疾患：C型慢性肝炎62例、肝細胞癌262例、慢性肝不全20例など
- ②胆道疾患：胆道癌29例、胆嚢・胆管炎36例、胆管結石47例など
- ③膵疾患：膵癌39例、急性膵炎17例など
- ④消化管疾患：食道癌33例、食道胃静脈瘤35例、上部消化管出血89例、胃癌70例、胃腺腫・ポリープ19例、大腸腺腫・ポリープ232例、大腸癌69例、大腸憩室炎・腸炎・下部消化管出血91例、炎症性腸疾患17例、イレウス23例など

(3) 検査・治療件数

①内視鏡関連検査・治療

1) 上部消化管内視鏡	4,575件
2) 大腸内視鏡	2,061件
3) 小腸内視鏡	36件
4) 内視鏡的止血術	113件
5) 内視鏡的食道・胃静脈瘤硬化・結紮術(EIS/EVL)	59件
6) 内視鏡的粘膜切除術(EMR)	310件
7) 内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)	45件
8) 内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)	128件
9) 内視鏡的胆管結石除去術・ステント留置術	60件
10)内視鏡的消化管ステント留置術	4件

②肝臓・胆道関連検査・治療

1) 腹部超音波	4,094件
2) 超音波ガイド下肝生検	107件
3) 経皮的ラジオ波焼灼療法(RFA)	52件
4) 経皮的エタノール注入療法(PEIT)	20件
5) 経カテーテル的動脈塞栓術・動注化学療法(TAE/TAI)	171件
6) 経皮経肝胆道ドレナージ術(PTBD)	14件
7) C型慢性肝炎に対するインターフェロン療法導入	59件

(4) 消化器(肝臓)病教室

肝臓病と食道・胃静脈瘤に関して6回の教室を開催した。

現在、内視鏡室の移設、拡充計画が進行中であり、内視鏡センターの整備、超音波機器の更新を進めるとともに、地域医療における中核病院の消化器内科として、専門性を追求しつつ幅広い疾患にも対応し、高度医療が提供できる体制を構築していく予定である。

〔糖尿病・代謝内科〕

1. 人材と設備

スタッフ 2人

日本糖尿病学会 指導医 山本 恒彦

日本糖尿病学会 専門医 林 功

レジデント 2人

日本糖尿病学会 学会員 山本 裕一

日本糖尿病学会 学会員 光井 絵里

2. プロセス

クリティカルパス 1つ(糖尿病教育入院・インスリン導入・腎症管理に対応)

治療方針は日本糖尿病学会の指針に基づく。

3. 経 験 値

外来部門

平成22年12月31日時点で、外来予約患者数827例

うちわけ；

糖尿病753例

食事療法のみ10例、経口血糖降下薬244例、

インスリン療法302例、経口血糖降下薬とインスリン併用173例、CSⅡ 24例

内分泌疾患(甲状腺機能異常、アジソン病、原発性アルドステロン症、クッシング病、MENⅠ型、末端肥大症、下垂体機能低下症)31例

高脂血症、その他 43例

外来患者を対象とした

「糖尿病スクール」12回／年

入院部門

入院患者数のべ 244例／年

糖尿病 182例(2型糖尿病168例、1型糖尿病8例、

妊娠糖尿病又は糖尿病合併妊娠又は計画妊娠6例)

内分泌疾患 23例(下垂体、甲状腺、副腎疾患)

その他 39例(感染症・脱水、腎機能低下など)

入院患者を対象とした

「糖尿病教室」120回／年

4. アウトカム

疾患別の死亡率・合併症率・回復率など
なし

〔腎臓内科〕

1. 人材と設備

常勤医：3人

後期研修医：3人

日本内科学会認定医 3人、日本内科学会総合内科専門医 1人

日本腎臓学会専門医 3人、日本腎臓学会指導医 1人

日本透析医学会専門医 3人、日本透析医学会指導医 1人

血液透析用ベッド：20床(透析センター)

血液透析個人用コンソール：15台

個人用透析装置：6台

個人用逆浸透精製水作成装置：2台

持続血液濾過透析(CHDF)装置：3台

多目的用血漿交換装置：1台

LDL吸着用装置：1台

腹膜透析外来専用診察室：1室

2. プロセス

クリティカルパス：

腎生検入院パス

腹膜透析導入パス

血液透析導入パス

治療方針：検尿異常の精査から、院内各科と協力しての長期透析患者の合併症治療まで、腎臓病のほぼ全領域(腎移植を除く)をカバーする診療を行っている。

腹膜透析療法・腎性貧血・透析患者の二次性副甲状腺機能亢進症に関する治療など学会作成のガイドラインが存在する疾患に関してはガイドラインに基づく診療を行っている。

3. 経 験 値

腎臓病教室：医師・看護師・薬剤師・医療ソーシャルワーカーなど多職種で協力してさまざまな方面からの医療情報を提供することを目的として開催している。

腎不全教室：年2回（2010年は合計61人参加）

腹膜透析教室：年1回(2010年は5人参加)

腎不全保存期指導：腎機能低下が進行し、食事指導や生活指導をよりきめ細かく行わなければならない症例や、透析療法の選択(血液透析・腹膜透析)を行わなければならない症例に対しては、透析センター看護師による個別の保存期指導を随時行っている。

2010年：67回

腎生検：慢性腎炎症候群やネフローゼ症候群・急速進行性糸球体腎炎症候群などで、組織型が不明の場合には積極的に腎生検を行い、組織型によって治療方針を立てている。腎生検はエコーガイド下で、大きな合併症なく安全に施行できている。

IgA腎症と診断した場合には近年注目されている扁桃腺摘出＋ステロイドパルス療法を積極的に行っている。

(腎生検施行数)

2007年：36例

2008年：32例

2009年：37例

2010年：33例

慢性維持透析療法導入：保存期慢性腎不全症の治療にも力を入れているが、不幸にして腎機能が著明に低下した場合には、血液透析にするか腹膜透析にするかを、十分な説明を行い、本人の意思も尊重して選択を行っている。

血液透析導入患者：

2007年：46例

2008年：49例

2009年：60例

2010年：81例

腹膜透析導入患者：

2007年：10例

2008年：3例

2009年：1例

2010年：1例

血液浄化療法：検査・治療目的で他科に転入となる透析患者数が増加している。また急性腎不全や敗血症・多臓器不全などで急性血液浄化を依頼される症例数も増加している。

当院透析センターでの総血液透析患者数(繰り返し入院症例も含む)

2007年：496例

2008年：492例

2009年：629例

2010年：529例

血液透析・腹膜透析以外の特殊血液浄化療法として

- 循環動態の不安定な症例に対する持続血液濾過透析(CHDF)
- 術後肝不全・劇症肝炎に対する全血漿交換(PE)

- 全身性エリテマトーデスやクリオグロブリン血症に対する二重膜濾過血漿交換(DFPP)
- 敗血症性ショックに対するエンドトキシン吸着(PMX)
- 家族性高コレステロール血症や巣状糸球体硬化症に対するLDLアフェレーシス
- 潰瘍性大腸炎・関節リウマチに対する白血球除去療法も施行している。

〔血 液 内 科〕

1. 人材と設備

人員：スタッフ 1人(血液学会専門医)

設備：ヘパフィルター装備治療室 2床

2. プロセス

クリティカルパス：悪性リンパ腫に対する標準的治療(R-CHOP)

リツキサン、ベルケイドなど分子標的治療

治療方針は、EBM、ガイドラインに準じて行う。

3. 経 験 値

1) 2010年度の疾患別入院患者

悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、白血病などの造血器腫瘍 100人

その他 10人

2) 検 査

骨髄検査、遺伝子検査、染色体分析、表面マーカー、PET検査など

3) 治 療

化学療法、抗体療法：約100例

外来化学療法：約100例

末梢血幹細胞採取・移植：2例

慢性骨髄性白血病の分子標的治療：3例

4. アウトカム

悪性リンパ腫：5年生存率60%

急性白血病：初回寛解率60%

〔呼吸器疾患〕

1. 人材と設備

人材：スタッフ 1人

2. プロセス

クリティカルパス 1(気管支鏡)

治療方針はEBM、ガイドラインに準じて行っている

3. 経 験 値

1) 肺癌、胸腺癌

癌化学療法／癌化学療法＋放射線療法：57人

分子標的治療(イレッサ、タルセバ等)：10人

BSC：8件

抗癌剤の使用は初回治療のみ入院にて行い、以後は外来化学療法に移行して治療を継続していく。

分子標的薬の使用は、投与2週間のみ入院にて経過観察、以後は外来にて治療を継続していく。

2) 良性疾患

間質性肺炎、気管支喘息、COPD、結核・非結核性抗酸菌、肺炎等に対応
(現在、人員不足のため、基本的に良性疾患は外来のみでの対応である。)

3) 検 査

気管支鏡検査 94件／年

(心臓血管外科とともに施行している)

環境医学研究センター診療科(シックハウス診療科)

1. 人材と設備

スタッフ：医師、平田 衛；検査技師、吉田辰夫；看護師、三浦千香子・大下 歩
日本医師会認定産業医 1 人、日本産業衛生学会指導医 1 人、労働衛生コンサルタント(保健衛生) 1 人

設備

曝露負荷用クリーンルーム、瞳孔反応検査装置(イリスコーダ)、指標追跡眼球運動検査装置、肺機能検査装置

2. プロセス：該当せず。

3. 経 験 値

症例数：35人

シックハウス症候群14人、特発性環境不耐症(所謂「化学物質過敏症」) 5 人、精神疾患疑診 8 人、その他 8 人。その他のうち 2 例は職業性の化学物質取扱による健康障害であった。また、産業中毒センター経由の受診者が 5 人あった。

4. アウトカム：該当せず。

循 環 器 科

1. 人材と設備

人 材

循環器科は、上松循環器部長兼院長補佐を循環器グループ長とする常勤医10人、レジデント医師5人のスタッフから構成される。また1、2年次の臨床研修医2～3人の指導を行っている。心臓血管外科と協力して循環器系独自の当直体制をとり、循環器救急疾患に24時間対応可能な体制を敷いている。

認定医、専門医等の資格に関しては、日本内科学会認定内科医7人、日本循環器学会専門医6人、日本超音波医学会指導医3人、同専門医2人、日本心臓病学会特別正会員(FJCC)3人、日本心血管インターベンション学会指導医2人、日本心血管インターベンション学会認定医1人、日本救急医学会救急科専門医1人、米国心臓病学会特別正会員(FACC)2人を擁する。

設 備

医療機器としては、心臓カテーテル検査のためのシネアンギオ装置(フィリップス社製および東芝製)を有し、緊急カテーテル検査に24時間対応可能となっている。カテラボでは血管造影に加えて血管内超音波や血管内視鏡も施行可能である。非侵襲的検査部門では冠動脈CT(東芝 320列)、超音波診断装置(東芝、GE、フィリップス社製)、ホルター(フクダ電子)、負荷心筋シンチグラフィのためのガンマカメラ(GE社製)が稼動中である。

2. プロセス

当科で使用可能なクリティカルパスとその対象症例

- ① CAGパス：狭心症、心筋梗塞など、冠動脈造影の適応となる疾患
- ② ペースメーカー電池交換パス：体内式ペースメーカーをすでに植え込まれている症例で、電池交換が必要と判断された症例
- ③ 急性心筋梗塞パス：急性心筋梗塞と診断された症例のうち当科が定める急性心筋梗塞患者さんを対象とした包括的心臓リハビリテーションの施行が可能と判断された症例

3. 経 験 値

関西労災病院循環器科における近年の冠動脈インターベンション治療(PCI)の動向

2010年度のPCI総件数は524件であり例年通りの件数を維持している。ここ数年、当院が近隣の心疾患系重症治療の拠点病院としての役割が高まる中、緊急PCIを必要とする救急患者の受け入れが困難となる集中治療室の慢性的な満床状態が続いていた。2007年7月より心臓血管センターを開設した結果、救急患者の受け入れ体勢も整備され、急性心筋梗塞・不安定狭心症の症例は増加し、緊急PCI件数は2010年度も146件であり近隣の病院等からの紹介患者は増加している。これらの緊急症例に加え、最近ではDESの導入によりPCIの適応拡大が進んでおり、従来のバイパス手術適応患者に対するPCI依頼を目的とした紹介患者が増え

ている。このように複雑病変に対するPCIが増加しているにもかかわらず、PCI成功率は高い数字を維持している。

心臓血管センター開設後、PCI件数のみならず心疾患系重症患者数も増加傾向にある。同センターにおいては、ハード面においては施設基準を満たしたCCUが併設され、ソフト面においても集中治療専門ナースも配属され、より高度な心臓集中治療が施行されている。近隣の医療施設や救急隊とこれまで以上に密な連携をとり、心疾患系重症治療の拠点病院としての役割を果たしていきたい。

冠状動脈インターベンション(PCI)治療症例数

近年5年間のPCI年次推移

	2005	2006	2007	2008	2009
総 PCI 件 数	498	447	523	485	504
待 機 的 PCI	351	296	337	316	358
緊 急 の 割 合	29.5%	33.8%	35.6%	34.9%	28.9%

時間外緊急PCI治療の内訳

	2005	2006	2007	2008	2009
緊急PCI件数	147	151	186	169	146
急性心筋梗塞	126	98	133	111	104
不安定狭心症	21	53	53	58	42

下肢血動脈インターベンション(EVT: Endovascular Therapy)の動向

我が国における食生活の欧米化を含めたライフスタイルの変化と高齢者の増加は、高血圧・高脂血症・糖尿病等の生活習慣病の著しい増加をもたらし、なかでも脳・心血管疾患等の動脈硬化性疾患は増加しつつある。末梢血管の動脈硬化により生じる下肢閉塞性動脈硬化症も例外ではない。近年当科においても積極的にこの分野に対するカテーテル治療を施行している。症例は年々増加傾向であるが、その背景には開業医や中小病院との病診連携が整い始めたことにある。実際に動脈硬化性疾患であるにも関わらず、循環器内科・心臓血管外科(以下専門外来)以外からの紹介症例が増加している。今後も更なる連携を深め、この領域に対する治療を継続していくことが必要である。

昨年は末梢血管に対するインターベンション治療は年間症例数776件であり、順調に症例数が増加している。特に心臓血管外科と開始した大動脈ステントグラフト術は2009年度で前年度の2倍以上の27件であった。さらなる症例数の増加が期待できる。今後は更に心臓外科と胸部大動脈ステント術、脳外科と協力しての頸動脈ステントを施行していく予定である。

年	大動脈-腸骨動脈領域	大腿膝窩動脈領域	膝下動脈領域	その他	合 計
1999	3	2	0	0	5
2000	9	14	0	0	23
2001	32	25	0	0	57
2002	45	24	0	0	69
2003	50	72	1	1	124
2004	53	99	29	4	185
2005	83	136	107	6	332
2006	138	200	134	17	489
2007	217	241	130	31	619
2008	193	237	149	44	623
2009	189	332	180	75	776

その他：鎖骨下動脈、腎動脈、透析シャント、大動脈ステントグラフト

不整脈に対する治療症例数

不整脈の分野においては、約10年前より心房細動に対するカテーテルアブレーション(心筋焼灼術)、致死性不整脈に対する植込み式除細動器、また心不全に対する両心室ペースメーカーの植込みが行われるようになり治療の対象になる患者も増加してきている。当院においても不整脈に対するデバイス治療やカテーテルアブレーション治療は年々増加しており、特にカテーテルアブレーション(心筋焼灼術)において昨年度は100症例を超え、症例数は飛躍的に増加している。これは、心房細動に対するカテーテルアブレーション治療を本格的に行い始めたことや、近隣の病院からの紹介が増えてきていることが原因と考えられる。また、現在はCARTOシステムやEnSiteシステムといった3Dマッピングシステムを併用し、心房細動だけでなく心室頻拍といった難易度の高い不整脈に対しても積極的に治療をおこなっている。今後はさらに近隣の病院との連携を深めより質の高い総合的な治療を24時間体制にて行っていくつもりである。

□ペースメーカー手術症例数

● 新規ペースメーカー植込み術及び電池交換術施行数

			新規ペースメーカー 植込み術	電池交換術
	ペースメーカー 治療総数(人)	平均年齢(歳)	総 数(人)	総 数(人)
1999年	73	69.0	49	23
2000年	68	69.4	43	23
2001年	75	70.5	54	19
2002年	83	73.0	61	22
2003年	71	72.1	50	19
2004年	92	71.0	59	25
2005年	118	72.0	65	36
2006年	109	69.8	82	27
2007年	115	76.8	74	41
2008年	134	74.2	78	56
2009年	154	75.4	84	70

●埋込み型徐細動器(ICD)植込み術数

1999年：1人 2000年：2人 2001年：2人 2002年：0人 2003年：2人
 2004年：6人 2005年：6人 2006年：11人 2007年：14人
 2008年：15人(うち2人は交換) 2009年：9人

●心臓再同期療法／(植え込み型徐細動器付き)両心室ペーシング(CRT or CRT-D)施行術

2004年：2人 2005年：11人 2006年：5人 2007年：7人
 2008年 CRTD新規：12人 CRTD交換：1人 CRT-P交換：1人
 2009年 CRTD：8人(新規+交換)

●緊急一時ペーシング施行数

1999年：14人 2000年：17人 2001年：24人 2002年：21人 2003年：29人
 2004年：23人 2005年：26人 2006年：43人 2007年：42人 2008年：38人

□心筋焼灼術(カテーテルアブレーション)治療症例数

(1999年～2009年1月まで)

1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
3	7	7	9	19	26	37	66	93	111	119

冠動脈CT

当院では、2009年3月に320列エリアディテクターCTを増設した。外来における冠動脈CT検査の準備を進め、ようやく2009年4月より本格稼働の運びとなった。稼働後、2ヶ月

間で約150例の症例を重ね、撮影～画像解析まで円滑な運用ができるようになった。CT装置の多列化が進み64列CTが普及する中、今回、当院に導入となった最新の320列CTは、16cmの幅広い検出器を持ち、心臓を1回転、わずか0.35秒で撮影することができ、造影剤量および被爆量の低減が可能である。この320列エリアディテクターCTによる冠動脈CT検査は、狭心症をはじめとした心疾患患者の診療において、迅速な診断と治療方針の決定に役立つものと考えている。

心臓リハビリテーション

急性心筋梗塞 85人

末梢動脈疾患 58人

開心術後(CABG、弁疾患) 43人

狭心症 9人 慢性心不全 32人

循環器疾患関連検査総数

年度	心エコー 図検査	下肢動脈 エコー検査	心臓核 医学検査	ホルター 心電図検査	冠動脈CT	心臓カテ テル検査
1997	2,413		1,321	659		1,458
1998	2,855		1,454	574		1,512
1999	3,241		1,430	670		1,465
2000	3,792		1,356	670		1,456
2001	4,277		1,663	712		1,575
2002	4,057		1,392	744		1,540
2003	4,308		1,295	807		1,552
2004	4,383		1,449	823		1,845
2005	4,748		1,539	870		2,020
2006	4,843	59	1,140	987		2,178
2007	5,451	836	1,190	1,040	18	2,469
2008	5,993	1,360	1,417	926	37	2,563
2009	6,143	1,606	1,344	846	97	2,636

4. アウトカム

冠動脈インターベンションの治療成績

	2005	2006	2007	2008	2009
手術成功率 (%)	97.2	98.6	99.1	97.5	98.2
不成功手技数*	15	7	4	12	9
術合併症数** (%)	4(0.7)	7(1.4)	7(1.4)	3(0.6)	10(1.9)
死 亡 数(待機例)	0	0	0	0	0

*：標的病変のバルーン不通過もしくは、治療後の冠血流TIMI-0/I数。

**：冠閉塞・冠穿孔、輸血を必要とした出血、感染、塞栓症及び待機症例における心不全死を含む。

割合は、手技数あたりで算出。

下肢閉塞性動脈硬化症・末梢血管疾患に対する治療(末梢血管インターベンション)成績

- 1) 調査期間：1999年9月から2009年12月迄
- 2) 手術方法：経皮的末梢血管形成術(EVT: Endovascular Therapy)
- 3) 治療成績：総症例数：2,526病変(腸骨動脈領域：823例、大腿膝窩動脈領域：1,050例、膝窩動脈以下3分枝：例、腎動脈：15例、鎖骨下動脈：19例、シャント不全：69例、大動脈ステントグラフト：13例)

	腸骨動脈領域	大腿膝窩動脈領域	膝下動脈領域
初期成功率	97%(802/823)	96%(772/813)	93%(373/550)
狭窄病変	99%(592/593)	100%(615/615)	99%(259/260)
完全閉塞病変	92%(219/239)	89%(389/435)	87%(253/290)

ペースメーカー治療成績

植え込み成功率

1999年：100% 2000年：100% 2001年：100% 2002年：100%
 2003年：100% 2004年：100% 2005年：100% 2006年：100%
 2007年：100% 2008年：100% 2009年：100%

●合併症数

1999年：2人 2000年：2人 2001年：2人 2002年：3人 2003年：4人
 2004年：2人 2005年：4人 2006年：3人 2007年：3人 2008年：7人

術後急性期合併症：リード移動に伴う再固定施行 5人

気胸 1人 外科的血腫除去術 1人

術後慢性期合併症：リード断線に伴うリード再挿入施術 1人 創部感染 2人

心療内科・精神科

1. 人材と設備

スタッフ

医 師 3人

精神保健指定医 2人

日本精神神経学会専門医 2人、指導医 2人

日本老年精神医学会専門医 1人、指導医 1人

日本緩和医療学会指導医 1人

日本医師会認定産業医 1人

日本職業・災害学会評議員 1人

日本総合病院精神医学会評議員 1人

臨床心理士 3人(うち2人が勤労者メンタルヘルスセンターでカウンセリング業務に従事)

日本臨床心理士資格認定協会認定臨床心理士 3人

設備・機器

リラクゼーション機器 2台

2. プロセス

治療方針は日本精神神経学会および日本心身医学会の方針にもとづいている。

小 児 科

1. 人材と設備

スタッフは3人で、うち2人が日本小児科学会認定小児科専門医。

2. プロセス

クリティカルパスは川崎病、低身長 of 精査、急性呼吸器疾患、感染性胃腸炎で準備されている。

3. 経 験 値(平成22年1月1日～12月31日)

年間外来延べ患者数	4,439(人)
年間入院数(新生児は除く)	90
(内訳) 呼吸器疾患	48
感染症	15
消化器疾患	9
神経疾患	5
その他	13
年間新生児入院数	154
(内訳) 新生児黄疸	66
低出生体重児	24
細菌感染症	11
その他	53

外

科

1. 人材と設備

- 1) スタッフ 10人(部長：3人、副部長：3人、医員：4人)
レジデント 6人
- 2) 日本外科学会
日本消化器外科学会
日本乳癌学会
日本気管食道科学会
日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設Bの認定施設
- 3) 有資格者

	専 門 医	指 導 医
日本外科学会	10	4
日本消化器外科学会	6	3
日本乳癌学会	2	
日本消化器内視鏡学会	4	2
日本消化器病学会	2	0
日本食道学会	食道科認定医 2 食道外科専門医 1	
日本気管食道科学会	1	
日本肝胆膵外科学会		高度技能指導医 1
日本内視鏡外科学会	技術認定医 2	
日本大腸肛門病学会	1	1
日本がん治療認定医機構	暫定教育医 1 がん治療認定医 7	

※専門医・指導医 重複あり

4) 医療機器

GE 横河 デジタルマンモグラフィ Senograph2000D
ジョンソンアンドジョンソン マンモトーム
メディコン バコラ

など

2. プロセス

- 1) クリティカルパス
 1. 胃切除術(胃切除術・胃全摘術)
 2. 審査腹腔鏡
 3. 結腸切除術
 4. 腹腔鏡下胆嚢切除術
 5. 低位前方切除

6. 虫垂切除
7. 大腸ポリペクトミー
8. 肝切除術
9. 肝血管造影
10. 肝動脈塞栓術
11. 動注ポート埋め込み術
12. ソケイヘルニア
13. 乳房温存術or乳房切除術リンパ節郭清(ある・なし)
14. 乳房温存術リンパ節郭清なし
15. 乳房温存術・センチネル郭清術
16. 化学療法－タキソール・ハーセプチン療法－
17. 化学療法－タキソテール療法－
18. 化学療法－カンプト療法－
19. 化学療法－タキソール療法－
20. 化学療法－ファルモルビシン・エンドキサン療法－
21. 化学療法－アドリアシン・エンドキサン療法－

2) 治療方針

『胃癌治療ガイドライン』、『食道癌治療ガイドライン』、『大腸癌治療のガイドライン』、『乳癌診療ガイドライン1～5』、『肝癌診療ガイドライン』に準拠。

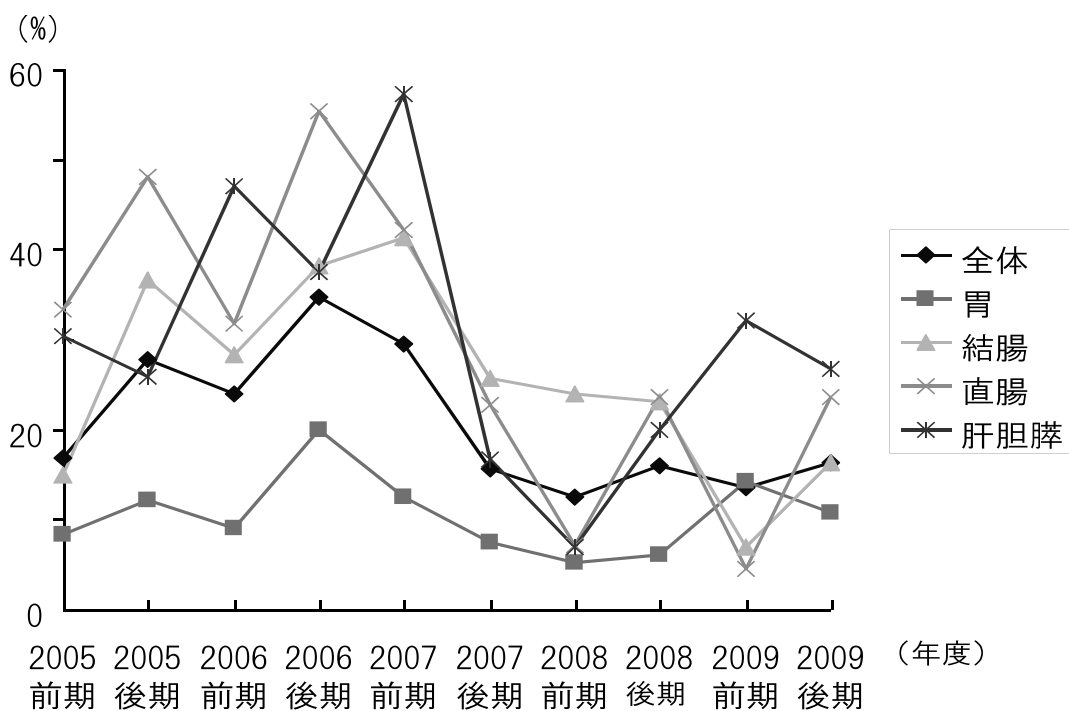
3. 経 験 値

主な手術症例数

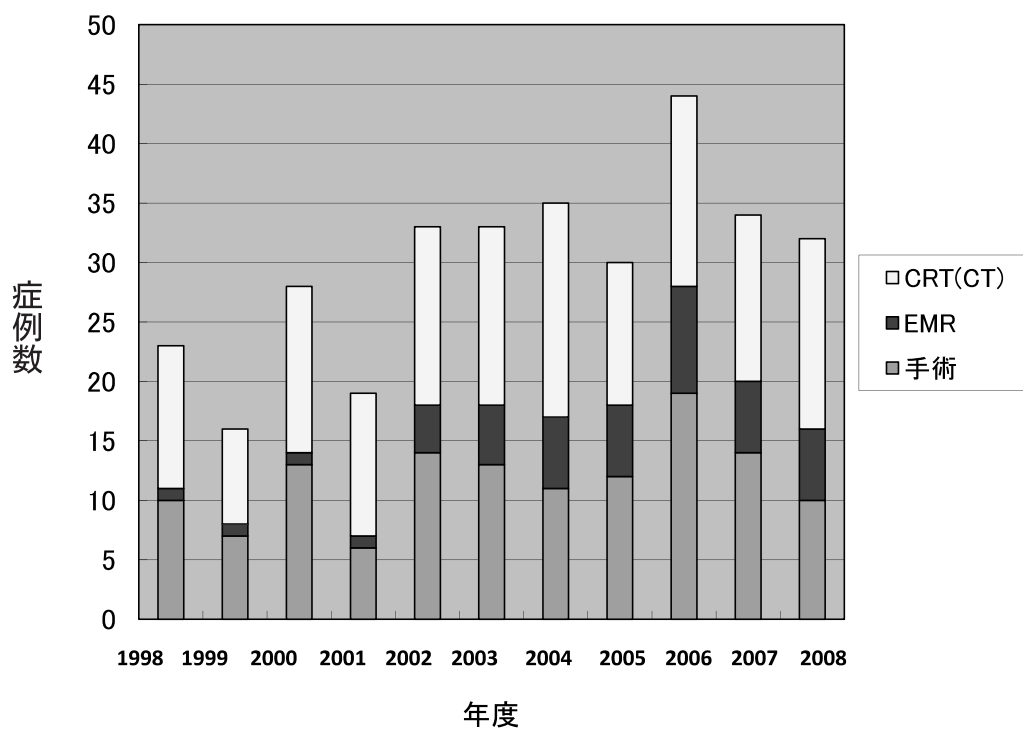
手 術 名	症例数(例)
食道癌	10
胃癌(腹腔鏡下手術を含む)	92
結腸・直腸手術	125
肝・胆・膵悪性手術	54
乳癌	167
腹腔鏡下手術 胆のう摘出術	123
胃切除術	13
大腸切除術	53
虫垂切除術	25
肝切除	34
膵体尾部切除	5
その他	45
内視鏡下手術	69

4. アウトカム

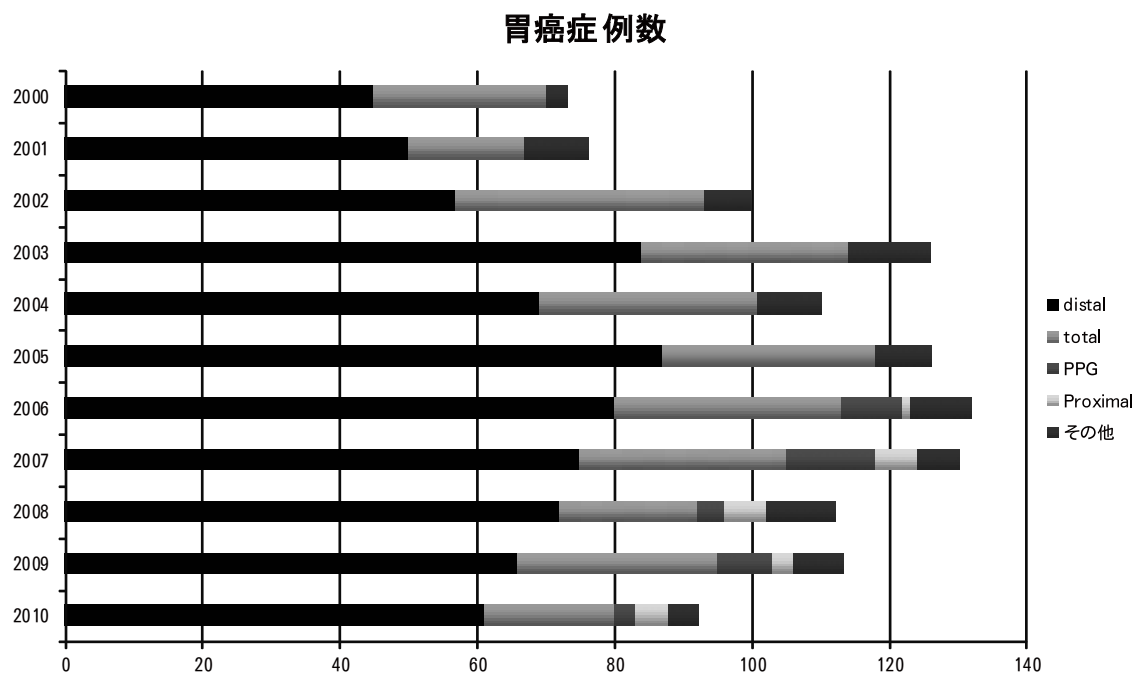
手術部位感染症発生率(2005-2009年)



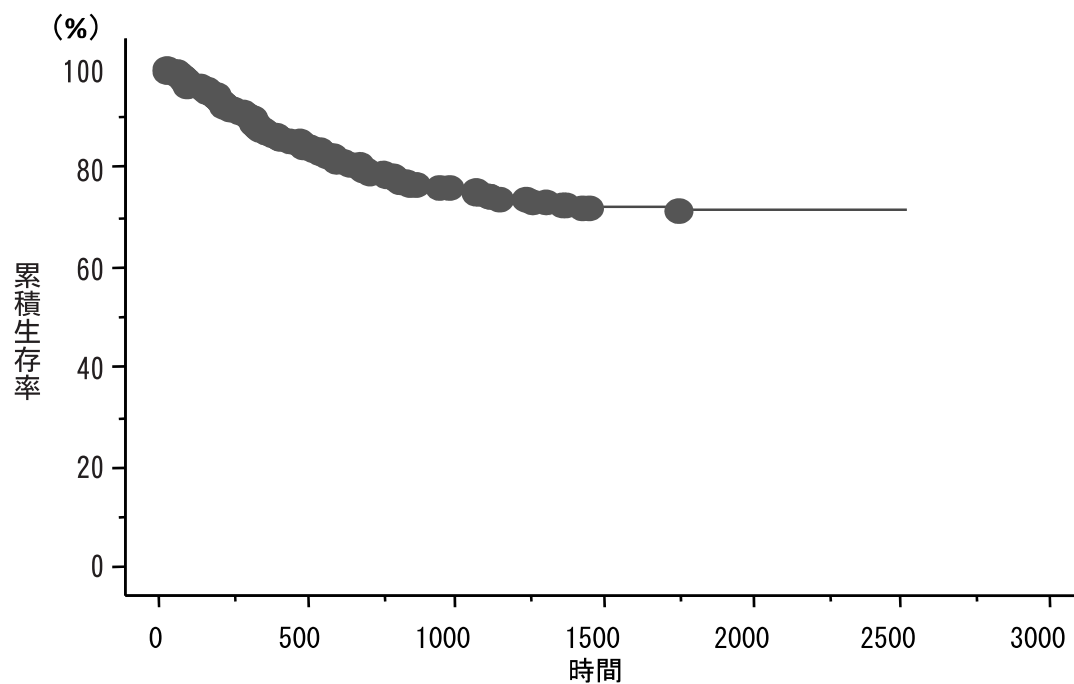
年次別食道癌症例数



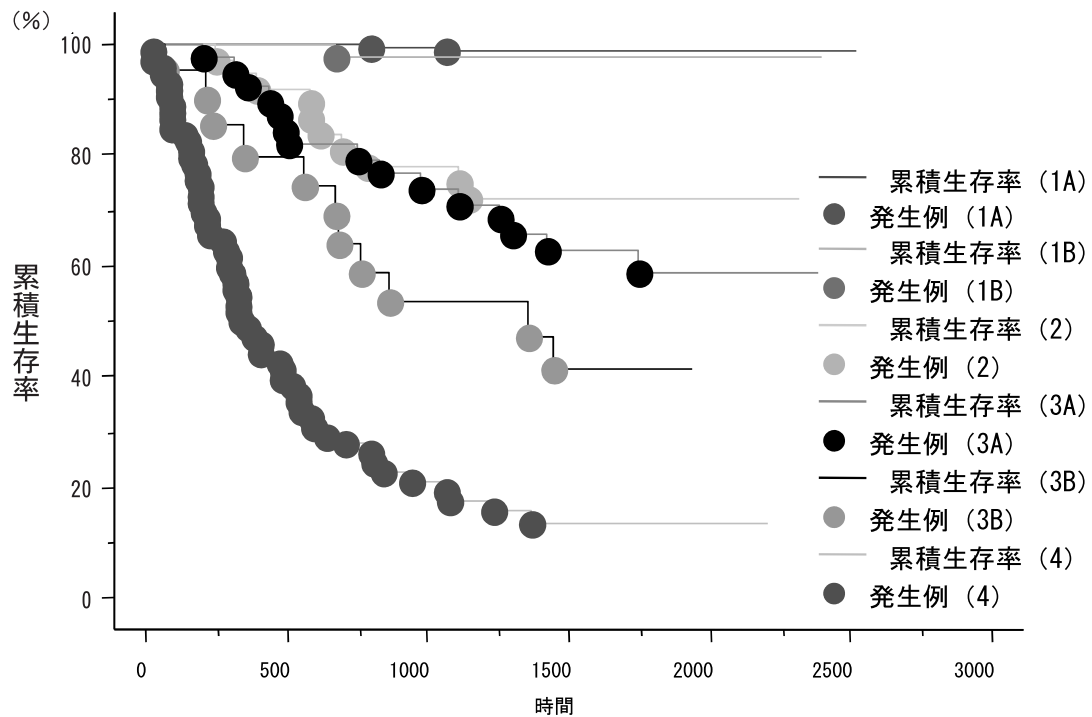
年次別胃がん手術症例



胃切除術の術後生存率(2004－2006)



胃切除術の術後生存率(stage別：2004－2006)



胃切除術後の5年生存率(2004－2006)

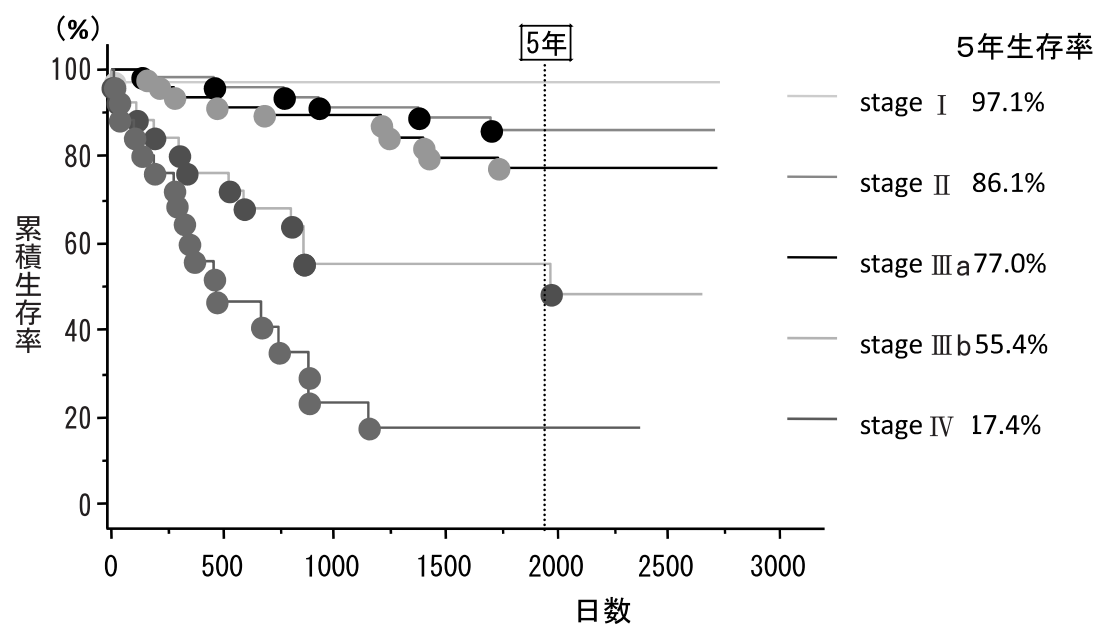
	症 例 数	5 年生存率
・ 全症例	365例	71.8%
・ Stage I A	146例	98.6%
・ Stage I B	44例	97.5%
・ Stage II	39例	72.2%
・ Stage III A	41例	59.0%
・ Stage III B	21例	41.4%
・ Stage IV	74例	13.5%

365例フォローアップ率94.2%

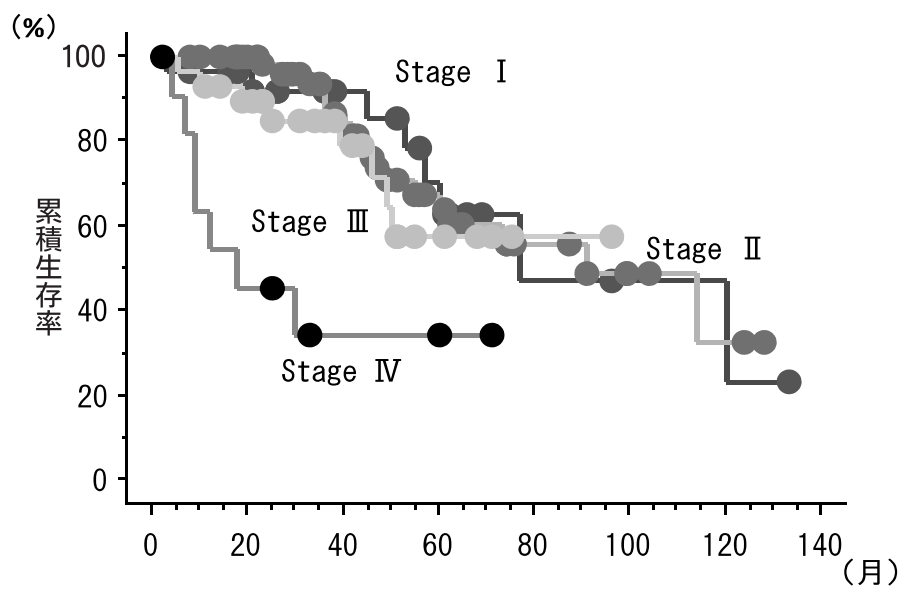
胃切除症例の手術合併症(2008－2010)

・ 縫合不全	1.58%
・ 脾液瘻、腹腔内膿瘍	3.78%
・ 肺炎	1.58%
・ 肺塞栓症	0.00%
・ 手術死亡	0.00%
・ 在院死亡	0.63%
・ 再手術	0.32%

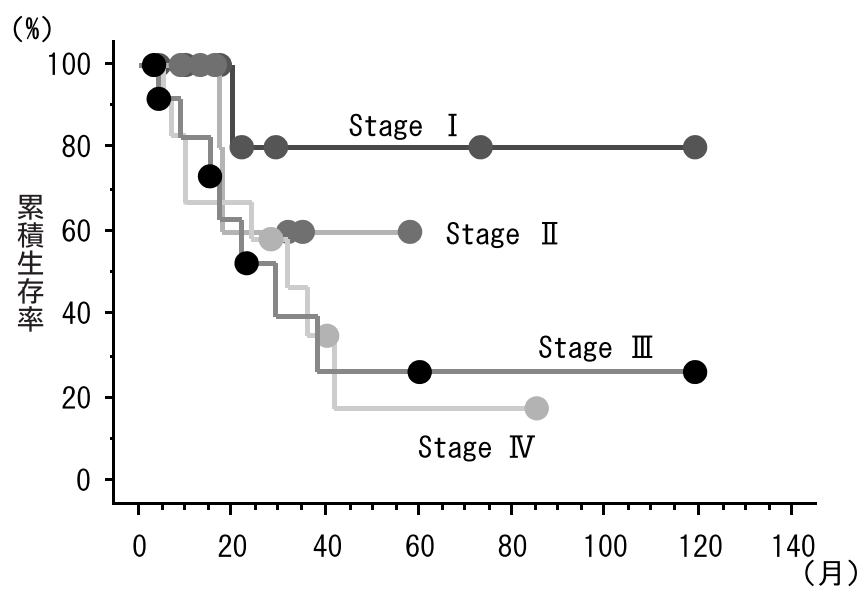
大腸癌術後生存率(2000－2001年)



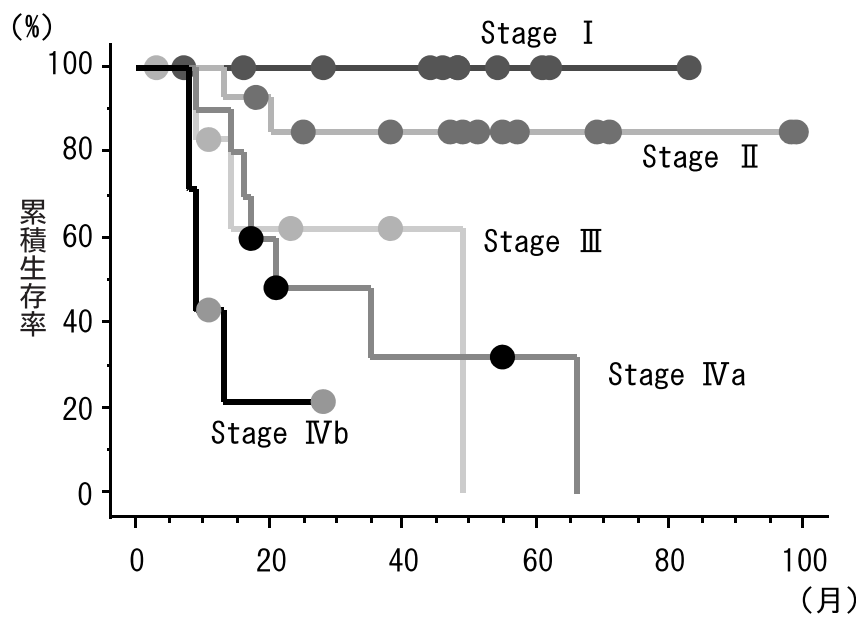
原発性肝癌術後の生存率(1999－2009年)



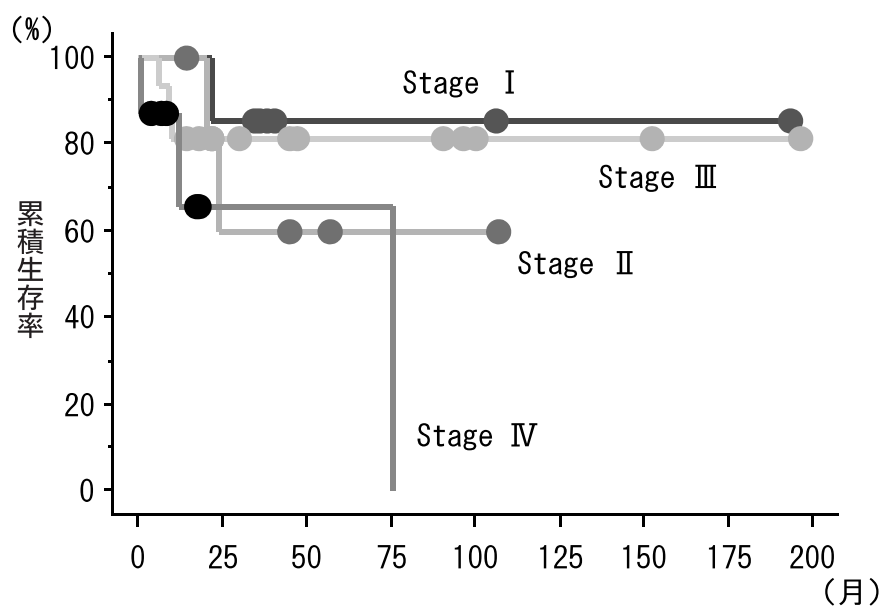
胆管癌術後の生存率(1999-2009年)



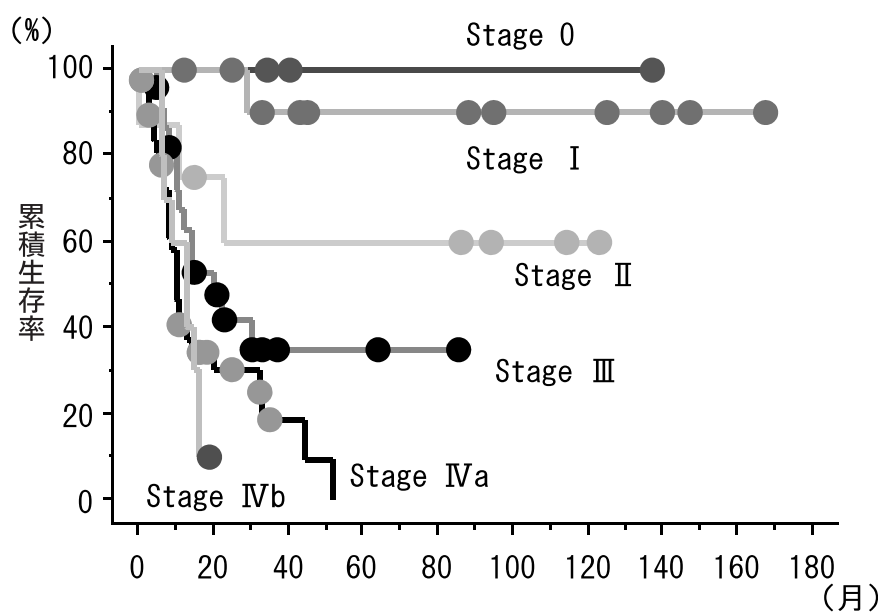
胆嚢癌術後の生存率(1999-2009年)



十二指腸乳頭部癌術後の生存率(1989-2009年)



膵癌術後の生存率(1989-2009年)



肝・胆・膵疾患 疾患別手術症例数

疾 患	2006	2007	2008	2009	2010
原発性肝癌切除	16	8	19	19	26
転移性肝癌切除	8	3	7	13	6
肝良性	1	1	1	1	0
胆嚢癌切除	7	10	2	7	2
胆管癌切除	6	5	4	5	11
胆道良性	124	96	105	132	143
乳頭部癌切除	3	2	2	4	1
膵癌切除	7	7	11	5	8
膵良性	1	3	2	2	4
摘脾	2	0	1	1	5
その他	2	3	0	5	5
	177	138	154	194	211

肝・胆・膵疾患 術式別手術症例数

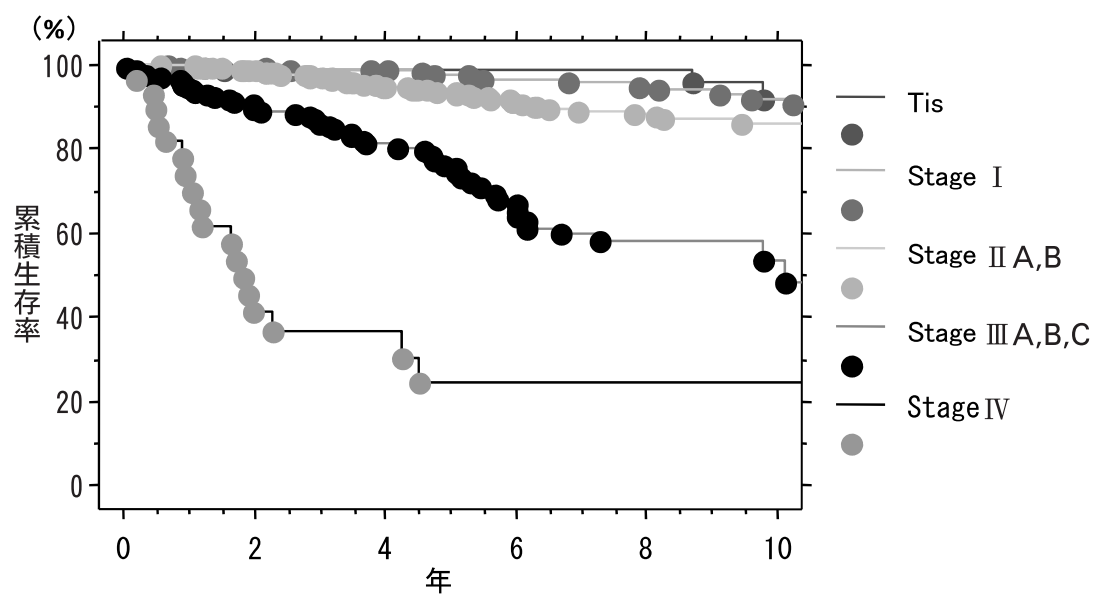
術 式	2006	2007	2008	2009	2010
肝部分切除術	17	7	21	15	23
肝区域切除術	7	5	2	17	2
肝葉切除術	5	5	6	10	13
胆嚢摘出術	106	94	93	125	127
胆管切開術	18	7	12	7	16
胆道消化管吻合術	6	7	3	8	4
膵頭十二指腸切除術	13	15	16	10	12
膵全摘術	0	0	0	0	3
膵尾側切除	2	4	5	5	4
脾摘出術	2	0	1	1	5
その他	5	3	0	5	5

肝・胆・膵疾患 術式別手術症例数(腹腔鏡下手術)

術 式	2006	2007	2008	2009	2010
腹腔鏡下胆嚢切除術	76	73	82	100	123
腹腔鏡下胆管切石術	4	0	2	3	10
腹腔鏡下肝切除(*)					34
腹腔鏡下膵体尾部切除(*)					5
腹腔鏡下脾臓摘出(*)					5

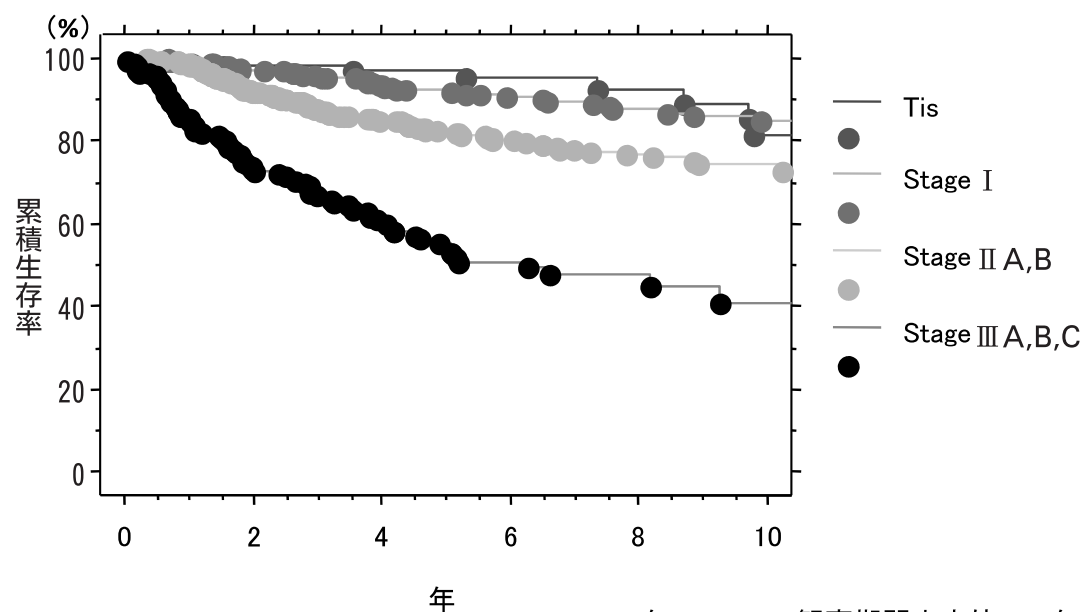
(*)2010年4月－2011年3月

乳癌術後の生存率



1995-2008 年、n=1853、観察期間中央値 4.5年

乳癌術後の無病生存率



1995-2008 年、n=1853、観察期間中央値 4.5年
すべての再発、対側乳癌、死亡を含むイベント

19. 人工股関節再置換術
20. 短縮骨切り併用THA
21. 人工骨頭置換術
22. 大腿骨頸部骨折(C-CHS)ピンニング
23. 大腿骨頸部外側骨折(C-CHS)γ-ネイル
24. キアリ骨盤骨切り術
25. 寛骨臼回転骨切り術(RAO)
26. 腰椎後方固定(PLIF)
27. 頸椎後方手術
28. 腰椎椎間板ヘルニア髄核摘出術
29. 腰椎後方固定(開窓術)
30. ミエログラフィー
31. 後十字靱帯(PCL)再建術
32. 後十字靱帯剥離骨折観血的骨接合術
33. オスグット・骨片摘出術
34. 足関節デブリートメント
35. ACL PCL MCL修復術
36. 関節鏡
37. 半月板切除術短期用
38. 半月板切除術長期用
39. 半月板縫合術
40. 滑膜切除・デブリードマン
41. ACL再建術
42. 抜釘・関節鏡(前十字靱帯再建術)
43. 後十字靱帯(PCL)再建術
44. 後十字靱帯剥離骨折観血的骨接合術
45. 前・後十字靱帯(ACL・PCL)再建術
46. 内側膝外大腿靱帯(MPLF)再建術
47. 前十字靱帯再建術・内側副靱帯修復術
48. 前・後十字靱帯再建・内側副靱帯再建術
49. 腓骨筋腱脱臼腱鞘整復術
50. 足関節靱帯再建術
51. 下肢骨折(松葉杖使用)
52. 下肢骨折抜釘
53. 二分膝蓋骨ORIF
54. 自家骨軟骨移植術(足関節)
55. 自家骨軟骨移植術(膝)

3. 経 験 値

年 間 総 手 術 例 数		1,566
骨 ・ 関 節 外 傷 観 血 整 復 術		331
上 肢	肩周辺脱臼骨折	21
	上腕から肘脱臼骨折	30
	前腕から手脱臼骨折	162
	その他	50
下 肢	骨盤から大腿脱臼骨折	13
	膝から脛骨脱臼骨折	27
	足周辺脱臼骨折	3
抜 釘		25
軟 部 組 織 に 対 す る 組 織		159
	ばね指	48
	手の腱手術	24
	Achilles腱縫合	5
	腱移行術	11
	その他	71
切 断		1
	下肢	1
血 管 ・ 神 経		191
	神経血管縫合・移植	12
	神経剥離	99
	その他	80
関 節 外 科		540
人 工 骨 頭		9
人 工 関 節	股関節	188
	膝関節	110
	肩関節	1
	肘関節	1
	その他	2
関 節 固 定 術	上肢	12
	下肢	2
骨 切 り 術	骨盤骨切り術	7
	上肢骨切術	4
滑 膜 切 除		29

靱 帯 ・ そ の 他	肩反復性脱臼	6
	膝蓋骨反復性脱臼	6
	肩腱板断裂	19
	足関節周囲腱・靱帯損傷	6
	膝靱帯損傷	68
	半月板損傷	30
関節鏡手術(滑膜切除術・遊離体摘出含む)		40
脊 椎 外 科		277
頸 椎 手 術	頸椎前方固定術	4
	頸椎後方除圧術	63
胸 椎 手 術	胸椎後方除圧術	8
腰 椎 手 術	腰椎髓核摘出術	2
	腰椎後方除圧・固定術	185
	腰椎前方固定術	1
そ の 他	椎体形成術	14
腫 瘍 手 術		50
	良性軟部腫瘍	42
	良性骨腫瘍	7
	その他	1
先 天 性 疾 患		3
	手・足先天奇形	3
感 染 性 疾 患		14
	化膿性関節炎	14

整形外科患者数

		外 来 患 者 数				入院患者 延 数	手 術 件 数		
		初診患者	再診患者	外来総数	内紹介患者		予 定	緊	総 計
平成 22 年	1月	481	2,061	2,543	192	2,784	122	1	123
	2月	467	1,985	2,452	173	2,811	124	1	125
	3月	588	2,481	3,069	229	3,023	140	9	149
	4月	591	2,338	2,929	236	3,108	117	8	125
	5月	505	1,844	2,349	202	3,131	111	10	121
	6月	581	2,293	2,874	243	3,115	110	4	114
	7月	541	2,196	2,737	225	3,536	126	9	135
	8月	511	2,297	2,808	192	3,593	135	12	147
	9月	487	2,105	2,592	175	3,445	124	7	131
	10月	505	2,232	2,737	193	3,205	121	17	138
	11月	476	2,225	2,701	198	3,431	130	12	142
	12月	444	2,210	2,654	172	3,443	104	12	116
	累計	6,177	26,267	32,445	2,430	38,625	1,464	102	1,566

4. アウトカム

脊椎

脊椎手術における周術期合併症

硬膜損傷	13例	4.6%
感染	4例	1.4%
一過性の神経症状悪化	5例	1.8%
遺残性の神経症状悪化	1例	0.4%
血腫による再手術	3例	1.1%
内固定材料に起因する再手術	3例	1.1%
創癒合不全	1例	0.4%
前合併症	30例	10.1%
全手術	284例	

前十字靱帯再建術

当院での2005年4月から2009年3月までの手術成績を示します。この間に213人の前十字靱帯再建術を行い、2年以上経過した時点で診察可能であった患者さんが132人で、このうち再受傷されたのは7人でした(フォローアップ率62%)。再受傷をしなかった125人の患者さんに、『現在自分の膝の状態を評価するとどのようになりますか。正常、ほぼ正常、異常、きわめて異常の4段階で評価してください。』と質問したときの結果では、99%の方が正常かほぼ正常と評価しています。患者さんは概ね満足していると考えています。図1は再建した靱帯が、どの程度膝をしっかりとさせられているかを左右で比較したものです。横軸の数字が大きいほど、靱帯がしっかりしていないということになります。左右差の平均は0.8mmでした。通常-1から2ミリの左右差であれば良好な成績であると考えられています。概ね92%の方が良好という範囲に入ります。

手術成績を考える上では、経過観察期間とフォローアップ率(手術した患者さんのなかで、術後の診察を出来た患者さんの割合)が大切な数字になります。手術成績の評価は通常2年(短期)、5年(中期)、10年(長期)で評価します。術後2年未満の段階で評価は、手術の評価としては早すぎると一般的に考えられています。またフォローアップ率が低いと、状態の良い患者さんばかりを評価している可能性もあるため、信頼性が低下します。

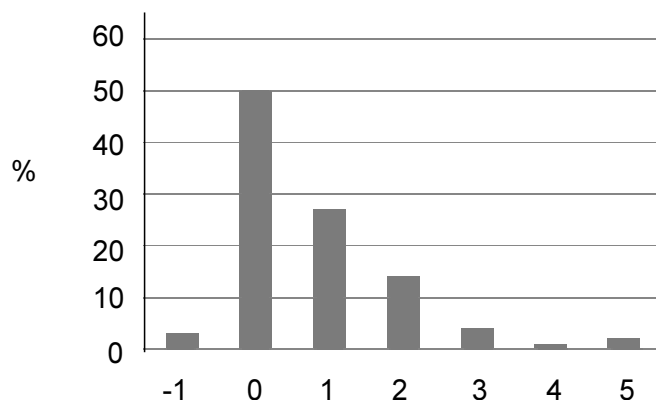


図1 前方動揺左右差(mm)

内側膝蓋大腿靱帯再建術

当院での2003年7月から2007年6月までの手術成績を示します。この間に21人の内側膝蓋大腿靱帯再建術を行い、2年以上経過した時点で診察可能であった患者さんが15人で、電話で状態を伺った患者さんが5人でした(フォローアップ率95%)。2年間に、再脱臼したり膝蓋骨を骨折したりした患者さんはいませんでした。また、一般的に用いられているKujalaスコアで点数をつけると、100点満点中平均で96点(最低84－最高100)ときわめて良い結果でした。Crosby-Insallのgrading systemでは、『きわめて良い』6人、『良い』14人、『あまり良くない』0人、『悪い』0人でした。この評価システムでは、痛みが少しでもあれば『良い』になりますので、この結果は大変良好なものであると考えています。

人工股関節置換術

総数：189例

Primary THA：167例

再置換術：12例

表面置換術：1例

骨切り併用：9例

男性29例、女性160例、平均年齢：63歳

疾患・変形性股関節症：175例、関節リウマチ：2例、大腿骨頭壊死症：10例、

その他：2例

術後感染：1例、術後神経麻痺：1例、術後脱臼：2例

骨盤骨切り術

総数：7例

キアリ骨盤骨切り術：6例

寛骨臼回転骨切り術：1例

男性1例、女性6例、平均年齢：27歳

疾患・変形性股関節症：7例

術後感染：0例、術後神経麻痺：0例

人工膝関節置換術

総数：108例

Primary TKA：105例

再置換術：1例

内側置換：2例

男性17例、女性91例、平均年齢：73歳

疾患・変形性膝関節症：99例、関節リウマチ：8例、その他：1例

術後感染：6例、術後神経麻痺：0例

手の外科

総数：664例

観血的整復固定術：282例

経皮ピンニング：65例

矯正骨切り術：6例

骨軟骨移植術など：14例

腱縫合術・腱鞘切開術など：98例

手根管開放術など：80例

人工関節置換術：3例

抜釘術：97例

合併症：9例

術後感染：3例

骨癒合不全：4例

術後一過性神経麻痺：3例

形 成 外 科

1. 人材と設備

部長 1人(日本形成外科学会専門医)、医員 1人(日本形成外科学会専門医)、
レジデント 2人
手術顕微鏡、内視鏡など形成外科手術ほぼ全体に対応する手術器械がある
レーザーは炭酸ガスレーザー(シルクタッチ)のみ

2. プロセス

下肢静脈瘤はクリティカルパスで対応

3. 経 験 値

年間の患者数及び手術件数(2010年1月1日～12月31日)

形成外科新患者数 1,460 人

形成外科入院患者数 326 人(延べ人数ではない)

形成外科手術件数

入院手術	全身麻酔	116 件	(合計	393 件)
	腰麻・伝達麻酔	70 件		
	局所麻酔・その他*	207 件		
外来手術	局所麻酔・その他*	519 件	(合計	519 件)

*その他には無麻酔や分類不明を入れる

手術内容区分

区 分	件 数				
	入 院 手 術			外来手術	計
	全身麻酔	腰 麻 ・ 伝達麻酔	局所麻酔・ そ の 他	局所麻酔・ そ の 他	
I. 外傷	13	4	7	62	86
熱傷・凍傷・化学損傷・電撃傷の手術例		2	1		3
顔面軟部組織損傷	2		2	28	32
顔面骨折	11		1	9	21
頭部・頸部・体幹の外傷			1	2	3
上肢の外傷		1	1	17	19
下肢の外傷				6	6
外傷後の組織欠損(2次再建)		1	1		2
II. 先天異常	18			11	29
頭蓋・顎・顔面の先天異常	14			9	23
頸部の先天異常	1				1
四肢の先天異常	2				2
体幹(その他)の先天異常	1			2	3
III. 腫瘍	69	4	22	345	440
良性腫瘍(レーザー治療を除く)	24	4	6	323	357
悪性腫瘍	9		10	18	37
腫瘍切除後の組織欠損(一次再建)	14		1		15
腫瘍切除後の組織欠損(二次再建)	22		5	4	31
IV. 瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	6		2	30	38
V. 難治性潰瘍	10	39	43	3	95
褥瘡	7		6	1	14
その他の潰瘍	3	39	37	2	81
VI. 炎症・変性疾患		23	60	60	143
VII. 美容(手術)			1	4	5
VIII. その他			72	4	76
大分類計	116	70	207	519	912

脳 神 経 外 科

1. 人材と設備

脳神経外科専門医	5人
脳卒中専門医	1人
血管内治療専門医	1人
機能的定位脳手術認定医	1人
がん治療認定医・暫定教育医	1人

MRI 3台(内1台は3Tesla)、MD-CT3台(内1台は320列)、SPECT 2台

ガンマナイフ 1台、リニアック 1台

DSA 2台(内1台はIVRDSA)、手術用顕微鏡(Zeiss, Leica; 蛍光顕微鏡) 2台

神経内視鏡 2台(硬性鏡 2台、ビデオスコープ 1台)、マイクロCUSA 1台

ニューロナビゲーター(メドトロニック、ブレインラボ)

2. プロセス

クリティカルパス

血管吻合術(STA-MCA)、内頸動脈血栓内膜剥離術、クリッピング術(未破裂)

動脈瘤破裂クリッピング術(Ⅱ-30未満)、開頭血腫除去術

脳内血腫(軽症、中等症、重症)、心原性脳梗塞(軽症、中等症、重症)、ラクナ梗塞、

アテローム血栓性脳梗塞(軽症、中等症、重症)、

PTA(経皮的脳血管形成術)、TPA静注

内頸動脈ステント留置術(CAS)、コイル塞栓術(動脈瘤未破裂、破裂)、

開頭腫瘍摘出術、髄膜腫摘出術、下垂体腺腫(ハーディー)

悪性神経膠腫化学放射線療法

L-P シャント術、慢性硬膜下血腫、ガンマナイフ、脳血管撮影

手術適応は脳神経外科学会、脳血管内治療学会、脳ドック学会の基準に準じる。

3. 経 験 値

手術経験数；手術は全例無剃髪で施行

転移性脳腫瘍；18(2003年)、15(2004年)、16(2005年)、21(2006年)、30(2007年)、

26(2008年)、25(2009年)、28(2010年)

1生率 79%

2生率 12%

ガンマナイフ治療例における中枢神経死 1.90%(3/158)

神経膠腫；15(2002年)、16(2003年)、7(2004年)、16(2005年)、8(2006年)、11(2007年)、

15(2008年)、21(2009年)、17(2010年)

神経膠芽腫(集学的治療施行例)

1 生率	92%
2 生率	62%
3 生率	46%

聴神経鞘腫；6(2002年)、10(2003年)、7(2004年)、5(2005年)、6(2007年)、
5(2008年)、2(2009年)、3(2010年)

顔面神経機能温存率	97.7%
聴覚温存率($\phi < 3$ cm)	70%
2008年有効聴力温存	100%

髄膜腫；17(2002年)、15(2003年)、25(2004年)、19(2005年)、8(2006年)、11(2007年)、
11(2008年)、12(2009年)、18(2010年)

頭蓋底髄膜腫を除く摘出率は 100%(Simpson grade I)

新たな神経学的後遺症の出現率は 3.6%

5年後の有症再発率 0%(ただし悪性髄膜腫は除く)

下垂体腺腫；(経鼻的顕微鏡および内視鏡下摘出術)；11(2002年)、11(2003年)、
10(2004年)、12(2005年)、14(2006年)、7(2007年)、7(2008年)、
9(2009年)、13(2010年)

視機能改善率	100%
要術後ホルモン補充療法	1.4%
重篤な周術期合併症	0.65%(1/153)

脊髄腫瘍摘出術；4(2007年)、11(2008年)、12(2009年)、5(2010年)

血管内治療(動脈瘤塞栓術、頸動脈ステント留置術)；3(2007年)、14(2008年)、
28(2009年)、21(2010年)

水頭症にたいする LPshunt (累計>700例)；

41(2005年)、43(2006年)、24(2007年)、21(2008年)、26(2009年)、19(2010年)
内視鏡下第3脳室底開窓術 4(2009年)、14(2010年)；開存率100%

脳動脈瘤；1998年～2010年

永続的神経学的後遺症(未破裂)	0.46%(1/218)
周術期死亡率(破裂)	1.38%(3/288)
一過性顔面神経麻痺	0.59%(3/510)
慢性硬膜下出血	1.57%(8/510)

心臓血管外科・呼吸器外科

1. 人材と設備

スタッフ7人 管理部長、第二部長、第三部長、副部長2人、レジデント2人

施設認定： 心臓血管外科専門医認定修練施設(基幹施設)

呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設(関連施設)

資格所有者

専門医：外科専門医 5人 心臓血管外科専門医 3人

呼吸器外科専門医 1人 気管支鏡専門医 1人

がん治療専門医 1人 肺癌CT検診認定医 1人

循環器専門医 2人

指導医：日本外科学会指導医 2人 日本胸部外科学会指導医 2人

日本呼吸器内視鏡学会指導医 1人

医療機器整備 人工心肺による開心術設備

オフポンプバイパス設備

呼吸器外科標準術式設備

胸腔鏡下手術設備

気管支鏡検査・インターベンション設備

術後抗癌化学療法設備

2. プロセス

クリティカルパス(肺癌標準術式パス、腹部大動脈瘤手術パス、肺癌術後補助化学療法パス)

治療方針は学会指針(胸部外科学会、呼吸器外科学会、肺癌診療ガイドライン)および下記院内検討会に基づく

循環器症例検討会(週1回開催、心臓血管外科・循環器内科合同)

呼吸器がんサージボード(隔週開催、呼吸器外科・内科・放射線治療科・診断科・病理医・オンコロジーナース合同)

心臓血管外科・呼吸器外科症例検討会(週1回開催)

3. 経 験 値

2010年手術症例数 総数 224例

開心術(心臓手術)および胸部大血管症例数 71例

虚血性 25、弁膜症 34(複合手術を含む)、

胸部大動脈瘤 7、その他 5

血管外科手術 24例

腹部大動脈瘤 16、末梢血管 8

その他心臓外科手術 8例

呼吸器外科手術	121例
肺癌 51、良性・感染性肺腫瘍 12、縦隔腫瘍 19、嚢胞性肺疾患 13、 胸膜・胸壁疾患 8、開胸生検等 14、局所麻酔手術 4	
呼吸器外科非手術症例数	5例
気道ステント 3、術後補助化学療法 2	

4. アウトカム

2010年手術死亡率(緊急手術を含む)

開心術・胸部大血管手術死亡率 2.8%

疾患別死亡者数(虚血性2 弁膜症0、大血管0)

呼吸器外科手術死亡率 0%

皮 膚 科

1. 人材と設備

スタッフ：3人(管理部長1人、常勤医2人)

資格所有者：日本皮膚科学会専門医：2人、同・指導医：1人

医療機器設備：紫外線照射装置、皮膚超音波診断装置、スーパーライザー、ダーモスコープ

2. プロセス

クリティカルパス：带状疱疹

その他の疾患の治療指針は下記の各診療ガイドラインに則って実施

皮膚悪性腫瘍：日本皮膚悪性腫瘍学会・皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン

アトピー性皮膚炎：厚生労働研究班診療ガイドライン、日本アレルギー学会診療ガイドライン、および日本皮膚科学会診療ガイドラインを統合して使用。

蕁麻疹、ケミカルピーリング、疥癬、強皮症、円形脱毛症はそれぞれ日本皮膚科学会診療ガイドラインを使用。

褥瘡：日本褥瘡学会の褥瘡局所治療ガイドライン

3. 経 験 値

2010年の延べ外来患者数は13,139人

同・延べ入院患者総数は685人(带状疱疹、蜂巣炎を含む感染症、天疱瘡など自己免疫疾患)

手術件数：96件

生 検：89件

4. アウトカム

2010年の入院患者での死亡は0

泌 尿 器 科

1. 人材と設備

スタッフ：現在5人で診療にあたっておりますが、人事異動などにより2011年4月から下記6人となります。当科の特徴は、ほぼ全ての治療法に内視鏡下手術を中心とした低侵襲療法を採用していることです。泌尿器腹腔鏡技術認定医が1人在籍していることから、特に上部尿路手術の大部分(腎細胞癌、腎盂尿管癌、水腎症など)は体腔鏡下手術(腹腔鏡および後腹膜鏡下手術)で行っております。先進的な医療として、前立腺癌に対する腹腔鏡下前立腺全摘除術を2006年10月より、また2009年3月より腹腔鏡下小切開腎摘除術、腎(尿管)悪性腫瘍手術、腎部分切除術、副腎摘除術、前立腺悪性腫瘍手術の施設認定を取得しております。また、スタッフ4人全員が日本泌尿器科学会の専門医および指導医であるためあらゆる疾患に高レベルな対応が可能となっております。

部 長：川端 岳 昭和55年卒

神戸大学医学部臨床教授

日本泌尿器科学会指導医、専門医

日本内視鏡外科学会評議員

日本Endourology・ESWL学会評議員

日本性感染症学会評議員

泌尿器腹腔鏡技術認定医

第2部長：田口 功 平成3年卒

日本泌尿器科学会指導医、専門医

日本臨床腫瘍学会暫定指導医

副 部 長：松原 重治 平成5年卒

神戸大学臨床講師

日本泌尿器科学会指導医、専門医

泌尿器腹腔鏡技術認定医

副 部 長：山尾 裕 平成8年卒

日本泌尿器科学会指導医、専門医

後期臨床研修医：福原 恒 平成17年卒

奥野 優人 平成18年卒

設 備

平成17年に導入した膀胱電子スコープにより今まで非常に苦痛であった男性の膀胱鏡検査が比較的楽に行えるようになっております。また、検査中に患者さん自身や家族に画像を見ていただけるため、疾患を理解していただきやすくなりました。体腔鏡下手術の件数は平成16年には29件であったものが平成17年には56件とほぼ倍増し、平成18年は68件、平成19年は76件、平成20年は68件、平成21年は66件、本年は69件と安定した件数を行っています。特に本年は腹腔鏡下小切開前立腺全摘除術が11件あり前立腺癌に対する腹腔鏡下前立腺全摘除術と合わせ前立腺癌の根治術は42件行いました。また、先天性水腎症に対する腎盂形成術が他施設より多く見られ、それは近隣医療機関のみならず県内外からのご紹介

が増えたためであり、今後ご期待に沿えるべく研鑽を積んでまいります。

平成6年に導入した体外衝撃波結石破碎装置(ESWL)は平成17年12月にドルニエ社製リソトリプターバージョンDに更新いたしました。硬膜外麻酔が不要、超音波およびX線による照準が可能、すべて仰臥位での治療が可能、すべての位置の尿路結石を破碎可能など従来機種にはない特徴があり、低侵襲で効率的な結石治療が可能となっています。また、泌尿器用レントゲン装置も東芝製フラットパネル形式の最新機種に更新され、非常に精密な画像が得られるようになっており、患者さんの昇降も非常に楽に出来るようになっております。さらに本年は、尿流量測定検査が通常のトイレで行える画期的なシステムを導入し、非常に快適に検査を受けていただくことが可能となりました。

2. プロセス

現在使用しているクリティカルパスは、ESWL、TUL、TUR-Bt、TUR-P、前立腺針生検術、前立腺全摘除術、体腔鏡下副腎摘除術、体腔鏡下腎(尿管)摘除術、陰嚢水腫根治術、精巣摘除術などですが、今後さらに適応を拡大する予定であります。

治療方針に関しては、国内外の学会による治療ガイドラインを基軸とし、当院および周辺地域で行いうる治療のみならず、遠方(関東など)での治療選択肢も提示した上で決定していただくようにしております。

3. 症例数など(平成22年1月～12月)

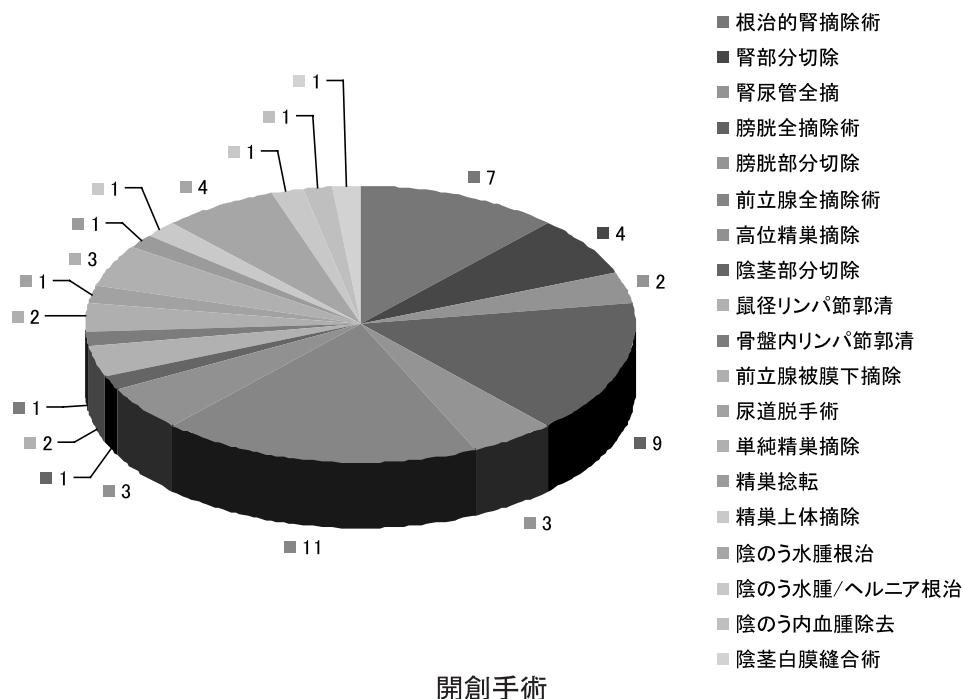
外来新患：1,618人(男性1,102人、女性516人)

入院：1,001人(男性 831人、女性170人)

平均在院患者数：26.8人

平均在院日数：9.8日

主な手術の症例数：



腎部分切除術；16例、平均手術時間285分、平均出血量44ml

前立腺全摘除術；148例、平均手術時間275分、平均出血量665ml(尿を含む)

その他；21例

開腹術への移行例；根治的腎摘除術の1例のみ

輸血を要した例；なし

4. アウトカム

疾患別5年生存率

泌尿器悪性腫瘍術後生存率(1998-2010.12)

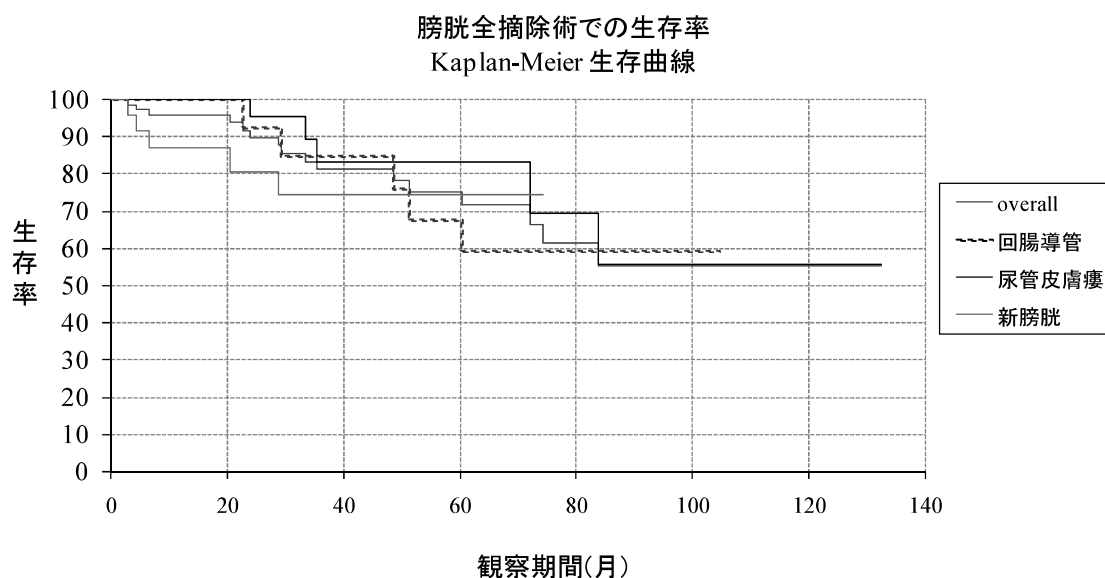
膀胱悪性腫瘍症例における膀胱全摘除術後の生存率

膀胱全摘除術+尿路変更術(76例)：5年生存率 81%

回腸導管造設術 (37例) : 5年生存率 89%

尿管皮膚瘻造設術 (24例) : 5年生存率 77%

新膀胱形成術 (15例) : 5年生存率 69%



腎盂尿管悪性腫瘍症例における腎尿管全摘除術後の生存率

症例数：110例 5年生存率：77%

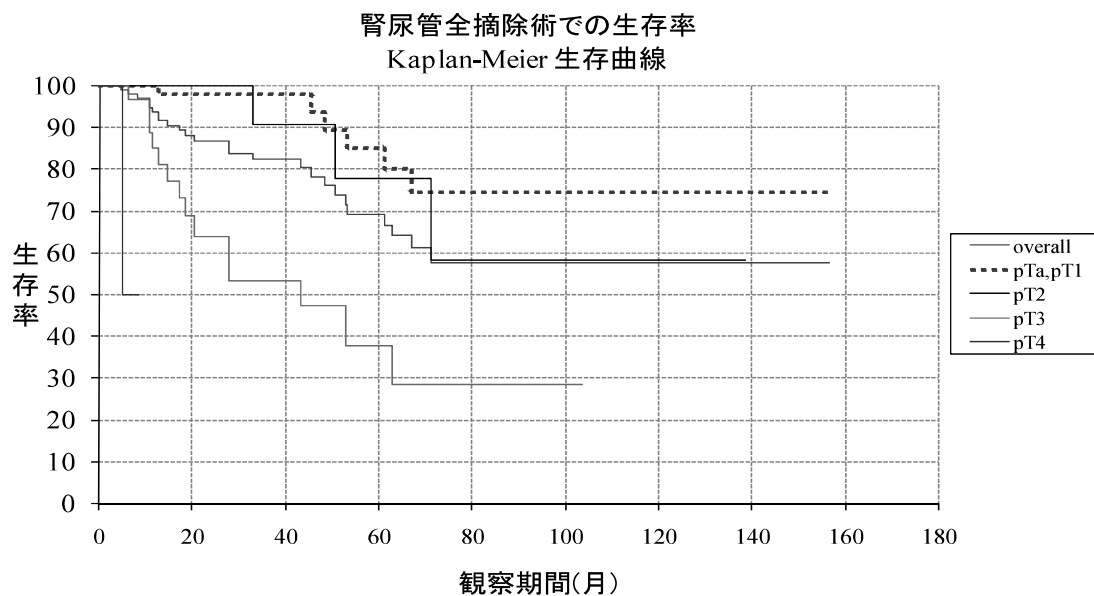
T 分類による生存率

pTa, pT1 : 症例数 54例 5年生存率：91%

pT2 : 症例数 20例 5年生存率：87%

pT3 : 症例数 32例 5年生存率：50%

pT4 : 症例数 4例 5年生存率：43%



腎悪性腫瘍症例での根治的腎摘除術後の生存率

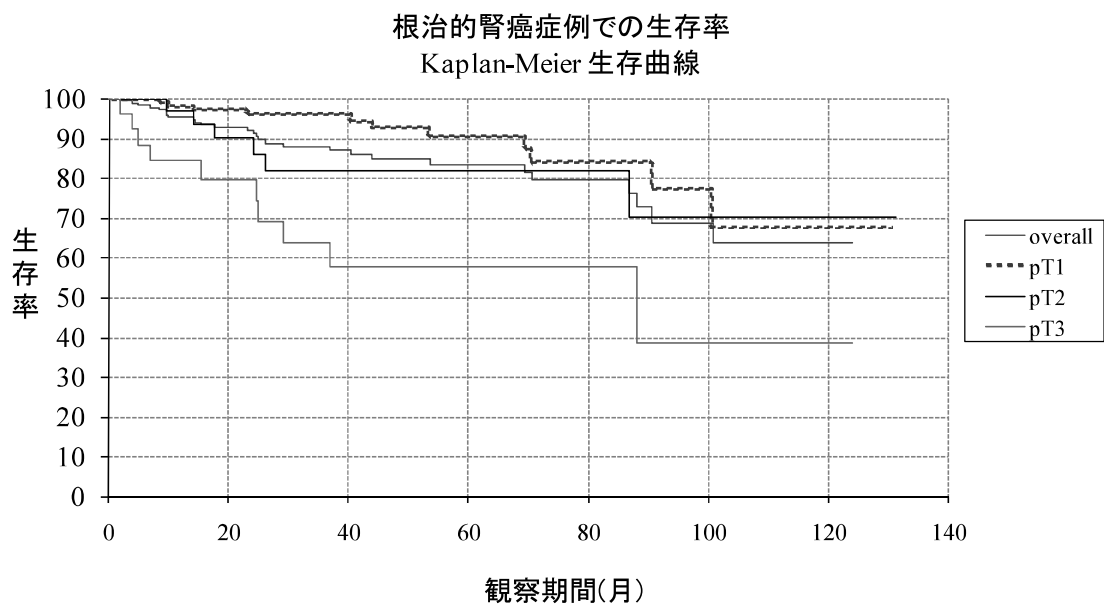
症例数：200例 5年生存率：88%

T 分類による生存率

pT1 : 症例数 139例 5年生存率：94%

pT2 : 症例数 34例 5年生存率：83%

pT3 : 症例数 26例 5年生存率：64%



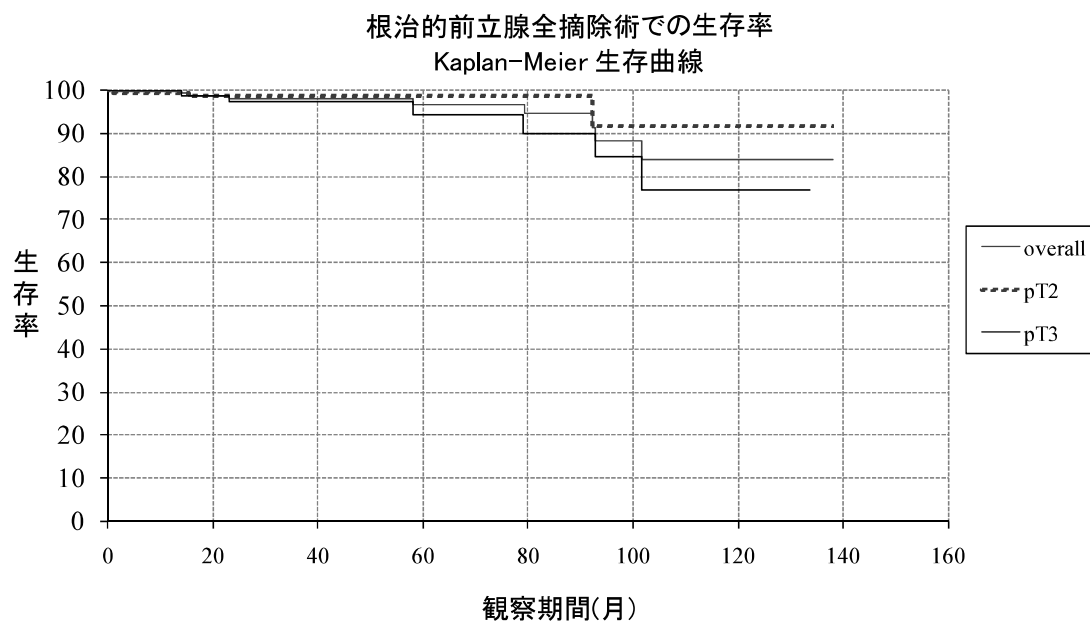
前立腺癌症例での根治的前立腺全摘除術後の生存率

症例数：308例 5年生存率：98%

T 分類による生存率

pT2： 症例数 202例 5年生存率：99%

pT3： 症例数 106例 5年生存率：96%



産婦人科

1. 人材と設備

人 材

伊藤 公彦(S58.奈良医大卒)：日本産科婦人科学会専門医、日本癌治療学会代議員、同がん診療連携委員、同プログラム委員、日本婦人科腫瘍学会評議員、同専門医、近畿産科婦人科学会学術委員会腫瘍研究部会委員、日本職業・災害医学会評議員、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、同暫定指導医、日本医師会認定産業医、日本婦人科悪性腫瘍研究機構(JGOG)理事、同子宮体がん委員、関西臨床腫瘍研究会(KCOG)会長、同婦人科代表、大阪大学医学部臨床教授、三重大学医学部非常勤講師

堀 謙輔(H6.奈良医大卒)：日本産科婦人科学会専門医、日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法専門コースインストラクター、日本婦人科悪性腫瘍研究機構(JGOG)臨床試験監査委員、同AGOG委員

小島洋二郎(H10.岡山大卒)：日本産科婦人科学会専門医

尾崎 公章(H13.愛媛大卒)：日本産科婦人科学会専門医

吉岡 恵美(H17.兵庫医大卒)：日本産科婦人科学会専門医

山本志津香(H18.産業医大卒)：産業医大認定産業医

大西 圭子(H19.奈良医大卒)

栗谷健太郎(H19.大阪医大卒)

安藤 亮介(H20.大阪市大卒)

繁田 直哉(H20.三重大卒)

浦上 希吏(H21.旭川医大卒)

施 設

日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設

日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設

日本産科婦人科学会腫瘍委員会登録施設

設 備

超音波診断装置	7 台
胎児集中管理システム	1 式
胎児監視装置	3 台
コルポスコープ	2 台
ヒステロファイバースコープ	1 台
腹腔鏡下手術機器	1 式
子宮鏡下手術機器	1 式
新生児人工呼吸器	1 台
新生児光線治療ユニット	3 台

2. プロセス

クリティカルパスと対象

正常分娩産褥クリティカルパス：正常分娩産褥婦

選択的帝王切開クリティカルパス：前回帝王切開、骨盤位、前置胎盤等による選択的帝王切開予定妊婦

婦人科開腹手術クリティカルパス：子宮筋腫、卵巣嚢腫等による開腹手術予定患者

婦人科重症開腹手術クリティカルパス：子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌等による開腹手術予定患者

子宮頸部円錐切除術クリティカルパス：子宮頸部上皮内癌、高度異形成等による円錐切除術予定患者

子宮内膜全面搔爬術クリティカルパス：子宮体癌、異型子宮内膜増殖症等による子宮内膜全面搔爬術予定患者

子宮内容除去術クリティカルパス：稽留流産、不全流産、人工妊娠中絶術等による子宮内容除去術予定患者

TC化学療法クリティカルパス：Paclitaxel+Carboplatin(TC)併用化学療法を施行する患者

治療方針

日本産科婦人科学会の指針、および日本婦人科腫瘍学会のガイドラインに基づく

3. 経 験 値

症例数

2010年 1日平均外来患者数55.6人(前年比+2.8人)、1日平均入院患者数32.7人(前年比+1.3人)

2010年 初回治療新規浸潤がん症例数 93例(前年比-9例)

子宮頸がん 25例、子宮体がん 41例(Ia期5例含む)、卵巣がん 24例(境界悪性群6例含む)、腹膜がん 1例、原発不明がん 2例

2010年 手術件数 387件(前年比-25件)

＜悪性腫瘍に対する婦人科開腹手術 105件＞(前年比+20件)

広汎(準広汎)子宮全摘術 17件、リンパ節郭清を含む悪性腫瘍手術 23件、その他 65件

＜悪性腫瘍に対する婦人科腔式手術 50件＞(前年比-8件)

円錐切除術 43件、レーザー蒸散術 5件、腔式子宮全摘術 1件、その他 1件

＜良性疾患に対する婦人科開腹手術 97件＞(前年比-12件)

単純子宮全摘術 39件、付属器摘出術 33件、卵巣嚢腫摘出術 12件、子宮筋腫核出術 9件、子宮外妊娠手術 2件、その他 2件

＜良性疾患に対する婦人科腔式手術 25件＞(前年比-8件)

単純子宮全摘術 4件、メッシュ整復術 4件、腔壁閉鎖術 8件、
子宮筋腫摘出術 2件、その他 7件
＜腹腔鏡下手術 9件＞（前年比－13件）
付属器摘出術 2件、卵巣嚢腫摘出術 6件、子宮外妊娠手術 1件
＜子宮鏡下手術 5件＞（前年比±0件）

＜産科手術 96件＞（前年比－3件）
選択的帝王切開術 48件、緊急帝王切開術 48件（内、双胎妊娠 2件）

2010年 分娩数 486件（内、双胎分娩2組 4件）（前年比－26件）

4. アウトカム

5年生存率(2002年1月から2008年12月までに初回治療を開始した症例の、2011年4月14日調査時点)

- ・子宮頸がん：Ia期(n=17)100%、Ib期(n=41)89.0%、Ⅱ期(n=48)83.4%、
Ⅲ期(n=21)52.0%、Ⅳ期(n=16)47.1%
- ・子宮体がん：Ⅰ期(n=88)93.5%、Ⅱ期(n=17)90.0%、Ⅲ期(n=26)73.3%、
Ⅳ期(n=9)19.1%
- ・卵 巣 が ん：Ⅰ期(n=33)93.1%、Ⅱ期(n=13)63.9%、Ⅲ期(n=37)56.6%、
Ⅳ期(n=9) 44.8%

帝王切開率 19.8%(96/486)（前年比+0.5ポイント）

再開腹率 0.5%(2/387)（前年比+0.3ポイント）

アクシデント 3件(全例、機能障害等を残さずに軽快)（前年比－3件）

1. 人材と設備

スタッフ 4人

日本眼科学会認定 専門医 3人

2. プロセス

クリニカルパスについては白内障、網膜剥離、硝子体手術、角膜移植で施行

3. 経 験 値

1) 白内障

(1)対象期間：2008年4月～2011月3月(3年間)

超音波水晶体乳化吸引＋眼内レンズ挿入術 2,123眼

計画的嚢外水晶体摘出＋眼内レンズ挿入術 6眼

(2)入院に関して

[平均入院期間]

2008年度 片眼手術3.1日±0.76、両眼手術6.3日±0.90

2009年度 片眼手術3.0日±0.72、両眼手術6.0日±0.85

2010年度 片眼手術3.0日±0.66、両眼手術6.1日±0.75

(3)手術合併症

1. チン小帯断裂による眼内レンズ縫着率 4/2,123眼(0.28%)

2. 術後遅発性眼内炎 0/2,123眼(0%)

2) 角膜移植

(1)対 象 期 間：2008年4月～2011月3月(3年間)

角膜移植術 96眼

(2)性 別：男性22例24眼、女性67例72眼

(3)透明治癒率：角膜移植 93/96(96.8%)

3) 網膜剥離

①治療法

硝子体手術

②疾患の背景

対象期間：2008年4月～2011月3月(3年間)

硝子体手術

[性 別] 男性44例44眼、女性52例52眼(計96眼)

[年齢分布] 28～83歳(平均55.2±12.6)

[分 類] 裂孔原性網膜剥離 77眼

増殖性硝子体網膜症 19眼

[初回網膜復位率] 73眼／77眼(94.8%)

[最終網膜復位率] 76眼／77眼(98.7%)

4) 糖尿病網膜症

(1)治療法

硝子体手術

(2)疾患の背景

対象期間：2008年4月～2011月3月

[性 別] 男性42例46眼、女性58例68眼(計114眼)

[年齢分布] 28～80歳(平均61.4±16.6歳)

[分 類]	1. 硝子体出血	42眼
	2. 牽引性黄斑網膜剥離	24眼
	3. 黄斑外網膜剥離	12眼
	4. 線維血管性増殖	6眼
	5. 黄斑浮腫	16眼

(3)手術成績

[再手術率] 9／114眼(7.9%)

[牽引性網膜剥離における初回復位率] 33／ 36眼(91.7%)

耳 鼻 咽 喉 科

1. 人材と設備

伊東 真人 部長：日本耳鼻咽喉科学会専門医、頭頸部外科学会評議員、騒音性難聴認定医、補聴器適合医師、日本耳科学会員、日本頭頸部外科学会員、日本頭頸部癌学会会員、日本口腔咽頭科学会員

笹井 久徳 医師：日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本気管食道科学会専門医、日本喉頭科学会会員、日本頭頸部癌学会会員、日本頭頸部外科学会員

古川 雅史 医師：日本耳鼻咽喉科学会員、日本頭頸部外科学会員、日本臨床耳鼻咽喉科学会

北村 公二 医師：日本耳鼻咽喉科学会員、日本臨床耳鼻咽喉科学会員

2. プロセス

クリティカルパスについて

作成済みパス 13件、クリティカルパス使用率 : 64%

対象疾病名の一覧：声帯ポリープ、声帯腫瘍

慢性中耳炎

習慣性扁桃炎

喉頭癌

舌癌

甲状腺腫瘍

耳下腺腫瘍

副鼻腔炎

アレルギー性副鼻腔炎

急性扁桃炎

突発性難聴

顔面神経麻痺

3. 治療方針

慢性中耳炎や伝音性難聴には、鼓膜・鼓室形成術や、伝音連鎖再建術を行っています。慢性中耳炎にたいする鼓膜・鼓室形成術が316耳。真珠腫性中耳炎にたいする鼓室形成術が277耳になりました。先天性耳小骨奇形や耳硬化症に対する伝音連鎖再建術も47例行い、全症例に聴力改善を得て、成功しています。

慢性副鼻腔炎にたいしては、鼻内内視鏡手術を平成5年から導入し、以来819例の症例を重ね、鼻閉・嗅覚障害の改善において良好な治療成績と、副損傷なしの実績を得ています。

さらに、本年度からは手術支援ナビシステムも入り、更なる安全な手術が行えるようになりました。

嚥声、呼吸困難にたいしては、発声訓練などの保存的治療と音声外科手術を病状毎に選択しています。耳下腺腫瘍、頸部嚢胞などの良性腫瘍も患者さんの希望があれば、積極的に手術しています。

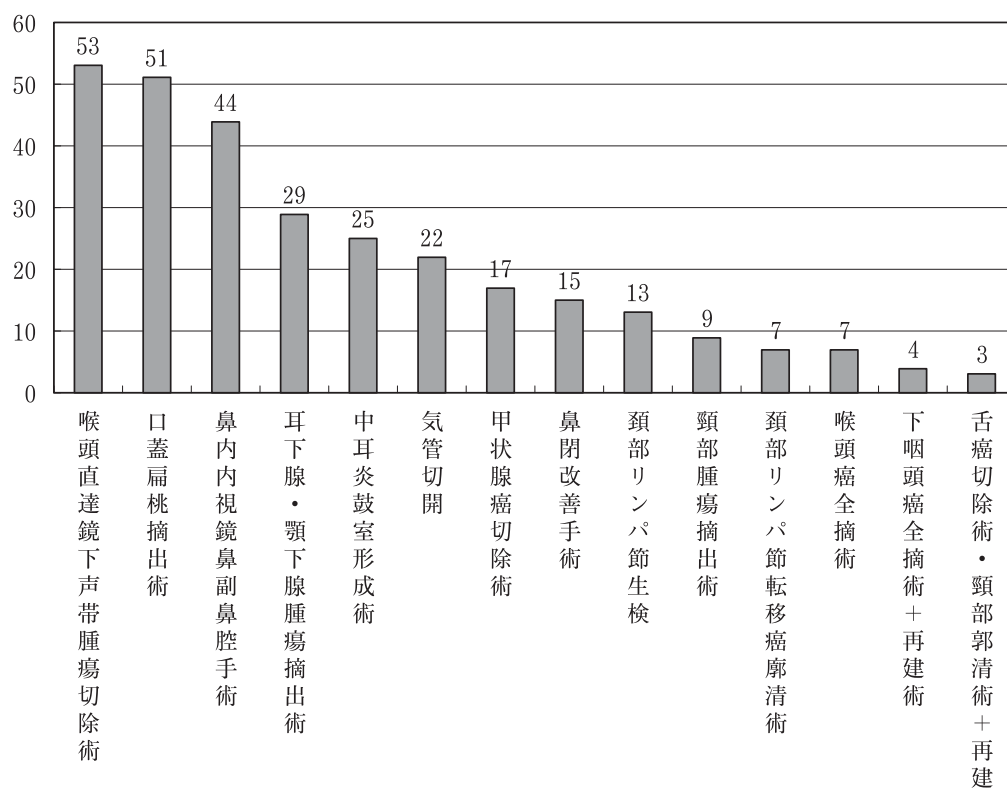
突発性難聴などの感音性難聴、めまいなどの平衡機能障害、さらに味覚・嗅覚障害などの感覚器の機能障害にたいする検査および治療体制も万全です。突発性難聴や末梢性顔面神経麻痺に対しては、重症例をのぞき、外来での点滴治療を行なっています。

口腔、咽喉頭癌さらに鼻副鼻腔癌などの頭頸部癌には集学治療を行っています。進行癌に対しては再建外科を含めた拡大手術をおこなう一方、早期癌に対しては機能温存をめざした化学放射線を行っております。現在までに1,100人の頭頸部がん患者さんの治療を行わせていただいております。当院は耳鼻咽喉科研修指定病院ですが、昨年さらに頭頸部外科学会の頭頸部癌治療研修指定病院にも認定されました。

4. 経 験 値

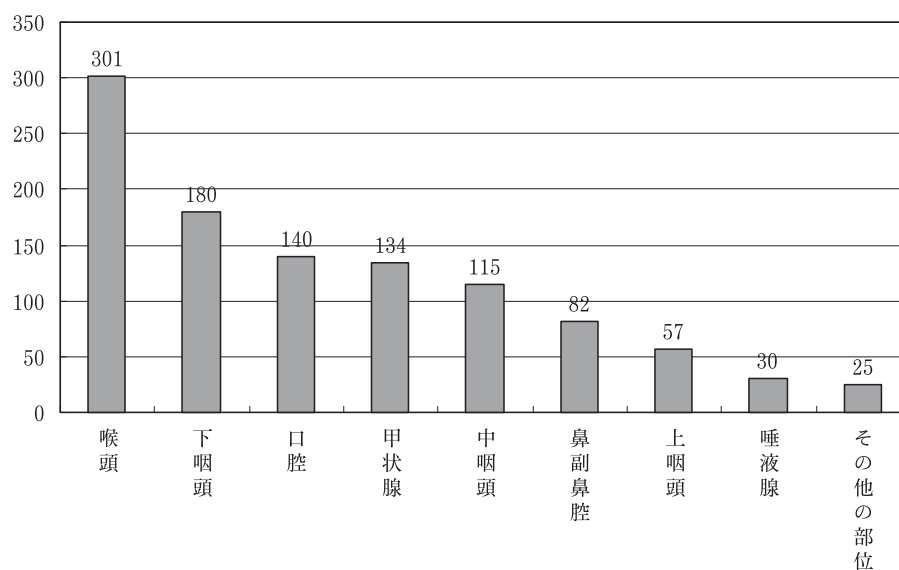
平成22年度の年間の新患患者数は2,674人、紹介率は61.5%でした。手術件数は314件でした。このうち、主な手術は、鼻茸、鼻ポリープを含む慢性副鼻腔炎や鼻腔乳頭腫などの鼻腔良性腫瘍にたいする鼻内内視鏡手術44例、習慣性扁桃炎や睡眠時無呼吸に対する扁桃摘出術51例、慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎にたいする鼓膜・鼓室形成術25例、声帯ポリープや早期声帯がんなどに対する顕微鏡下喉頭微細手術53例、耳下腺腫瘍などの唾液腺腫瘍摘出術が29例などでした。頭頸部癌に対する根治を目的とした全摘術が32例。内訳は、喉頭癌7例、下咽頭癌4例、舌癌4例、甲状腺乳頭癌17例、頸部リンパ廓清術8例などでありました。

2010年度の主な手術件数



治療した頭頸部癌の原発部位別症例

頭頸部観察期間 1991年3月～2010年12月



4. アウトカム

頭頸部癌症例の原発部位別生存率頭頸部癌観察期間 1991年3月～2010年12月

原 発 部 位	症例数	ステージ	症例数	疾患特異的 5年生存率
喉頭癌				
声門癌				
平均年齢 68歳		I	108	94%
男	197	II	66	91%
女	15	III	24	81%
症例合計	212	IV	14	100%
声門上がん				
平均年齢 68歳		I	6	83%
男	72	II	25	77%
女	10	III	25	85%
症例合計	82	IV	26	59%
声門下癌				
平均年齢 70歳		I		
男	7	II	4	100%
女	0	III	3	50%
症例合計	7	IV		

舌癌

平均年齢	60歳		I	22	92%
男		59	II	21	78%
女		23	III	17	44%
症例合計		82	IV	22	69%

甲状腺

平均年齢	62歳		I	11	100%
男		38	II	30	100%
女		94	III	28	100%
症例合計		132	IV	62	75%

中咽頭癌

平均年齢	64歳		I	8	86%
男		96	II	19	87%
女		19	III	21	76%
症例合計		115	IV	67	43%

鼻副鼻腔癌

平均年齢	63歳		I	6	100%
男		57	II	14	46%
女		22	III	21	65%
症例合計		79	IV	38	47%

上咽頭癌

平均年齢	56歳		I	1	100%
男		43	II	8	88%
女		14	III	24	66%
症例合計		57	IV	24	73%

慢性中耳炎の聴力改善率 観察期間 1992年～2010年12月

	症 例 数	聴力改善率
接触鼓膜法	20	70%
I 型	245	80%
III 型	42	67%

真珠腫性中耳炎の聴力改善率 観察期間 1992年～2010年12月

	症 例 数	聴力改善率
I 型	28	68%
Ⅲ型	150	64%
Ⅳ型	24	33%
O 型	75	40%
評価症例数	251	53%

リハビリテーション科

1. 人材と設備

医師部門：専従医師 1人

日本リハビリテーション医学会専門医 1人

日本リハビリテーション医学会指導責任者 1人

専任医師 1人

嘱託医師 1人

兼任医師 3人

脳神経外科医 1人

整形外科医 1人

循環器内科医 1人

セラピスト部門：理学療法士 18人

三学会合同呼吸療法認定士 8人

心臓リハビリテーション指導士 4人

作業療法士 7人

言語聴覚士 3人

リハ科外来看護師 1人

理学療法助手 3人

医療機器などの設備について

運動療法室・水治療室及び心疾患リハビリテーション室、スポーツリハビリテーション室の各専用訓練室、屋外訓練場に、心臓リハビリテーション用エルゴメーター・トレッドミルと呼気ガス分析装置、バイオデックスによる筋力測定、筋電計などを設置しています。また、作業療法室・日常動作訓練室、各種スイッチを利用した重度障害者用のパソコンや環境制御装置、浴室・トイレの動作訓練を行うシミュレーション装置「ADLユニット」、個室形式の言語療法室などと嚥下障害の評価法としてVE（内視鏡）が整備されています。

2. プロセス

クリティカルパスについて

・整形外科・スポーツ整形外科疾患術後療法について：

整形外科の各分野別パスに準ずる

・急性心筋梗塞後、開心術後、心不全後、PADの心臓大血管等リハビリテーションについて：

循環器内科のパスに準ずる

・腹部手術周術期呼吸リハ、食道がんの術前・術後、頭頸部腫瘍術前・術後、その他、治療方針は学会の指針に基づく

カンファレンスについて

各診療科と定例カンファレンスを行い、治療方針、ゴール、入院期間等を協議しています。

脳神経外科とは、毎週の水曜日 午後4時から

整形外科とは、関節・スポーツ・脊椎・外傷の各医師と主に火曜日もしくは木曜日
月1回 夕方から

内科(循環器科)とは、毎週の月曜日に午後3時30分から運動療法室、形成外科、看護師、
セラピスト、装具士の合同カンファレンスはCCUで毎週の木曜日の午前8時から

3. 経 験 値

患者実施件数(平成22年4月～平成23年3月)

【理学療法部門】(件数)

理学療法部門(総件数)	37,137
理学療法 脳血Ⅰ	6,105
理学療法 脳血Ⅰ(廃用)	7,055
理学療法 運動Ⅰ	17,412
理学療法 呼吸Ⅰ	176
理学療法 心大Ⅰ	3,644
理学療法 運動Ⅱ	2,745

新患数(年間): 1,875件

整形外科(スポーツ整形外科を含む)、脳外科が中心ですが、循環器領域での急性心筋梗塞、心不全、PAD(末梢動脈疾患)等に対する運動療法の件数が増加しています。

【作業療法部門】(件数)

作業療法部門(件数)	17,908
作業療法 脳血Ⅰ	5,199
作業療法 脳血Ⅰ(廃用)	1,625
作業療法 運動Ⅰ	4,921
作業療法 運動Ⅱ	6,163

新患数(年間): 903件

整形外科、脳外科が中心ですが、手の外科領域の外来件数も増加しています。

【言語療法部門】（件数）

言語療法部門(件数)	7,164
言語療法 脳血 I	5,102
言語療法 脳血 I（廃用）	2,062

新患数(年間)：428件

脳外科の高次脳機能が中心ですが、早期のコミュニケーション確立のためベットサイド件数が増加し、摂食嚥下関係も看護師と共同で実施しています。

放 射 線 科

〔放射線診断部〕

1. 人材と設備

スタッフ	4人(部長 3人、医員 1人)		
有資格者	日本医学放射線学会	専門医	4人
	日本核医学会	専門医	1人
		PET認定医	1人
	日本インターベンショナル		
	ラジオロジー学会	指導医	1人

2. 経 験 値

2010年度 IVR(血管造影ほか)内訳

肝腫瘍塞栓術(動注化学療法を含む)	239例
その他の血管塞栓術	4例
血管造影のみ(静脈サンプリングを含む)	3例
消化管出血の緊急止血	2例
動注リザーバ留置術	2例
逆行性静脈瘤塞栓術	2例
膿瘍ドレナージ	5例
計	257例

〔核医学診断部〕

1. 人材と設備

スタッフ 2人

氏 名：石田良雄(資格：(1), (2), (4), (5), (6))、中城和也(資格：(1), (2), (3))

資 格：(1) 日本核医学会専門医

(2) PET核医学認定医

(3) 日本医学放射線学会認定医

(4) 日本循環器学会認定循環器専門医

(5) 日本内科学会認定医・研修指導医

(6) 日本高血圧学会 指導医

医療機器：(1) 回転型2検出器SPECT装置2台、(2)PET/CT装置1台

2. プロセス

核医学検査部門独自のパスはない。診療科のパスに組み込まれている。

核医学検査(SPECT、F-18 FDG PET)は、日本核医学会・日本アイソトープ協会のガイドラインに準じて実施されている。

3. 経 験 値

2010年PET-CT検査数	①F-18 FDGによる癌診断	1,045症例
2010年SPECT検査数	①心筋血流シンチグラフィ	1,130症例
	②骨シンチグラフィ	441症例
	③脳血流シンチグラフィ	226症例
	④センチネルリンパ節シンチグラフィ	86症例
	⑤ガリウムシンチグラフィ	41症例
	⑥その他	65症例

麻酔科・中央手術部

1. 人材と設備

ス タ ッ フ 12人	上山 博史	指導医
	林 英明	指導医
	久利 通興	指導医
	宮尾 章士	指導医
	興津 賢太	標榜医
	馬渡 圭子	標榜医
	小山有紀子	標榜医
	甲 俊迪	標榜医
	平田 絵美	標榜医
	清中さわみ	レジデント
	末田 彩	レジデント
	大橋 沙織	レジデント

設 備

全身麻酔装置	9台
全身監視装置	9台
動脈血分析装置	1台

2. プロセス

麻酔科外来での術前診察
 麻酔担当医の術前訪問
 術前術後症例検討会
 抄読会

3. 経 験 値

	外 科	整 形 外 科	形 成 外 科	脳 神 経 外 科	心 臓 血 管	皮 膚 科	泌 尿 器 科	産 科	婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉	口 腔 外 科	合 計
定 時	745	1,461	576	156	192	17	381	44	239	775	298	164	5,048
時 間 内 緊 急	84	77	63	69	16	0	10	27	26	11	12	2	398
時 間 外 緊 急	82	39	13	95	11	0	13	25	8	7	7	0	299
合 計	911	1,577	652	320	219	17	404	96	273	793	317	166	5,675
全 身 麻 酔	789	1,024	106	265	214	0	121	2	212	21	268	157	3,179
脊椎くも膜下麻酔	105	39	30	0	1	0	279	93	58	0	0	0	458
硬 膜 外 麻 酔	6	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	4
伝 達 麻 酔	1	314	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45
局 所 麻 酔	10	185	488	53	4	17	0	1	3	772	49	9	1,591
合 計	911	1,577	652	320	219	17	404	96	273	793	317	166	5,675

救急部・重症治療部

1. 人材と設備

スタッフ 3人(兼務)

2. プロセス

治療方針：エビデンス、ガイドラインが得られる病態(蘇生、外傷初期診療、その他)についてはそれらに基づいた救急医療・集中治療。さらに集学的治療により新たなエビデンスの発信。

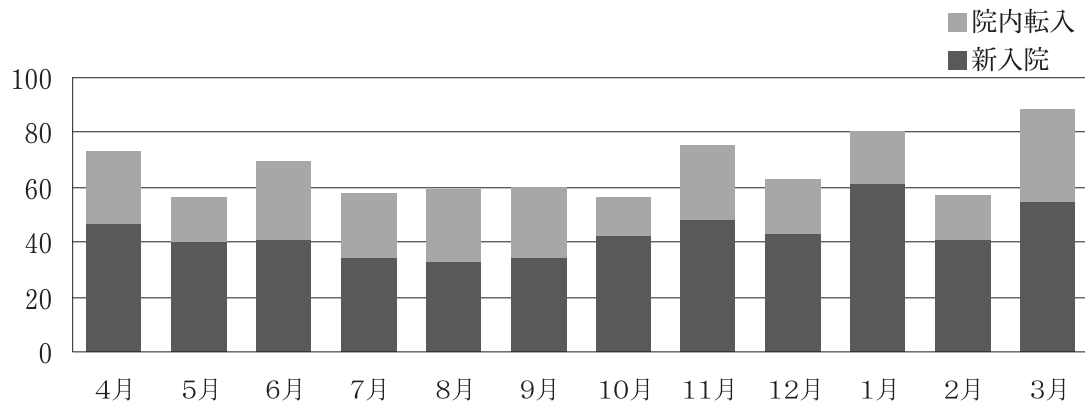
救急科クリティカルパス適応病態：人工呼吸管理を要さない急性薬物中毒

3. 経 験 値

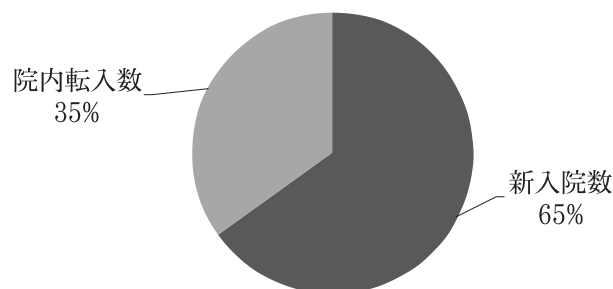
平成22年度ICU入室数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
73	56	69	58	59	60	56	75	63	80	57	88	794

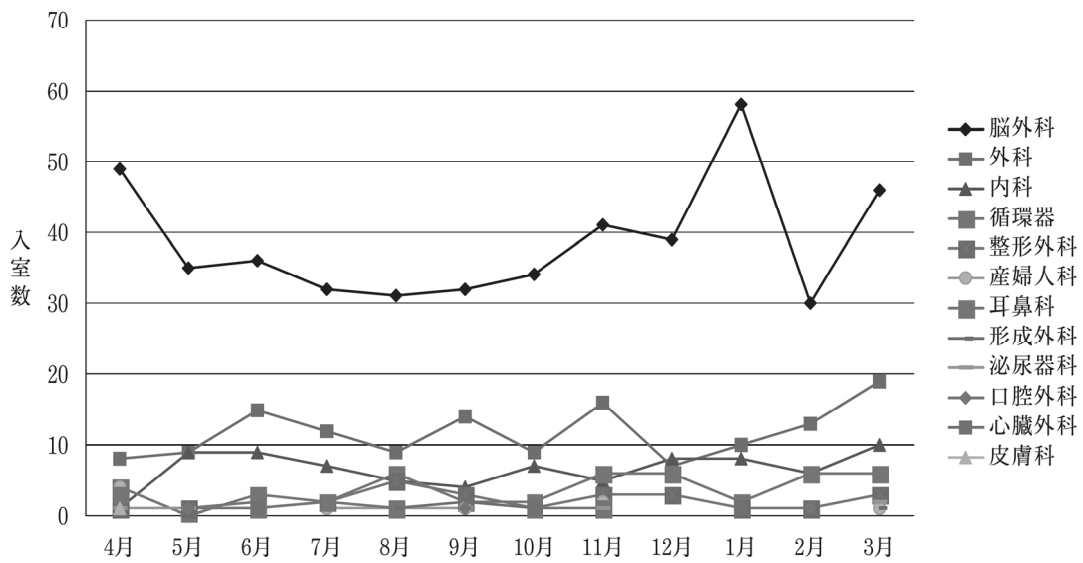
平成22年度ICU入室内訳



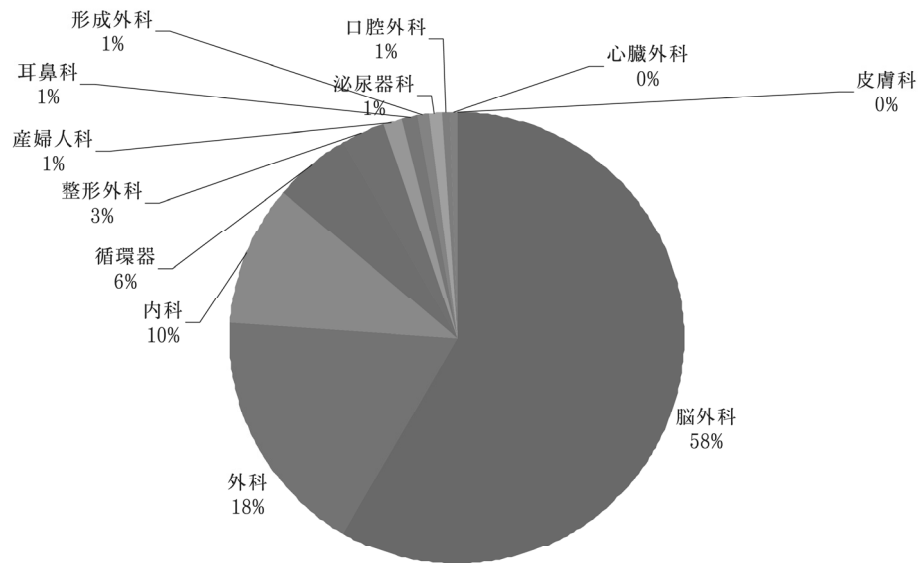
平成22年度ICU入室内訳



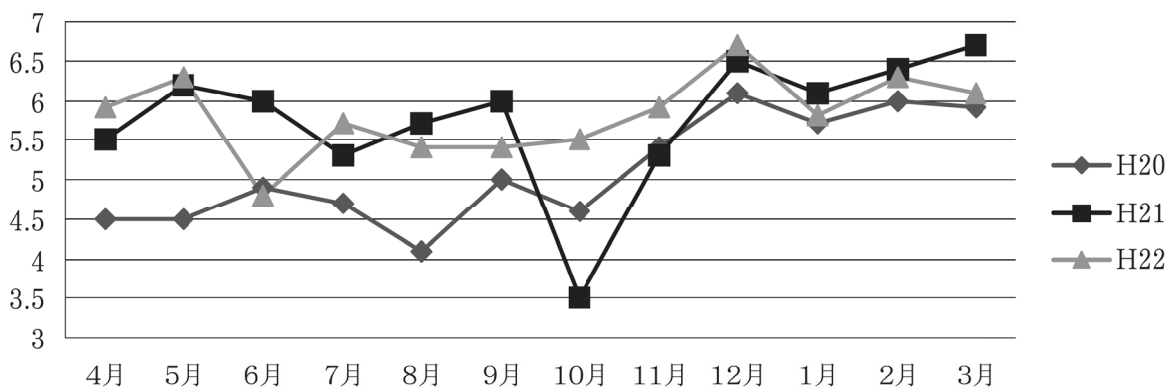
平成22年度ICU科別患者数



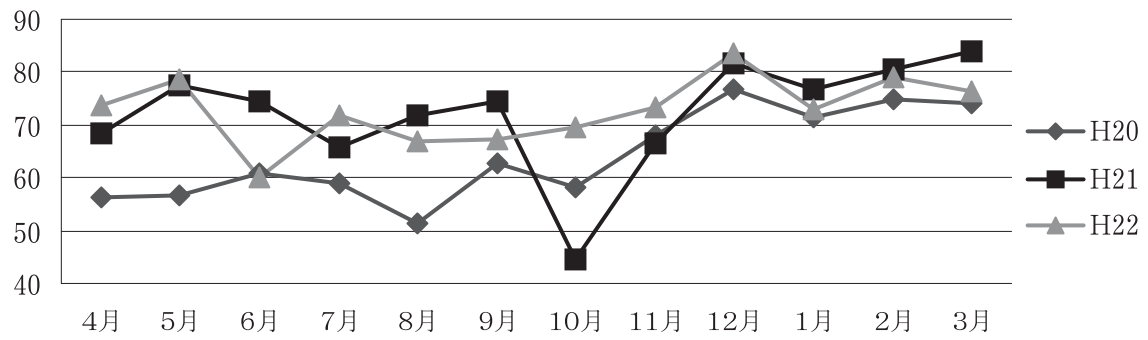
平成22年度ICU科別患者数



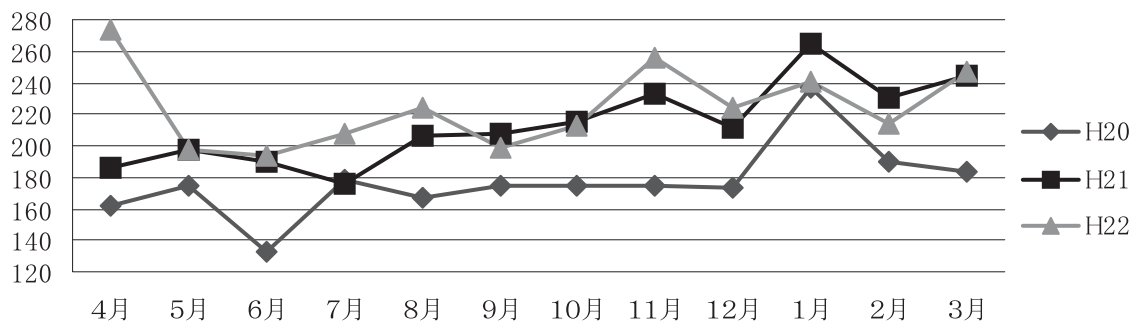
1日平均在院患者数



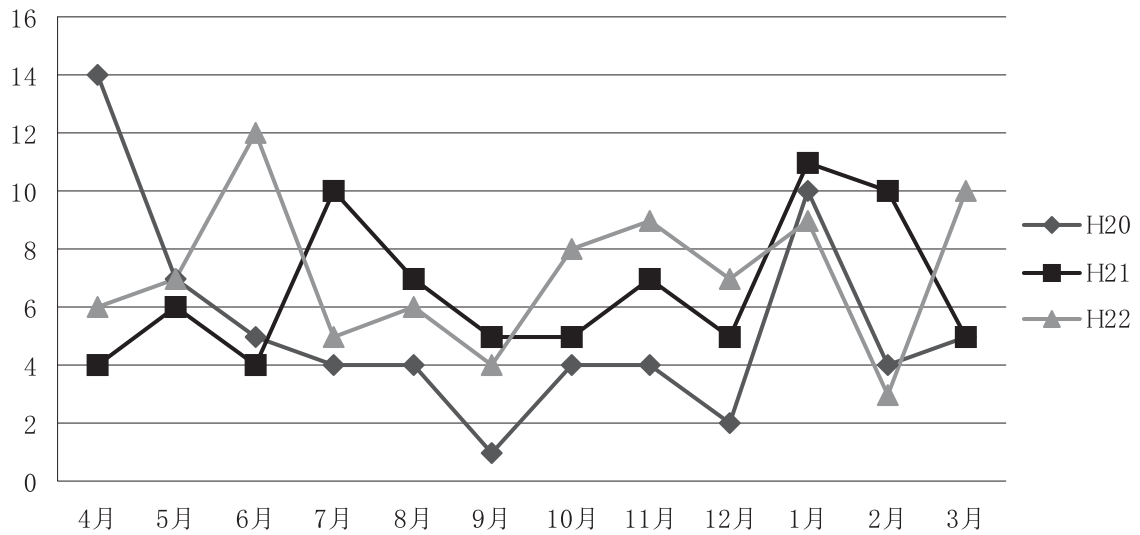
病棟利用率



救急車搬送数



CPA搬送数



病 理 科

1. 人材と設備

スタッフ：病理医 3人、臨床検査技師 6人

有資格者：日本病理学会認定専門医 3人

日本臨床細胞学会認定細胞診専門医 2人

日本臨床細胞学会認定細胞検査士 5人

医療機器などの設備(病理解剖室を除く)

光学顕微鏡、蛍光顕微鏡、バーチャル顕微鏡、ミクロトーム、クリオスタット、
自動包埋装置、自動染色封入装置、自動免疫染色装置、
マイクロウェーブ迅速試料処理装置

2. プロセス

各種癌取り扱い規約、WHO分類に準拠した病理診断を行っています。悪性リンパ腫など専門性の高い領域については外部へのコンサルテーションも行っています。

3. 経 験 値

暦 年	組 織 診 (件)	うち迅速診断 (件)	細 胞 診 (件)	剖 検 (件)	院内剖検率 (%)
2006(H18)	6,877	474	7,270	18	2.7
2007(H19)	7,151	490	7,660	14	2.6
2008(H20)	6,541	401	6,913	22	4.8
2009(H21)	6,658	434	6,877	15	3.1
2010(H22)	6,710	421	7,377	10	2.1

4. アウトカム

該当するデータはありません。

歯科口腔外科

1. 人材と設備

歯科医師 3人 日本口腔外科学会指導医・専門医 1人
 歯科衛生士 3人
 歯科技工士 1人

2. プロセス

クリティカルパス

埋伏智歯抜歯	正中過剰埋伏抜歯	上顎洞根本術	舌小帯形成術	計7種
嚢胞摘出術	顎骨骨折手術	抜釘術		

3. 経験値(2010年度)

1) 初診患者数(人)

埋伏歯	659
顎関節疾患	180
炎症性疾患	122
粘膜疾患	296
外傷	68
良性腫瘍	109
悪性腫瘍	25
歯・歯周疾患その他	1,250
唾液腺疾患	23
神経性疾患	24
嚢胞疾患	68
先天異常・発育異常	75
計	2,899

平均外来患者数 38.8人/日

2) 入院手術件数(例)

良性腫瘍	36
悪性腫瘍	13
骨折	8
抜釘	6
嚢胞	43
小帯形成	27
抜歯	209
上顎洞手術	7
顎下腺摘出	2
創傷処理	2
消炎手術	21
外科矯正手術	2
その他	17
計	393

平均入院患者数 5.9人/日

3) 埋伏歯抜歯

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
抜歯件数(本)	763	793	690	682	811

4) 口腔ケア依頼件数(入院)

	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
依頼件数(人)	190	206	154	169	152

4. アウトカム

1) 口腔癌治療成績

①調査期間：1997年1月～2010年12月

②症 例 数：126例(一次治療後1年以上が経過した症例)

③5年生存率 累積5年生存率(他因死含)

stage I	42例	79.3%
stage II	58例	70.4%
stage III	11例	57.9%
stage IV	15例	26.2%
Total	126例	66.8%

1-1. 舌 癌(n=53)	68.3%
1-2. 上顎歯肉癌(n=16)	56.5%
1-3. 下顎歯肉癌(n=20)	56.0%
1-4. 口 底 癌(n=12)	61.1%
1-5. 頬 粘 膜 癌(n=9)	88.9%

2) 合 併 症

	入院手術	外来手術
術後感染・治癒不全	1.6%	2.0%
術 後 知 覚 異 常	4.0%	0.4%
術 後 出 血	0.7%	0.3%

栄 養 管 理 室

1. 人材と設備

管理栄養士	糖尿病療養指導士	長尾 美恵
管理栄養士	糖尿病療養指導士	和田 幸恵
管理栄養士	糖尿病療養指導士	永井美津代

2. 経 験 値

栄養指導件数(平成22年実績)

個人指導数 1,136件

入院：632件

外来：504件

集団指導数 60件 延べ人数 510人

糖尿病スクール(外来患者対象) 12回／年

糖尿病教室(入院患者対象) 44回／年

肝臓病教室 2回／年

腎不全教室 1回／年

そ の 他 1回／年

學 術 業 績 集

内 科

論文・著書

- Factors affecting efficacy in patients with genotype 2 chronic hepatitis C treated by pegylated interferon alpha-2b and ribavirin: reducing drug doses has no impact on rapid and sustained virological responses

Inoue Y, Hiramatsu N, Oze T, Yakushijin T, Mochizuki K, Hagiwara H, Oshita M, Mita E, Fukui H, Inada M, Tamura S, Yoshihara H, Hayashi E, Inoue A, Imai Y, Kato M, Miyagi T, Hoshui A, Ishida H, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Takehara T, Hayashi N
J Viral Hepat 17(5):336-44,2010

- 急性腎不全 (ARF)/急性腎傷害(障害) (AKI)の診断と治療

和泉雅章
腎臓内科レジデントマニュアル改訂第5版 p.73-89 診断と治療社 2010

- 腎疾患の検査法 7.腎臓超音波検査(腎エコー、腎血流 Doppler法)

和泉雅章
腎臓内科レジデントマニュアル改訂第5版 p.423-428 診断と治療社 2010

学会報告

- 低張液で治療を開始した著明な低ナトリウム血症の1例

佐々木周伍、鈴木康太、富田弘道、依藤秀樹、上田恵理子、福本裕美、林 功、倭 正也、五郎川伸一、橋本光司、和泉雅章
第9回近畿 水・電解質カンファレンス 2010.1.30 大阪市

- 糖尿病患者においては、QOLを損ねる事なくアドヒアランスを高める事ができるのかもしれない

林 功
第49回日本心身医学会近畿地方会 2010.2.13 京都府

- 小腸疾患の診断における内視鏡的アプローチ法の新展開

小森真人、飯島英樹、伊藤善基、久保光彦
第6回日本消化管学会総会 2010.2.19-20 福岡市

- 難治性潰瘍性大腸炎に合併するサイトメガロウイルス (CMV) 感染の診断と治療の最前線

前川 聡、小森真人、牧野 仁、飯島英樹、伊藤善基、萩原秀紀、久保光彦
第6回日本消化管学会総会 2010.2.19-20 福岡市

- NSAIDs、アスピリン服用に伴う上部消化管、小腸粘膜傷害の現況と対策

戸田万生良、小森真人、飯島英樹、伊藤善基、萩原秀紀、阿部 孝、久保光彦
第6回日本消化管学会総会 2010.2.19-20 福岡市

- 小腸疾患の診断における内視鏡的アプローチ法の新展開

前川 聡、小森真人、飯島英樹、吉原治正
第92回日本消化器病学会近畿支部第92回例会 2010.2.27 大阪市

- 焼灼止血術にて止血しうるも、緊急上部消化管内視鏡検査では臍臓穿孔に気付かなかった巨大胃潰瘍の1例

板倉史晃、前川 聡、小森真人、石見亜矢、中田悠紀、戸田万生良、中村剛之、糸瀬一陽、牧野 仁、伊藤善基、萩原秀紀
第92回日本消化器病学会近畿支部例会 2010.2.27 大阪市

- 高齢者に対する インスリン自己注射の再指導

大島啓子、島田有希、内山典子、三浦千香子、山田珠水、千葉希功子、高瀧智美、田中友加子、岡村亜紀子、布谷容子、佐々木周伍、林 功、五郎川伸一
第2回関西糖尿病療養指導・看護研究会 2010.2.27 堺市

- 関西労災病院における歯科衛生指導の実態調査

高野敬子、佐々木周伍、林 功、五郎川伸一
第2回関西糖尿病療養指導・看護研究会 2010.2.27 堺市

- 入院中の間食を隠そうとする患者さんへの対応

布谷容子
第44回糖尿病学の進歩 2010.3.5 大阪市

- 術前生検診断groupⅢ病変に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)の有用性の検討

中村剛之、小森真人、石見亜矢、前川 聡、中田悠紀、戸田万生良、糸瀬一陽、牧野 仁、伊藤善基、萩原秀紀、林 紀夫
第96回日本消化器病学会総会 2010.4.22-24 新潟市

- B型慢性肝疾患に対するラムブジン投与症例における肝発癌についての検討

黒川三佳、平松直樹、倉繁奈緒、小瀬嗣子、薬師神崇行、望月 圭、北田学利、土井喜宣、山田 晃、尾下正秀、金子 晃、萩原秀紀、三田英治、永瀬寿彦、吉原治正、今井康陽、林英二朗、木曾真一、考藤達哉、竹原徹郎、林 紀夫
第46回日本肝臓学会総会 2010.5.27-28 山形市

- 肝細胞癌治療後C型肝炎に対するPeg-IFN/Ribavirin併用療法の治療効果と肝癌再発について

黒川三佳、平松直樹、小瀬嗣子、薬師神崇行、望月 圭、北田学利、飯尾禎元、土井喜宣、尾下正秀、金子 晃、萩原秀紀、三田英治、伊藤敏文、乾 由明、片山和宏、吉原治正、今井康陽、林英二朗、竹原徹郎、林 紀夫
第46回日本肝臓学会総会 2010.5.27-28 山形市

- C型肝炎細胞癌における制御性T細胞の誘導機序解明

垣田成庸、考藤達哉、糸瀬一陽、井上路代、松原徳周、東谷光庸、宮崎昌典、宮竹英希、榊原 充、平松直樹、竹原徹郎、笠原彰紀、林 紀夫
第46回日本肝臓学会総会 2010.5.27-30 山形市

- 運動療法、食事療法のアドヒアランスとQOLとの関連について

林 功、森川侑佳、佐々木周伍、山本裕一、五郎川伸一
第53回日本糖尿病学会年次学術集会 2010.5.27-29 岡山市

- 糖尿病と抑うつ性の関連

佐々木周伍、林 功、森川侑佳、山本裕一、五郎川伸一
第53回日本糖尿病学会年次学術集会 2010.5.27-29 岡山市

- 2型糖尿病におけるグルリジンの血糖変動に及ぼす影響-リスプロとの比較

山本裕一、桂 央士、大楠崇浩、久保典代、吉間陽子、藤木典隆、坂本賢哉、小杉圭右
第53回日本糖尿病学会年次学術集会 2010.5.27-29 岡山市

- ステロイドパルス療法におけるインスリンプロトコルの検討

森川侑佳、佐々木周伍、山本裕一、林 功、五郎川伸一
第53回日本糖尿病学会年次学術集会 2010.5.27-29 岡山市

● 後期高齢者におけるインスリン自己注射の実態調査

大島啓子、島田有希、内山典子、三浦千香子、山田珠水、千葉希功子、高瀬智美、田中友加子、岡村亜紀子、布谷容子、佐々木周伍、林 功、五郎川伸一
第53回日本糖尿病学会年次学術集会 2010.5.27-29 岡山市

● 特定保健用食品の使用状況調査-糖尿病患者と非糖尿病患者との比較-

和田幸恵、橋本美津代、長尾美恵、森川侑佳、佐々木周伍、山本裕一、林 功、五郎川伸一
第53回日本糖尿病学会年次学術集会 2010.5.27-29 岡山市

● インスリン自己注射患者のインスリンアドヒアランスの検討

森本由美、門池香織、森川侑佳、佐々木周伍、山本裕一、林 功、韓 秀妃、五郎川伸一
第53回日本糖尿病学会年次学術集会 2010.5.27-29 岡山市

● 感染性心内膜炎に腎障害を合併し、外科的治療により血液透析離脱した1例

依藤秀樹、上田恵理子、福本裕美、富田弘道、倭 正也、和泉雅章
第55回日本透析医学会学術集会 2010.6.18-20 神戸市

● 二重膜濾過血漿交換直後の大量γグロブリン投与併用療法が著効した重症尋常性天疱瘡の1例

青木克憲、石田 勲、上田恵理子、依藤秀樹、福本裕美、富田弘道、倭 正也、幸野 健、和泉雅章
第55回日本透析医学会学術集会 2010.6.18-20 神戸市

● 二重膜濾過血漿法が有効であったクリオグロブリン血症性血管炎の1例

上田恵理子、依藤秀樹、福本裕美、富田弘道、倭 正也、和泉雅章
第55回日本透析医学会学術集会 2010.6.18-20 神戸市

● Peg-IFN/Ribavirin併用療法の肝発癌抑制効果について-多施設(OLF)共同研究-

小瀬嗣子、平松直樹、薬師神崇行、望月 圭、尾下正秀、萩原秀紀、三田英治、乾 由明、田村信司、吉原治正、今井康陽、加藤道夫、宮城琢也、吉田雄一、巽 智秀、木曾真一、考藤達哉、笠原彰紀、竹原徹郎、林 紀夫
第46回日本肝臓学会大会 2010.7.8-9 大阪市

● 急性腹症で入院し、経過中に管内増殖性糸球体腎炎と白血球破碎性血管炎を併発した1症例

木村良紀、富田弘道、白記達也、青木克憲、依藤秀樹、上田恵理子、福本裕美、和泉雅章
第40回日本腎臓学会西部学術大会 2010.10.8-9 広島市

● HCV関連クリオグロブリン血症性血管炎の1例-我が熱闘300日の記録-

上田恵理子、青木克憲、依藤秀樹、富田弘道、金子哲也、和泉雅章
第62回OCKD(Osaka Collaborative Group of Kidney Disease)例会 2010.9.17 大阪市

● 診断に難渋した脾癌の1例

阿部佳奈子、戸田万生良、板倉史晃、石見亜矢、前川 聡、小豆澤秀人、中村剛之、柄川悟志、糸瀬一陽、牧野 仁、伊藤善基、萩原秀紀、林 紀夫
第93回日本消化器病学会近畿支部例会 2010.9.18 大阪市

● 肝臓病研究の展望-基礎研究から臨床研究へ-

林 紀夫
第52回日本消化器病学会大会 2010.10.13-16 横浜市

● C型肝炎研究の歴史と今後の展望

林 紀夫、平松直樹、竹原徹郎
第52回日本消化器病学会大会 2010.10.13-16 横浜市

● 白血球増多と腹腔内出血を認めた肝内胆管癌の1症例

中田悠紀、石見亜矢、前川 聡、戸田万生良、中村剛之、糸瀬一陽、牧野 仁、小森真人、伊藤善基、萩原秀紀、永野輝明、中塚伸一
第52回日本消化器病学会大会 2010.10.13-16 横浜市

● Genotype 2型C型肝炎non-RVR症例に対するPeg-IFN/Ribavirin長期投与の有用性について

井上裕子、平松直樹、小瀬嗣子、薬師神崇行、望月 圭、萩原秀紀、尾下正秀、三田英治、福井弘幸、田村信司、吉原治正、林英二郎、井上敦雄、今井康陽、加藤道夫、木曾真一、考藤達哉、笠原彰紀、竹原徹郎、林 紀夫
第14回日本肝臓学会大会 2010.10.13-14 横浜市

● 肝癌治療後C型肝炎に対するPeg-IFN/Ribavirin併用療法の治療効果と肝癌再発について

黒川三佳、平松直樹、小瀬嗣子、薬師神崇行、望月 圭、飯尾禎元、土井喜宣、尾下正秀、金子 晃、萩原秀紀、三田英治、伊藤敏文、乾 由明、片山和宏、吉原治正、今井康陽、林英二郎、竹原徹郎、林 紀夫
第14回日本肝臓学会大会 2010.10.13-14 横浜市

● Peg-IFN/Ribavirin非著効例に対する再治療について-多施設(OLF)共同研究-

小瀬嗣子、平松直樹、薬師神崇行、望月 圭、萩原秀紀、三田英治、田村信司、吉原治正、今井康陽、林英二郎、吉田雄一、巽 智秀、木曾真一、考藤達哉、笠原彰紀、竹原徹郎、林 紀夫
第14回日本肝臓学会大会 2010.10.13-14 横浜市

● Peg-IFN/Ribavirin併用療法の肝発癌抑制効果について-多施設(OLF)共同研究-

小瀬嗣子、平松直樹、薬師神崇行、望月 圭、尾下正秀、三田英治、吉原治正、今井康陽、木曾真一、考藤達哉、笠原彰紀、竹原徹郎、林 紀夫
第14回日本肝臓学会大会 2010.10.13-14 横浜市

● 難治性C型肝炎に対する新薬開発を踏まえたPeg-IFN/Ribavirin併用療法の適応と限界

平松直樹、竹原徹郎、林 紀夫
第52回日本消化器病学会大会 2010.10.13-16 横浜市

● 糖尿病教育入院患者の東大式エゴグラムによる性格特性と退院1年後の経過について

林 功、森川侑佳、佐々木周伍、山本裕一、五郎川伸一
第47回日本糖尿病学会近畿地方会 2010.11.13 大阪市

講演会やテレビ出演

● 究極の患者指導 医師VSコメディカル

林 功
第4回糖尿病療養看護セミナー-夢舞台meeting- 2010.1.16-17 兵庫県淡路市

● 1型糖尿病患者さんへのカーボカウント導入 医師VS栄養士

林 功
第4回糖尿病療養看護セミナー-夢舞台meeting- 2010.1.16-17 兵庫県淡路市

● B型肝炎の病態と治療

萩原秀紀
第17回尼崎肝疾患懇話会 2010.1.23 尼崎市

● これからの高血圧治療を語る 脳血管疾患・心疾患・腎疾患・糖尿病専門医の開業医の立場から

和泉雅章、半田伸夫、勝部良樹、岸本通彦
Roundtable Discussion 2010.2.17 尼崎市

● インスリン注射器の変更は、血糖コントロールに影響するか？

五郎川伸一
Humalog Academic Speaker Committee 2010.2.20 東京都

● 糖尿病と抑うつ性について

林 功
第3回北摂臨床創造研究会 2010.2.26 吹田市

● ちょっと気になるくすりの話 ー慢性腎臓病の治療に用いる薬剤ー

和泉雅章
第62回慢性腎臓病治療食講習会 2010.3.14 西宮市

● 胃がんの内視鏡治療

中村剛之
第3回関西労災病院市民公開講座 2010.4.17 尼崎市

● 肝臓の診断と治療

萩原秀紀
バイエル株式会社社内研修会 2010.4.20 神戸市

● 肝臓病について

萩原秀紀
大阪府国民健康保険団体連合会研修会 2010.4.21 大阪市

● カルシウム・リン管理の重要性について

和泉雅章
三上クリニック患者会 2010.4.25 尼崎市

● ステロイドパルス療法時のプロトコルの検討

森川侑佳、佐々木周伍、山本裕一、林 功、五郎川伸一
第4回大阪糖尿病臨床カンファレンス 2010.5.8 大阪市

● カルシウム・リン管理の重要性について

和泉雅章
仁成クリニック患者会 2010.5.9 宝塚市

● 糖尿病と抑うつ性との関連

大島啓子、林 功、佐々木周伍、五郎川伸一
第25回糖尿病セミナー「おおさか」 2010.5.22 大阪市

● 糖尿病患者における口腔衛生の実態調査

高野敬子
第7回阪神糖尿病合併症セミナー 2010.6.4 西宮市

● 脳卒中1次・2次予防における糖尿病の管理

林 功
Stroke conference of KMU II 2010.6.5 大阪市

● C型肝炎といわれたら

萩原秀紀
尼崎市市民公開講座「もっと知りたい肝臓のこと」 2010.6.12 尼崎市

● C型肝炎の最新治療

萩原秀紀
C型肝炎市民公開講座「C型肝炎を治そう！あなたの疑問にお答えします」
2010.6.13 神戸市

● CSIIやCGM、食事療法について

林 功
第12回アーパー勉強会 2010.7.4 伊丹市

● C型肝炎 疾患および治療

萩原秀紀
毎日放送 情報番組 2010.7.12

● C型肝炎の病態と治療

萩原秀紀
第18回尼崎肝疾患懇話会 2010.7.24 尼崎市

● C型肝炎の最新治療

萩原秀紀
肝臓病市民公開講座「肝臓病に関する最新情報
ーあなたのための最適な治療を選択するー」 2010.9.5 尼崎市

● 糖尿病患者における心理行動医学的アプローチ

林 功
宝塚医師会精神科医会 2010.10.9 宝塚市

● 勤労者のメタボリックシンドローム対策

五郎川伸一
産業医研修会 2010.10.23 尼崎市

● 吹田市における糖尿病地域連携

林 功
第24回21世紀の地域医療を考える会 2010.10.23 尼崎市

● 2型糖尿病患者において厳格な血糖コントロールで心血管イベントは抑制できるか

林 功
第4回北摂臨床創造研究会 2010.10.24 豊中市

● 肝がんの診断

糸瀬一陽
第4回関西労災病院市民公開講座 2010.11.6 尼崎市

● 肝がんの内科的治療

小豆澤秀人
第4回関西労災病院市民公開講座 2010.11.6 尼崎市

● 糖尿病管理の最新の技術と技

林 功
日総研セミナー講師 2010.11.6 大阪市

● C型慢性肝炎に対するプロテアーゼ阻害剤併用療法の成績

糸瀬一陽
第11回OLF(Osaka Liver Forum)研究発表会 2010.11.19 大阪市

● 肝炎・肝がん診療のトピックス

萩原秀紀
尼崎市内科医会学術講演会 2010.12.4 尼崎市

主催研究会

●
和泉雅章
第20回中之島カンファレンス 2010.7.3 大阪市

環境医学研究センター
シックハウス診療科

学会報告

● 日本における特発性環境不耐症(IEI、所謂「化学物質過敏症」)に関する研究過程の検討

平田 衛
第51回日本社会医学会 2010.7.3-4 柏原市

● 特発性環境不耐症におけるシングルブラインド法による曝露負荷試験

大下 歩、吉田辰夫、平田 衛、三浦千香子
第58回日本職業・災害医学会学術大会 2010.11.5-6 千葉県

● シックハウス症候群と特発性環境不耐症における症状、所見等の比較-当科の診療成績から

吉田辰夫、平田 衛、大下 歩、三浦千香子
第58回日本職業・災害医学会学術大会 2010.11.5-6 千葉県

講演会やテレビ出演

● シックハウス・シックスクールとその周辺-現状と課題

平田 衛
枚方市教育委員会研修会 2010.8.18 枚方市

循環器科

論文・著書

- Importance of the angiosome concept for endovascular therapy in patients with critical limb ischemia

Iida O, Nanto S, Uematsu M, Ikeoka K, Okamoto S, Dohi T, Fujita M, Terashi H, Nagata S
Catheter Cardiovasc Interv 75:830-836,2010

- Is right ventricular dysfunction in obstructive sleep apnea a potential screening tool?

Uematsu M
Circulation Journal 74(2):250-251,2010

- Objective interpretation of dobutamine stress echocardiography by diastolic dyssynchrony imaging: a practical approach

Onishi T, Uematsu M, Watanabe T, Fujita M, Awata M, Iida O, Sera F, Hirano Y, Nanto S, Nagata S
J Am Soc Echocardiogr 23:1103-1108,2010

- シロリムス溶出性ステント留置5年後にステント留置部分の血管内性状を血管内視鏡で観察し得た1例

石原隆行、栗田政樹、石田良雄、上松正朗、永田正毅
大阪ハートクラブ 12月号:338,2010

- 血管内視鏡所見より考える左主幹部病変治療

栗田政樹、石原隆行、南都伸介
Coronary Intervention 6(4):18-23,2010

- DESの使い分け2:血管内視鏡所見より考える

石原隆行、栗田政樹
Coronary intervention 6(6):55-59,2010

- 悲しき「ホール・イン・ワン」

上松正朗
心エコー 11(7):712-717,2010

学会報告

- Angioscopic findings of zotarolimus-eluting endeavor stent implantation in the left main trunk

Awata M
Chinese Interventional Therapeutics 2010.4.2 Beijing,China

- A case of success stenting in true-lumen of in-stent-restenosis lesion after stenting in pseudo-lumen of common iliac artery

Ishihara T, Iida O, Watanabe T, Fujita M, Awata M, Onishi T, Sera F, Ikeoka K, Okamoto S, Tanaka N, Yasui H, Dohi T, Mishima T, Uematsu M, Ishida Y, Nanto S, Nagata S
Japan Endovascular Treatment Conference 2010.4.23-4.25 Tokyo,Japan

- Best abstract award: Angioscopic findings beyond 4 years after sirolimus-eluting stent implantation in patients

Awata M, Sera F, Ishihara T, Watanabe T, Fujita M, Iida O, Okamoto S, Tanaka N, Dohi T, Mishima T, Mizukami Y, Nanto K, Ishida Y, Nanto S, Uematsu M, Nagata S
EuroPCR 2010 2010.5.26 France

- Angioscope vs OCT: Common and different findings

Awata M
EncoreSeoul 2010 2010.11.6 Seoul,Korea

- Time course of the restenosis following nitinol stenting in the superficial femoral artery and the factors associated with early and late restenosis

Iida O
American Heart Association(AHA) 2010.11.13-17 Chicago,IL

- Angioscopic comparison of arterial repair between biodegradable polymer-coated biolimus A9-eluting stent and durable polymer-coated sirolimus-eluting stent in patients

Awata M, Sera F, Watanabe T, Fujita M, Iida O, Okamoto S, Tanaka N, Dohi T, Mishima T, Mizukami Y, Nanto K, Ishida Y, Nanto S, Uematsu M, Nagata S
American Heart Association(AHA) 2010.11.13-17 Chicago,IL

- Retrospective multicentre analysis for S.M.A.R.T. and luminex nitinol stent implantation for superficial femoral artery lesion(REAL SL) registry: 5 years experience

Okamoto S, Iida O, Uematsu M, Soga Y, Yokoi H, Nobuyoshi M, Hirano K, Muramatsu T, Fujita M, Nanto S, Nagata S
American Heart Association(AHA) 2010.11.13-17 Chicago,IL

- Investigation of relationship between the severity of coronary artery disease and major adverse cardiac event and amputation of lower extremity in Japanese population with peripheral artery disease

Ishihara T, Iida O, Watanabe T, Fujita M, Awata M, Onishi T, Sera F, Okamoto S, Tanaka N, Dohi T, Mishima T, Nanto K, Mizukami Y, Nanto S, Ishida Y, Uematsu M, Nagata S
American Heart Association(AHA) 2010.11.13-17 Chicago,IL

- Angioscopic evaluation of intra-stent characteristics 4 years after sirolimus-eluting stent implantation in patients

Awata M, Sera F, Ishihara T, Watanabe T, Fujita M, Iida O, Okamoto S, Tanaka N, Dohi T, Mishima T, Mizukami Y, Nanto K, Ishida Y, Nanto S, Uematsu M, Nagata S
74th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society 2010.3.5 Kyoto,Japan

- Angioscopic assessment of arterial repair following biodegradable polymer-coated biolimus A9-eluting stent implantation: Comparison with durable polymer-coated sirolimus-eluting stent

Awata M, Sera F, Ishihara T, Watanabe T, Fujita M, Iida O, Okamoto S, Tanaka N, Dohi T, Mishima T, Mizukami Y, Nanto K, Ishida Y, Nanto S, Uematsu M, Nagata S
CVIT 2010 2010 8.22-24 Sendai,Japan

- Angioscopic risk stratification in antiplatelet therapy after drug-eluting stent implantation

Awata M, Sera F, Ishihara T, Watanabe T, Fujita M, Iida O, Okamoto S, Tanaka N, Dohi T, Mishima T, Mizukami Y, Nanto K, Ishida Y, Nanto S, Uematsu M, Nagata S
CVIT 2010 シンポジウム「薬剤溶出性ステントの効果、安全性、適応を考える」2010 8.22-24 Sendai,Japan

- Angioscopic assessment of zotarolimus-eluting stent (EndeavorTM) 4 months after stent implantation

Ishihara T, Awata M, Sera F, Watanabe T, Fujita M, Iida O, Okamoto S, Tanaka N, Dohi T, Mishima T, Nanto K, Mizukami Y, Ishida Y, Nanto S, Uematsu M, Nagata S
CVIT 2010 2010 8.22-24 Sendai,Japan

● **Angioscopic assessment of Zotarolimus-eluting stent (EndeavorTM) in the left main trunk**

Ishihara T, Awata M, Sera F, Watanabe T, Fujita M, Iida O, Okamoto S, Tanaka N, Dohi T, Mishima T, Nanto K, Mizukami Y, Ishida Y, Nanto S, Uematsu M, Nagata S
CVIT 2010 2010 8.22-24 Sendai, Japan

● **Excimer laser coronary angioplasty can lower medical expenses**

Ishihara T, Awata M, Sera F, Watanabe T, Fujita M, Iida O, Okamoto S, Tanaka N, Dohi T, Mishima T, Nanto K, Mizukami Y, Ishida Y, Nanto S, Uematsu M, Nagata S
CVIT 2010 2010 8.22-24 Sendai, Japan

● **Severe chronic kidney disease was associated with poor clinical outcomes in patients with Sirolimus-eluting Stents, but not in those with Paclitaxel-eluting Stents: A one-year single center experience**

Ishihara T, Awata M, Sera F, Watanabe T, Fujita M, Iida O, Okamoto S, Tanaka N, Dohi T, Mishima T, Nanto K, Mizukami Y, Ishida Y, Nanto S, Uematsu M, Nagata S
CVIT 2010 2010 8.22-24 Sendai, Japan

● **血管内視鏡観察より見た 各種DES留置後の血管治癒**

栗田政樹
第20回日本心血管画像動態学会 ランチョンセミナー 2010.1.15-16 東京都

● **Dioにて血栓の脱落なくFILTRAPの回収に成功した1例**

石原隆行、栗田政樹、上松正朗、石田良雄、渡部徹也、藤田雅史、大西俊成、飯田 修、世良英子、池岡邦泰、岡本 慎、田中宣暁、安井治代、土肥智晴、三嶋 剛、南都伸介、永田正毅
CVIT近畿地方会 2010.2.5 豊中市

● **左主幹部にゾタロリムス溶出性ステントを留置し3カ月後に血管内視鏡にて新生内膜被覆を観察しえた1例**

石原隆行、栗田政樹、上松正朗、石田良雄、渡部徹也、藤田雅史、大西俊成、飯田 修、世良英子、池岡邦泰、岡本 慎、田中宣暁、安井治代、土肥智晴、三嶋 剛、南都伸介、永田正毅
CVIT近畿地方会 2010.2.5 豊中市

● **重症慢性腎臓病患者に対するSES/PES留置後の臨床成績の検討**

石原隆行、栗田政樹、渡部徹也、藤田雅史、大西俊成、飯田 修、世良英子、池岡邦泰、岡本 慎、田中宣暁、安井治代、土肥智晴、三嶋 剛、石田良雄、南都伸介、上松正朗、永田正毅
近畿心臓血管治療ジョイントライブ(KCJL)2010 2010.4.15-17 神戸市

● **Duration of DAPT いつまでDAPTを続けるか？ 永久投与の立場から**

栗田政樹
27th Live Demonstration in KOKURA ディベートセッション 2010.5.15 福岡県

● **何を基準にDESを使い分けるか 血管内視鏡所見より考えるDESの使い分け**

栗田政樹
27th Live Demonstration in KOKURA DES Summit VII Part in KOKURA 2010 2010.5.15 福岡県

● **内視鏡所見より考えるDES留置後の抗血小板療法**

栗田政樹
第5回Trans Catheter Imaging Forum (TCIF)ランチョンセミナー 2010.5.22 大阪市

● **Lotus root appearanceをIVUS・OCTで観察しえた陳旧性心筋梗塞の1例**

石原隆行
第5回Trans Catheter Imaging Forum (TCIF) 2010.5.22 大阪市

● **妊娠を契機に増悪を認めた頻拍誘発性心不全の1例**

渡部徹也
第109回日本循環器学会近畿地方会 2010.6.5 大阪市

● **血管造影上は有意狭窄と思われたが虚血が証明されなかった左回旋枝入口部狭窄の5例**

栗田政樹
第109回日本循環器学会近畿地方会 2010.6.5 大阪市

● **心サルコイドーシスの確定診断には至らなかったがステロイド治療が奏功した心不全の1症例**

世良英子
第109回日本循環器学会近畿地方会 2010.6.5 大阪市

● **Lotus root appearanceをIVUS・OCTで観察しえた陳旧性心筋梗塞の1例**

石原隆行
第109回日本循環器学会近畿地方会 2010.6.5 大阪市

● **術中ヘパリン投与下におけるACT値の信頼性**

三嶋 剛
第109回日本循環器学会近畿地方会 2010.6.5 大阪市

● **エンデバーステントの安全性と有効性の検討**

栗田政樹
TOPIC 2010.7.16-17 東京都

● **高度石灰化病変にてカッティングバルーンが抜去困難となった1例**

石原隆行、栗田政樹、渡部徹也、藤田雅史、飯田 修、世良英子、岡本 慎、田中宣暁、土肥智晴、三嶋 剛、南都清範、水上雪香、石田良雄、南都伸介、上松正朗、永田正毅
TOPIC 2010.7.16-17 東京都

● **コントラバシー「DES留置後の抗血小板療法はいつまで続けるべきか？」血管内視鏡所見より考えるDES留置後の抗血小板療法**

栗田政樹、世良英子、石原隆行、渡部徹也、藤田雅史、飯田 修、岡本 慎、田中宣暁、土肥智晴、三嶋 剛、南都清範、水上雪香、石田良雄、南都伸介、上松正朗、永田正毅
2010年心臓病学会 2010.9.17-19 東京都

● **エンデバーステント留置4カ月後の血管治癒性状: 血管内視鏡による検討**

石原隆行、栗田政樹、世良英子、渡部徹也、藤田雅史、飯田 修、岡本 慎、田中宣暁、土肥智晴、三嶋 剛、南都清範、水上雪香、石田良雄、南都伸介、上松正朗、永田正毅
2010年心臓病学会 2010.9.17-19 東京都

● **重症慢性腎臓病患者に対するSES/PES留置後の臨床成績の検討**

石原隆行、栗田政樹、世良英子、渡部徹也、藤田雅史、飯田 修、岡本 慎、田中宣暁、土肥智晴、三嶋 剛、南都清範、水上雪香、石田良雄、南都伸介、上松正朗、永田正毅
2010年心臓病学会 2010.9.17-19 東京都

- 左主幹部に留置したゾタロリムス溶出性ステントの血管治療性状: 血管内視鏡による検討

石原隆行、栗田政樹、世良英子、渡部徹也、藤田雅史、飯田 修、岡本 慎、田中宣暁、土肥智晴、三嶋 剛、南都清範、水上雪香、石田良雄、南都伸介、上松正朗、永田正毅
2010年心臓病学会 2010.9.17-19 東京都

- 生体吸収ポリマー型バイオリムス溶出性ステント留置後の新生内膜被覆: 内視鏡による観察

栗田政樹、世良英子、石原隆行、渡部徹也、藤田雅史、飯田 修、岡本 慎、田中宣暁、土肥智晴、三嶋 剛、南都清範、水上雪香、石田良雄、南都伸介、上松正朗、永田正毅
2010年心臓血管内視鏡学会 2010.10.2 東京都

- 血管内視鏡より考える DES留置後の抗血小板療法

栗田政樹、世良英子、石原隆行、渡部徹也、藤田雅史、飯田 修、岡本 慎、田中宣暁、土肥智晴、三嶋 剛、南都清範、水上雪香、石田良雄、南都伸介、上松正朗、永田正毅
2010年心臓血管内視鏡学会 シンポジウム 2010.10.2 東京都

- ゾタロリムス溶出性ステント留置後早期の血管治療性状: 血管内視鏡による観察

石原隆行、栗田政樹、世良英子、渡部徹也、藤田雅史、飯田 修、岡本 慎、田中宣暁、土肥智晴、三嶋 剛、南都清範、水上雪香、石田良雄、南都伸介、上松正朗、永田正毅
2010年心臓血管内視鏡学会 2010.10.2 東京都

- 総腸骨動脈に対し偽腔ステント留置後再開塞症例に対し真腔へのステント留置に成功した1症例

飯田 修
第110回日本循環器学会近畿地方会 2010.11.27 京都市

- 生体吸収ポリマー型バイオリムス溶出性ステント留置後の新生内膜被覆: 内視鏡による観察

栗田政樹
第110回日本循環器学会近畿地方会 2010.11.27 京都市

- 320列CTによるボリュームヘリカルスキャン機能により冠動脈および全大動脈造影を施行した多発動脈瘤の1例

世良英子
第110回日本循環器学会近畿地方会 2010.11.27 京都市

- 浅大腿動脈から膝窩動脈に至る長閉塞病変に対し、両方向性アプローチにより血管内治療に成功した1症例

岡本 慎
第110回日本循環器学会近畿地方会 2010.11.27 京都市

- ゾタロリムス溶出性ステント留置後早期の血管治療性状: 血管内視鏡による観察

石原隆行
第110回日本循環器学会近畿地方会 2010.11.27 京都市

- 有意狭窄を伴わないにもかかわらずSPECTで虚血が証明された冠動脈拡張の1例

石原隆行
第110回日本循環器学会近畿地方会 2010.11.27 京都市

- 慢性大動脈閉塞に対する血管内治療の初期及び遠隔期成績

土肥智晴
第110回日本循環器学会近畿地方会 2010.11.27 京都市

- 頻脈性心房細動による心不全で薬剤による治療に難渋した1例

三嶋 剛
第110回日本循環器学会近畿地方会 2010.11.27 京都市

- 腎動脈狭窄症を合併した腹部大動脈閉塞例に対し血管内治療を施行した1症例

南都清範
第110回日本循環器学会近畿地方会 2010.11.27 京都市

- 経皮的肺動脈弁形成術を施行した、成人の先天性肺動脈弁狭窄症の1例

水上雪香
第110回日本循環器学会近畿地方会 2010.11.27 京都市

講演会やテレビ出演

- PCIライブ 内視鏡術者

Awata M
21st Great Wall International Congress of Cardiology 2010.10.14-17
Beijing, China

- 内視鏡より明らかとなった第1世代DESの問題点とXience VIに期待すること

栗田政樹
X-Pert Forum2010 2010.3.22 神戸市

- 左主幹部にEndeavorステントを留置し、4カ月後に血管内視鏡観察を施行しえた1例

世良英子
第6回冠動脈カタストロフィー研究会 2010.3.27 大阪市

- DES留置後のLSTおよびBMS留置後のVLSTを血管内視鏡で観察しえた2例

栗田政樹
第21回六甲コロナリーフォーラム 2010.4.3 神戸市

- 内視鏡でみた各種DES留置後の新生内膜被覆性状

栗田政樹
兵庫ライブ ミニレクチャー 2010.4.10 神戸市

- ビデオライブ術者

栗田政樹
兵庫ライブ 2010.4.10 神戸市

- Peripheral Interventionの現状とコントロールシー

飯田 修
近畿心臓血管治療ジョイントライブ(KCJL)2010 2010.4.15-17 神戸市

- What should we know about Global EVT?

飯田 修
近畿心臓血管治療ジョイントライブ(KCJL)2010 2010.4.15-17 神戸市

- 「イメージングデバイスをもっと活用する」FFR guided PCI

栗田政樹
近畿心臓血管治療ジョイントライブ(KCJL)2010 2010.4.15-17 神戸市

● 冠動脈内視鏡による各種DESの評価

栗田政樹
近畿心血管治療ジョイントライブ(KCJL)2010 Cardiac Imaging & Physiology
Symposium 2010.4.15-17 神戸市

● PCIライブ術者

栗田政樹
兵庫YES Club ライブデモンストレーション2010.7.3 加古川

● 冠動脈診療におけるOCTの役割-Lotus root appearanceの観察-

石原隆行、石田良雄、栗田政樹、世良英子、渡部徹也、藤田雅史、
飯田 修、岡本 慎、田中宣暁、土肥智晴、三嶋 剛、南都清範、
水上雪香、南都伸介、上松正朗、永田正毅
2010年第9回心臓核医学ミッドサマーセミナー 2010.7.17 大阪市

● 2次予防患者におけるEPA／アラキドン酸比值

栗田政樹
HANSHIN EPA Clinical Seminar 2010.7.31 西宮市

● ゾタロリムス溶出性ステント留置後早期の血管治癒性状: 血管内視鏡による観察

石原隆行、栗田政樹、世良英子、渡部徹也、藤田雅史、飯田 修、
岡本 慎、田中宣暁、土肥智晴、三嶋 剛、南都清範、水上雪香、
石田良雄、南都伸介、上松正朗、永田正毅
大阪大学循環器部会 2010.8.28 大阪市

● 高齢者高血圧の血圧管理について

藤田雅史
第3回高血圧・心血管セミナー 第一部Debate 2010.9.25 西宮市

● BMS・DES留置後の評価

栗田政樹
第8回心臓内視鏡講習会 2010年心臓血管内視鏡学会 講師
2010.10.2 東京都

● ゾタロリムス溶出性ステント留置4カ月後の血管内視鏡による新生内膜被覆の検討

石原隆行、栗田政樹、世良英子、渡部徹也、藤田雅史、飯田 修、
岡本 慎、田中宣暁、土肥智晴、三嶋 剛、南都清範、水上雪香、
石田良雄、南都伸介、上松正朗、永田正毅
2010年カタストロフィー研究会 2010.10.16 大阪市

● 高度先進医療下に施行したエキシマレーザーカテーテル治療が有効であった2症例

石原隆行、栗田政樹、世良英子、渡部徹也、藤田雅史、飯田 修、
岡本 慎、田中宣暁、土肥智晴、三嶋 剛、南都清範、水上雪香、
石田良雄、南都伸介、上松正朗、永田正毅
武庫川循環器集会 2010.10.30 尼崎市

● 血管内視鏡からみたEndeavorステントの安全性と自施設成績

栗田政樹
Endeavor Forum2010 2010.11.23 東京都

● ビデオライブ術者

石原隆行、栗田政樹
2010年兵庫ライブ教育セッション 2010.11.6 神戸市

● 内視鏡から診たDES

栗田政樹
KIC Live Demonstration2010 レクチャー2010.11.26 三田市

● オペレーター(I .Complex Case, IV.CTO Case/Complex Case, V.CTO Case/Complex Case)

栗田政樹
KIC Live Demonstration2010 2010.11.26 三田市

● 内視鏡所見より考える第一世代DESの安全性とXIENCE Vへの期待

栗田政樹
17th Kamakura Live Demonstration 2010.12.4 横浜市

● 一若手医師の一市中病院からの挑戦

飯田 修
meet the expert 2010.12.11 尼崎市

心療内科・精神科

講演会やテレビ出演

- アルツハイマー型認知症患者の進行によるバウムテスト変容の検討

黒瀬直子
第51回日本心身医学会 2010.6.26 仙台市

- 精神障害の労災認定と職場のメンタルヘルス

梅田幹人
大阪社会保険労務士会研修会 2010.1.22 大阪市

- 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
アーバンサービス(株) メンタルヘルス講演会 2010.2.12 芦屋市

- 職場におけるメンタルヘルスクーア産業看護職等スタッフによる活動報告

辻本 浩
京都産業保健推進センター 産業看護職研修会 2010 2.19 京都市

- 精神医学を学ぶストレス

辻本 浩
日本産業カウンセラー協会関西支部 会員研修 2010 2.27 大阪市

- コミュニケーション

辻本 浩
近畿中央病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 2010 2.28 伊丹市

- 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
関西労災病院 予防医療センター講習会 2010.3.5 尼崎市

- 精神医学

梅田幹人
日本産業カウンセラー協会関西支部 会員研修 2010 3.6 大阪市

- うつ状態の診療

梅田幹人
ファイザー(株) 講演会 2010.3.11 尼崎市

- 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
兵庫県医師会 産業医講習会 2010.3.14 神戸市

- 気持ちのつらさ せん妄 コミュニケーション

辻本 浩
関西労災病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 2010 3.14 尼崎市

- 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
菊正宗(株) メンタルヘルス講演会 2010.3.15 神戸市

- 気持ちのつらさ せん妄

辻本 浩
大阪赤十字病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 2010 4.18 大阪市

- 臨床現場での抗うつ薬の選択-副作用に注目した考え方から-

辻本 浩
明治製菓株式会社 社内研修会 2010 5.17 神戸市

- 気持ちのつらさ せん妄 コミュニケーション

辻本 浩
市立伊丹病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 2010 6.27 伊丹市

- 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
ゼリヤ薬品(株) メンタルヘルス講演会 2010.8.4 神戸市

- コミュニケーション

辻本 浩
大阪労災病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 2010 8.22 堺市

- コミュニケーション

辻本 浩
市立西脇病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 2010 8.29 西脇市

- 抗精神病薬の変更などの事例検討

辻本 浩
大塚製薬株式会社 社内研修会 2010 8.30 神戸市

- メンタルヘルスの進め方と職場復帰

辻本 浩
京都滋賀産業保健推進センター 産業医研修会 2010 9.3 京都市

- 精神障害の労災認定

梅田幹人
大阪社会保険労務士会 研修会 2010.9.9 大阪市

- 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
関西熱化学(株) メンタルヘルス講演会 2010.9.17 尼崎市

- 気持ちのつらさ せん妄 コミュニケーション

辻本 浩
宝塚市立病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会 2010 9.18 宝塚市

- 働く世代の心の健康づくり

梅田幹人
神戸市役所 メンタルヘルス講演会 2010.10.4 神戸市

- うつ状態の診療

梅田幹人
ファイザー(株) 芦屋市地域医療講演会 2010.10.6 芦屋市

● コミュニケーション

辻本 浩
兵庫県立がんセンター がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会
2010.10.10 明石市

● コミュニケーション

辻本 浩
兵庫医科大学病院 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会
2010.10.24 西宮市

● 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
日本スピンドル(株) メンタルヘルス講演会 2010.11.8 尼崎市

● 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
日本スピンドル(株) メンタルヘルス講演会 2010.11.15 尼崎市

● 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
兵庫県産業保健推進センター 講習会 2010.11.19 神戸市

● 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
兵庫県警察 メンタルヘルス講演会 2010.11.25 神戸市

● 職場のメンタルヘルス

梅田幹人
三井製糖(株) メンタルヘルス講演会 2010.11.26 神戸市

● メンタルヘルスにおける管理職務者の役割と過重労働対策

辻本 浩
中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター 2010.12.16 大阪市

主催研究会

梅田幹人
阪神認知症談話会 2010.1.28 尼崎市

辻本 浩
第23回 阪神緩和医療研究会 2010.2.4 西宮市

辻本 浩
第24回 阪神緩和医療研究会 2010.9.16 西宮市

小 児 科

講演会やテレビ出演

● 現代のワクチン

指原淳志
第40回大阪大学阪神地区小児科勉強会 2010.3.11 尼崎市

● 最近話題のワクチン

指原淳志
市民のための健康講座「こどもの病気のケアと予防」 2010.7 尼崎市

主催研究会

泉 裕
第40回大阪大学阪神地区小児科勉強会 2010.3.11 尼崎市

● **Gene expression profile prospectively predicts peritoneal relapse after curative surgery of gastric cancer**

Takeno A, Takemasa I, Seno S, Yamasaki M, Motoori M, Miyata H, Nakajima K, Takiguchi S, Fujiwara Y, Nishida T, Okayama T, Matsubara K, Takenaka Y, Matsuda H, Monden M, Mori M, Doki Y
Annals of Surgical Oncology 17:1033–1042,2010

● **Randomized trial of cyclophosphamide, epirubicin, and fluorouracil chemotherapy compared with cyclophosphamide, methotrexate, and fluorouracil with node-positive breast cancer in Japan**

Kimura M, Tominaga T, Takatsuka Y, Toi M, Abe R, Koyama H, Takashima S, Nomura Y, Miura S, Kimijima I, Tashiro H, Ohashi Y
Breast Cancer 17:190–198,2010

● **Phase III randomized adjuvant study of tamoxifen alone versus sequential tamoxifen and anastrozole in Japanese postmenopausal women with hormone-responsive breast cancer: N-SAS BC3 study**

Aihara T, Takatsuka Y, Ohsumi S, Aogi K, Hozumi Y, Imoto S, Mukai H, Iwata H, Watanabe T, Shimizu C, Nakagami K, Tamura M, Ito T, Masuda N, Ogino N, Hisamatsu K, Mitsuyama S, Abe H, Tanaka S, Yamaguchi T, Ohashi Y
Breast Cancer Res Treat 121:379–387,2010

● **Insulin-like growth factor-binding protein 7 alters the sensitivity to interferon-based anticancer therapy in hepatocellular carcinoma cells**

Tomimaru Y, Eguchi H, Wada H, Noda T, Murakami M, Kobayashi S, Marubashi S, Takeda Y, Tanemura M, Umeshita K, Doki Y, Mori M, Nagano H
Br J Cancer 102(10):1483–1490,2010

● **MicroRNA-21 induces resistance to the anti-tumor effect of interferon- α /5-fluorouracil in hepatocellular carcinoma cells**

Tomimaru Y, Eguchi H, Nagano H, Wada H, Tomokuni A, Kobayashi S, Marubashi S, Takeda Y, Tanemura M, Umeshita K, Doki Y, Mori M
Br J Cancer 103(10):1617–1626,2010

● **Increased immunogenicity of tumor-associated antigen, mucin 1, engineered to express alpha-gal epitopes: a novel approach to immunotherapy in pancreatic cancer**

Deguchi T, Tanemura M, Miyoshi E, Nagano H, Machida T, Ohmura Y, Kobayashi S, Marubashi S, Eguchi H, Takeda Y, Ito T, Mori M, Doki Y, Sawa Y
Cancer Res 70(13):5259–5269,2010

● **A case of esophageal cancer with chronic renal failure undergoing hemodialysis treatment showing long-term complete response with docetaxel chemotherapy and salvage endoscopic treatment**

Tamura S, Takiuchi D, Okada K, Takeno A, Miki H, Uji K, Yoshida A, Okamura S, Sugimoto K, Takatsuka Y
Esophagus 7:151–156,2010

● **Effects of pre-operative transcatheter arterial chemoembolization for respectable hepatocellular carcinoma : implication of circulating cancer cells by detection of α -fetoprotein mRNA**

Murakami M, Nagano H, Kobayashi S, Wada H, Nakamura M, Marubashi S, Eguchi H, Takeda Y, Tanemura M, Umeshita K, Doki Y, Mori M
Experimental and Therapeutic Medicine 1:485–491,2010

● **Pilot study of a combination of S-1 and paclitaxel for patients with peritoneal metastasis from gastric cancer**

Tamura S, Miki H, Okada K, Takeno A, Uji K, Yoshida A, Suzuki R, Nakahira S, Egawa C, Nakata K, Okamura S, Sugimoto K, Takatsuka Y
Gastric Cancer 13:101–108,2010

● **Quality of guideline development assessed by the evaluation committee of the Japan society of clinical oncology**

Shimbo T, Fukui T, Ishioka C, Okamoto K, Okamoto T, Kameoka S, Sato A, Toi M, Matsui K, Mayumi T, Saji S, Miyazaki M, Takatsuka Y, Hirata K
Int J Clin Oncol 15:227–233,2010

● **Effects of toremifene and tamoxifen on lipid profiles in postmenopausal patients with early breast cancer: interim results from a Japanese phase III trial**

Tominaga T, Kimijima I, Kimura M, Takatsuka Y, Takashima S, Nomura Y, Kasumi F, Yamaguchi A, Masuda N, Noguchi S, Eshima N
Jpn J Clin Oncol 40(7):627–633,2010

● **Significant effect of polymorphisms in CYP2D6 and ABCC2 on clinical outcomes of adjuvant tamoxifen therapy for breast cancer patients**

Kiyotani K, Mushiroda T, Imamura C K, Hosono N, Tsunoda T, Kubo M, Tanigawa Y, Flockhart DA, Desta Z, Skaar TC, Aki F, Hirata K, Takatsuka Y, Okazaki M, Ohsumi S, Yamakawa T, Sasa M, Nakamura Y, Zembutsu H
J Clin Oncol 28(8):1287–1293,2010

● **Evaluation of a new immunoassay for therapeutic drug monitoring of tacrolimus in adult liver transplant recipients**

Marubashi S, Nagano H, Kobayashi S, Eguchi H, Takeda Y, Tanemura M, Umeshita K, Monden M, Doki Y, Mori M
J Clin Pharmacol 101:705–709,2010

● **Impact of postoperative irradiation after non-curative resection of hilar biliary cancer**

Kobayashi S, Nagano H, Marubashi S, Takeda Y, Tanemura M, Konishi K, Yoshioka Y, Inoue T, Doki Y, Mori M
J Surg Oncol 100:657–662,2010

● **Multidetector computed tomography for preoperative prediction of postsurgical prognosis of patients with extrahepatic biliary cancer**

Kobayashi S, Nagano H, Marubashi S, Wada H, Eguchi H, Takeda Y, Tanemura M, Kim T, Doki Y, Mori M
J Surg Oncol 101:376–383,2010

● **Single incision laparoscopic(SILS) hepatectomy for hepatocellular carcinoma: Initial experience in a Japanese patient.**

Kobayashi S, Nagano H, Marubashi S, Wada H, Eguchi H, Takeda Y, Tanemura M, Sekimoto M, Doki Y, Mori M
Minim Invasive Ther Allied Technol 19(6):367–371,2010

- **Phase II trial in Japan of sequential administration of weekly paclitaxel followed by FEC as neoadjuvant chemotherapy for locally advanced breast cancer [KBCSG0206 Trial: Kinki Breast Cancer Study Group (KBCSG)]**

Taguchi T, Matsuda N, Nakayama T, Motomura K, Tsukamoto F, Simazu K, Nomura T, Morimoto T, Yamamoto H, Wakita K, Nakano Y, Yoneda K, Inaji H, Takatsuka Y, Noguchi S
Oncology 78:302-308,2010

- **Utility of 2-[18F] fluoro-2-deoxy-D-glucose positron emission tomography in differential diagnosis of benign and malignant intraductal papillary-mucinous neoplasm of the pancreas.**

Tomimaru Y, Takeda Y, Tatsumi M, Kim T, Kobayashi S, Marubashi S, Eguchi H, Tanemura M, Kitagawa T, Nagano H, Umeshita K, Wakasa K, Doki Y, Mori M
Oncol Rep 24(3):613-620,2010

- **Targeted disruption of ing2 results in defective spermatogenesis and development of soft-tissue sarcomas**

Saito M, Kumamoto K, Robles AI, Horikawa I, Furusato B, Okamura S, Goto A, Yamashita T, Nagashima M, Lee TL, Baxendale VJ, Rennert OM, Takenoshita S, Yokota J, Sesterhenn IA, Trivers GE, Hussain SP, Harris CC
PLoS One 5(11):e15541,2010

- **Acute methemoglobinemia associated with ochronotic valvular heart disease: report of a case.**

Uchiyama C, Kondoh H, Shintani H
Thoracic Cardiovascular Surgeon 58(2):115-117,2010

- **Combined Transplantation of Pancreatic Islets and Adipose Tissue-Derived Stem Cells Enhances the Survival and Insulin Function of Islet Grafts in Diabetic Mice**

Omura Y, Tanemura M, Kawaguchi N, Machida T, Tanida T, Deguchi T, Wada H, Kobayashi S, Marubashi S, Eguchi H, Takeda Y, Matsuura N, Ito T, Nagano H, Doki Y, Mori M
Transplantation 90(12):1366-1373,2010

- **Fresh frozen plasma transfusion does not affect outcomes following hepatic resection for hepatocellular carcinoma**

Tomimaru Y, Wada H, Marubashi S, Kobayashi S, Eguchi H, Takeda Y, Tanemura M, Noda T, Umeshita K, Doki Y, Mori M, Nagano H
World J Gastroenterol 16(44):5603-5610,2010

- **高齢女性に発生した肝細胞腺種の1切除例**

村上昌裕、小林省吾、永野浩昭、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、金 東石、若狭研一、土岐祐一郎、森 正樹
肝臓 51(1):35-39,2010

- **生体ドナーに必要な術前画像診断**

永野浩昭、丸橋 繁、小林省吾、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
肝胆胰画像 12(1):25-31,2010

- **腹膜転移を伴う胃癌に対するバイパス術の効果**

田村茂行、竹野 淳、三木宏文、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、柄川千代美、中田 健、岡村 修、杉本圭司、高塚雄一
癌と化学療法 37(12):2279-2281,2010

- **DCF療法とサルベージ手術によって長期生存している高度リンパ節転移を伴う進行食道癌の1例**

竹野 淳、田村茂行、三木宏文、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、武田 裕
癌と化学療法 37(12):2382-2384,2010

- **側方リンパ節への跳躍転移を郭清した後に長期生存を得られた直腸S状部癌の1例**

鈴木 玲、中田 健、岡村 修、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、宇治公美子、吉田敦子、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、杉本圭司、田村茂行
癌と化学療法 37(12):2598-2600,2010

- **骨転移を有する高度進行肝細胞癌に対し集学的治療により長期生存の得られている1例**

山田大作、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
癌と化学療法 37(12):2670-2672,2010

- **肝動脈・門脈合併切除再建により根治切除し得た肛門部胆管癌の1例**

桂 宜輝、小林省吾、和田浩志、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、若狭研一、土岐祐一郎、森 正樹
癌と化学療法 37(12):2720-2722,2010

- **肝内胆管癌に対し肝切除およびS-1併用CDDP動注化学療法により長期生存が得られた1例**

谷田 司、種村匡弘、小林省吾、和田浩志、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、梅下浩司、森 正樹、土岐祐一郎、永野浩昭
癌と化学療法 37(12):2729-2731,2010

- **腹膜転移陽性進行胃癌に対する治療法の選択**

田村茂行、三木宏文、竹野 淳、宇治公美子、吉田敦子、金村剛志、吉岡康多、小林政義、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、杉本圭司
癌の臨床 55(10):743-751,2010

- **乳癌と鑑別困難であったRadial Scarの1例**

内山千恵子、中場寛行、大口善郎、有馬良一
共済医報 59(3):230-235,2010

- **幽門側胃切除術におけるドレーンの必要性と抜去の時期**

田村茂行、三木宏文、竹野 淳、宇治公美子、吉田敦子、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、杉本圭司
外科治療 102(1):72-74,2010

- **レクチンマイクロアレイと創薬について教えてください**

種村匡弘、永野浩昭、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、土岐祐一郎、森 正樹
Surgery Frontier 17(2):83-87,2010

- **超低侵襲な用手吊り上げ式腹腔鏡下ストーマ造設術の経験**

中田 健、鈴木 玲、渡邊光子、大城蘭子、進藤淳美、岡村 修
STOMA 17(1):23-25,2010

- **脾・胆管合流異常症を伴ったLemmel症候群の1例**

宮垣博道、小林省吾、永野浩昭、武田 裕、森 正樹、土岐祐一郎
日臨外会誌 71(1):180-186,2010

● 下部胆管癌のPTBD穿刺ルート再発をgemcitabine療法施行後に切除した1例

村上昌裕、小林省吾、永野浩昭、武田 裕、土岐祐一郎、森 正樹
日臨外会誌 71(3):807-812,2010

● 乳癌術後療法としてのTC療法の安全性の検討

宇治公美子、柄川千代美、柳井垂矢子、吉田敦子、高塚雄一
乳癌の臨床 25(4):457-463,2010

学会報告

● Phase II feasibility study of adjuvant S-1 plus docetaxel for stage III gastric cancer patients after curative D2 gastrectomy (OGSG0604)

Kimura Y, Tamura S, Fujitani K, Tsuji T, Matsuyama J, Iijima S, Inoue K, Kobayashi K, Kurokawa Y, Furukawa H
2010 American Society of Clinical Oncology (ASCO) Gastrointestinal Cancer Symposium 2010.1.22-24 Orlando,FL

● MUC1,remodeled to express α -gal epitopes immune-based therapy,can elicit both significant prolonged survival and effective antibody production against multiful tumor-associated antigens

Tanemura M, Takahashi H, Deguchi T, Miyoshi E, Nagano H, Kobayashi S, Marubashi S, Eguchi H, Takeda Y, Ito T, Mori M, Doki Y
101st American Association for Cancer Research 2010.4.17-21 WashingtonDC,USA

● Improvement of donor hepatectomy for living donor liver transplantation : 10 year single center experience of 124 cases

Marubashi S, Nagano H, Wada H, Kobayashi S, Eguchi H, Takeda Y, Tanemura M, Umeshita K, Doki Y, Mori M
American Transplant Congress 2010.5.1-4 San Diego,CA

● CD13 is a novel dormant cancer stem cell marker of liver and has a potency as a novel therapeutic target

Takiuchi D, Ishii H, Haraguchi N, Hatano H, Takahashi H, Hoshino H, Miyoshi N, Dyah LD, Wada H, Kobayashi S, Marubashi S, Eguchi H, Takeda Y, Tanemura M, Nagano H, Doki Y, Mori M
8th Stem Cell Research Symposium Program 2010.5.13-15 Awaji,Japan

● Usefulness of gasless laparoscope-assisted stoma creation

Suzuki R, Nakata K, Okamura S, Oshiro M, Shindo A, Watanabe M, Takeno A, Nakahira S, Miki H, Sugimoto K, Tamura S
18th International Congress of the European Association for Endoscopic Surgery 2010.6.16-19 Geneva,Switzerland

● Identification of a risk factor for pancreatic fistula after distal pancreatectomy using a stapler: The thickness of pancreatic stump is an important determinant

Eguchi H, Nagano H, Tanemura M, Takeda Y, Marubashi S, Kobayashi S, Wada H, Mori M, Doki Y
IAP&JPS2010(第14回国際膵臓学会) 2010.7.11-13 Fukuoka,Japan

● Hybrid islet transplantation with marginal islet mass and adipose tissue-derived stem cells can elicit long-term islet graft survival and support normoglycemia in diabetic mice

Omura Y, Tanemura M, Machida T, Deguchi T, Wada H, Kobayashi S, Marubashi S, Eguchi H, Takeda Y, Kawaguchi N, Matsuura N, Ito T, Nagano H, Doki Y, Mori M
XXIII international congress of the transplantation society 2010.8.15-19 Vancouver,Canada

● Evaluation of clinical safety of conversion of stable pancreas transplant recipients with severe diabetic gastroparesis from a twice-daily prograf-based regimen to a once-daily modified release tacrolimus-based regimen

Tanemura M, Ohmura Y, Machida T, Ueda E, Ishizaki N, Fukuda F, Kubo H, Iyama S, Wada H, Kobayashi S, Marubashi S, Eguchi H, Takeda Y, Takahara S, Ito T, Mori M, Doki Y, Nagano H
XXIII international congress of the transplantation society 2010.8.15-19 Vancouver,Canada

● In vitro and in vivo over-induction of autophagy in pancreatic islets by rapamycin and impairs islet function

Tanemura M, Ohmura Y, Machida T, Deguchi T, Wada H, Kobayashi S, Marubashi S, Eguchi H, Takeda Y, Ito T, Mori M, Doki Y, Nagano H
XXIII international congress of the transplantation society 2010.8.15-19 Vancouver,Canada

● Significant improvement of islet yield and viability in islet isolation with Modified ET-Kyoto solution

Machida T, Tanemura M, Ohmura Y, Deguchi T, Wada H, Kobayashi S, Marubashi S, Eguchi H, Takeda Y, Ito T, Mori M, Doki Y, Nagano H
XXIII international congress of the transplantation society 2010.8.15-19 Vancouver,Canada

● Evaluation of immune monitoring with Cylex Immuknow assay in liver transplantation

Marubashi S, Wada H, Kobayashi S, Eguchi H, Takeda Y, Tanemura M, Umeshita K, Doki Y, Mori M, Nagano H
XXIII international congress of the transplantation society 2010.8.15-19 Vancouver,Canada

● IGFBP 7 alters the sensitivity to IFN-based combination therapy in hepatocellular carcinoma cells

Tomimaru Y, Eguchi H, Wada H, Noda T, Murakami M, Tomokuni A, Kobayashi S, Marubashi S, Takeda Y, Tanemura M, Umeshita K, Doki Y, Mori M, Nagano H
9th International conference of the asian clinical oncology society 2010.8.25-27 Gifu,Japan

● 肝癌細胞株に対するIFN併用化学療法への分子標的治療薬併用による効果増強に関する検討

村上昌裕、永野浩昭、小林省吾、富丸慶人、友國 晃、和田浩志、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第1回日本肝がん分子標的治療研究会 2010.1.16 神戸市

● 医療スタッフと患者会の良好な関わりについて

高塚雄一
関西臨床腫瘍研究会 2010.1.23大阪市

● 術前化学放射線療法が著効した下部直腸癌の1例

中田 健、鈴木 玲、岡村 修
第20回阪神腸疾患研究会 2010.1.29 尼崎市

● 消化器外科手術前経口補水の現状と脱水予防効果についての検討

竹野 淳、田村茂行、三木宏文、金村剛志、柳井垂矢子、小林政義、吉岡康多、宇治公美子、吉田敦子、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、杉本圭司、柳千恵子、大城蘭子、大畑真理子
第25回日本静脈経腸栄養学会総会 2010.2.25-26 千葉市

● DPCデータを活用した胃癌パス運用

田村茂行、三木宏文、竹野 淳、金村剛志、小林政義、吉岡康多、
吉田敦子、宇治公美子、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、
杉本圭司
第82回日本胃癌学会総会 2010.3.3-5 新潟市

● 80才以上高齢者に対する治療戦略－胃全摘症例に対する経腸栄養カテーテルの挿入と栄養管理の導入効果－

竹野 淳、三木宏文、田村茂行、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、
吉岡康多、宇治公美子、吉田敦子、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、
岡村 修、杉本圭司
第82回日本胃癌学会総会 2010.3.3-5 新潟市

● 上部早期胃癌における噴門側胃切除術の功罪

益澤 徹、平尾素宏、瀧口修司、藤原義之、宮代 勲、戎井 力、
田村茂行、藤田淳也、土岐祐一郎
第82回日本胃癌学会総会 2010.3.3-5 新潟市

● 糖尿病性胃腸障害に対する脳死下臍(腎)臓移植の意義

大村仁昭、種村匡弘、植田江梨子、町田智彦、和田浩志、小林省吾、
丸橋 繁、江口英利、武田 裕、北川 透、黒田暁生、松久宗英、
植田江梨子、伊藤壽紀、森 正樹、土岐祐一郎、永野浩昭
第37回日本脾・膵島移植研究会 2010.3.12-13 栃木県

● 脾臓移植後Ganciclovir(GCV)耐性CMV感染症の治療経験

町田智彦、種村匡弘、永野浩昭、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、
江口英利、武田 裕、黒田暁生、松久宗英、矢澤浩治、高原史郎、
植田江梨子、伊藤壽紀、森 正樹、土岐祐一郎
第37回日本脾・膵島移植研究会 2010.3.12-13 栃木県

● 劇症肝炎ワーキングの取り組みと肝移植の成績

小林省吾、永野浩昭、和田浩志、江口英利、武田 裕、種村匡弘、
中川雄公、大須賀章倫、平松直樹、薬師神崇、別所一彦、上野豪久、
小川 馨、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第46回日本腹部救急医学会総会 2010.3.18-19 富山市

● 当院の腹腔鏡補助下幽門側胃切除(LADG)

竹野 淳、瀧口修司、三木宏文、田村茂行、金村剛志、柳井亜矢子、
小林政義、吉岡康多、宇治公美子、吉田敦子、鈴木 玲、中平 伸、
中田 健、岡村 修、杉本圭司
第10回兵庫腹腔鏡外科勉強会 2010.3.27 神戸市

● 胃癌の腹膜転移症例に対する化学療法のタイミングと胃切除術の意義について

田村茂行、三木宏文、竹野 淳、宇治公美子、吉田敦子、吉岡康多、
小林政義、柳井亜矢子、金村剛志、中平 伸、鈴木 玲、柄川千代美、
中田 健、岡村 修、杉本圭司、高塚雄一
第110回日本外科学会定期学術集会 2010.4.8-10 名古屋市

● 腹腔鏡補助下臍体尾部切除

武田 裕、永野浩昭、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、
種村匡弘、北川 透、梅下浩司、伊藤壽紀、森 正樹、土岐祐一郎
第110回日本外科学会定期学術集会 2010.4.8-10 名古屋市

● 臍内分泌腫瘍に対する選択的動脈内カルシウム負荷試験(ASVS)の臨床的意義

江口英利、永野浩昭、種村匡弘、武田 裕、丸橋 繁、小林省吾、
和田浩志、北川 透、伊藤壽紀、梅下浩司、森 正樹、土岐祐一郎
第110回日本外科学会定期学術集会 2010.4.8-10 名古屋市

● 腹腔鏡下肝切除を安全に施行しうる手技の選択と胆汁漏予防の試み

小林省吾、永野浩昭、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、
和田浩志、北川 透、梅下浩司、伊藤壽紀、土岐祐一郎、森 正樹
第110回日本外科学会定期学術集会 2010.4.8-10 名古屋市

● 悪性腫瘍を併発したIPMN症例の検討

瀧内大輔、武田 裕、永野浩昭、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、
江口英利、種村匡弘、北川 透、梅下浩司、伊藤壽紀、土岐祐一郎、
森 正樹
第110回日本外科学会定期学術集会 2010.4.8-10 名古屋市

● 次世代型抗体医薬(ポテリジェント抗体)の創薬を目的とした糖鎖改変肝癌ワクチン療法の研究開発

種村匡弘、永野浩昭、出口貴司、三善英知、大村仁昭、小林省吾、
丸橋 繁、江口英利、武田 裕、伊藤壽紀、森 正樹、土岐祐一郎
第110回日本外科学会定期学術集会 2010.4.8-10 名古屋市

● 肝癌細胞株におけるIFN/5-FU併用化学療法の耐性関連遺伝子の検討

富丸慶人、江口英利、永野浩昭、和田浩志、野田剛広、村上昌裕、
小林省吾、丸橋 繁、武田 裕、種村匡弘、竹政伊知朗、梅下浩司、
土岐祐一郎、森 正樹
第110回日本外科学会定期学術集会 2010.4.8-10 名古屋市

● 肝細胞癌に対する治療方針の変遷と外科切除成績の検討

丸橋 繁、永野浩昭、小林省吾、江口英利、武田 裕、種村匡弘、
梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第110回日本外科学会定期学術集会 2010.4.8-10 名古屋市

● 出血部位の確定診断に難渋し緊急手術を行った下部消化管出血の1例

吉岡康多、鈴木 玲、中田 健、岡村 修、小野寿子、内山千恵子、
金村剛志、柳井亜矢子、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、武田 裕、
田村茂行
専門医を目指す研修医のための消化器外科セミナー 2010.5.14 大阪市

● 肝癌における癌幹細胞の分離・同定と標的治療の可能性

畠野尚典、原口直紹、石井秀始、瀧内大輔、和田浩志、小林省吾、
丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、永野浩昭、土岐祐一郎、
森 正樹
第31回癌免疫外科研究会 2010.5.20-21 大阪市

● 膵管空腸粘膜吻合法の工夫と成績

武田 裕、永野浩昭、江口英利、瀧内大輔、秋田裕史、和田浩志、
小林省吾、丸橋 繁、種村匡弘、北川 透、梅下浩司、森 正樹、
土岐祐一郎
第22回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 当院における腹腔鏡下胆嚢炎手術

中平 伸、杉本圭司、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、
吉田敦子、宇治公美子、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、
岡村 修、田村茂行
第22回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 腹腔鏡下尾側膵切除術の実際と膵液漏の頻度の検討

江口英利、永野浩昭、種村匡弘、武田 裕、丸橋 繁、小林省吾、
和田浩志、北川 透、梅下浩司、森 正樹、土岐祐一郎
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 過去10年間のSolid Pseudopapillary Tumor(SPT)の報告

大村仁昭、種村匡弘、永野浩昭、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、
江口英利、武田 裕、北川 透、森 正樹、土岐祐一郎
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 門脈内腫瘍栓およびリンパ節再発に対して集学的治療により長期生存を得た進行肝細胞癌の1切除例

桂 宜輝、和田浩志、永野浩昭、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、
武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、森 正樹、土岐祐一郎
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● いわゆるBorderline-Curative Resection症例に対する胆道癌の治療法の検討

小林省吾、永野浩昭、和田浩志、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、
種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 脾空腸吻合における脾管ステントチューブ留置の利点

瀧内大輔、武田 裕、永野浩昭、秋田裕史、和田浩志、小林省吾、
丸橋 繁、江口英利、種村匡弘、北川 透、梅下浩司、森 正樹、
土岐祐一郎
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● インターフェロン併用動注化学療法及び集学的治療が奏功した巨大肝癌の1切除例

谷田 司、小林省吾、永野浩昭、和田浩志、江口英利、丸橋 繁、
武田 裕、種村匡弘、北川 透、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● Marjinal donor からの脾臓移植手術における工夫-GDA血行再建およびRoux-en Y再建による脾液ドレナージ-

種村匡弘、永野浩昭、大村仁昭、町田智彦、出口貴司、和田浩志、
小林省吾、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、伊藤壽紀、森 正樹、
土岐祐一郎
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 肝細胞癌リンパ節転移に対する外科的治療成績

富丸慶人、江口英利、永野浩昭、友國 晃、村上昌裕、和田浩志、
小林省吾、丸橋 繁、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、
森 正樹
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 胆道癌に対するPTPE併施肝切除の意義

友國 晃、江口英利、永野浩昭、種村匡弘、武田 裕、丸橋 繁、
小林省吾、森 正樹、土岐祐一郎
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 成人生体肝移植における自己門脈および中肝静脈をもちいた肝静脈再建に関する工夫

永野浩昭、丸橋 繁、小林省吾、江口英利、武田 裕、種村匡弘、
和田浩志、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 生体部分肝移植後のグラフト肝再生に関する検討

畠野尚典、丸橋 繁、永野浩昭、金 致完、和田浩志、小林省吾、
江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 選択的動脈内カルシウム負荷試験が術前診断に有効であった膵グルカゴノーマの1例

星野宏光、江口英利、永野浩昭、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、
武田 裕、種村匡弘、北川 透、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 1型糖尿病に対する脳死下臓(腎)臓移植の長期成績の検討

町田智彦、種村匡弘、永野浩昭、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、
江口英利、武田 裕、植田江梨子、黒田暁生、松久宗英、伊藤壽紀、
森 正樹、土岐祐一郎
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 生体部分肝移植における胆道再建の工夫

丸橋 繁、永野浩昭、和田浩志、小林省吾、江口英利、武田 裕、
種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 肝原発巨大悪性リンパ腫の1切除例

山田大作、種村匡弘、永野浩昭、丸橋 繁、小林省吾、和田浩志、
江口英利、武田 裕、土岐祐一郎、森 正樹
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 腹腔鏡(補助)下肝切除における術式選択とその手術手技

和田浩志、永野浩昭、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、
種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第22回日本肝胆膵外科学会学術集会 2010.5.26-28 仙台市

● 難治性のストマ脱出に対し、腹腔鏡補助下に脱出腸管切除を行なった1例

中田 健、鈴木 玲、渡邊光子、大城蘭子、進藤淳美、岡村 修
第52回関西STOMA研究会 2010.6.5 和歌山市

● 腹膜播種を伴う胃癌症例に対するパイパス術の効果

田村茂行、竹野 淳、三木宏文、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、
吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、柄川千代美、中田 健、岡村 修、
杉本圭司、高塚雄一
第31回日本癌局所療法研究会 2010.6.10 奈良市

● 側方リンパ節への跳躍転移を郭清した後に長期生存を得られた直腸S状部癌の1例

鈴木 玲、中田 健、岡村 修、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、
吉岡康多、宇治公美子、吉田敦子、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、
杉本圭司、田村茂行
第32回日本癌局所療法研究会 2010.6.10 奈良市

● DCF療法とサルベージ手術によって長期生存している高度リンパ節転移を伴う進行食道癌の1例

竹野 淳、田村茂行、三木宏文、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、
柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、
岡村 修、武田 裕
第32回日本癌局所療法研究会 2010.6.11 奈良市

● 肝動脈・門脈合併切除再建により根治切除し得た肝門部胆管癌の1例

桂 宜輝、小林省吾、和田浩志、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、
種村匡弘、梅下浩司、若狭研一、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
第32回日本癌局所療法研究会 2010.6.11 奈良市

● 肝内胆管癌に対し肝切除及びS-1併用CDDP動注化学療法により長期生存が得られた1例

谷田 司、種村匡弘、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
第32回日本癌学会療法研究会 2010.6.11 奈良市

● 骨転移を有する高度進行肝細胞癌に対し、集学的治療により長期生存の得られている1例

山田大作、和田浩志、丸橋 繁、小林省吾、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
第32回日本癌学会療法研究会 2010.6.11 奈良市

● 肝切除前インターフェロン治療のC型肝炎関連肝細胞癌術後治療成績に及ぼす影響

富丸慶人、江口英利、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、若狭研一、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
第50回大阪肝臓学術研究会 2010.6.12 大阪市

● 当院における成人肝移植の現状

和田浩志、丸橋 繁、小林省吾、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、小川 馨、竹原徹郎、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
第35回日本外科系連合学会学術集会 2010.6.17-18 千葉市

● 腹腔内臓器の進行・再発癌症例における腹腔鏡下ストマ造設術の適応検討

岡村 修、鈴木 玲、中田 健、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、田村茂行
第15回日本緩和医療学会学術大会 2010.6.18 東京都

● 無石性胆嚢嚢室炎の1例

飯田卓馬、中平 伸、武田 裕、杉本圭司、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、岡村 修、田村茂行
第187回近畿外科学会 2010.6.19 京都市

● HER2陽性進行再発乳癌におけるラパチニブ、カペシタビンの使用経験

柄川千代美、柳井亜矢子、宇治公美子、吉田敦子、高塚雄一
第18回日本乳癌学会総会 2010.6.24-25 札幌市

● 広範囲な乳管内進展を伴う早期乳癌に対する乳房形成を伴った広範乳房温存術についての検討

内山千恵子、中場寛行、森口 聡、末岐博文、吉川浩之、野呂浩史、古川健太、野中亮児、上田正射、大口善郎、有馬良一、松崎佐恵子
第18回日本乳癌学会総会 2010.6.24-25 札幌市

● 先進医療施設からの報告

小林省吾、和田浩志、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
関西腹腔鏡下肝切除を語る会 2010.6.26 大阪市

● 臨床肝移植急性拒絶における末梢決IRFとGBP2発現の意義

小林省吾、永野浩昭、丸橋 繁、和田浩志、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第28回日本肝移植研究会 2010.7.1-2 広島市

● 成人間生体移植・脈管吻合における血流確保に関する成績と工夫

永野浩昭、丸橋 繁、小林省吾、和田浩志、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第28回日本肝移植研究会 2010.7.1-2 広島市

● 巨大脾腎シャントを有する末期肝硬変に対しrenoportal再建を行わなかった生体部分肝移植の1例

畠野尚典、丸橋 繁、小林省吾、和田浩志、江口英利、武田 裕、種村匡弘、金 致完、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
第28回日本肝移植研究会 2010.7.1-2 広島市

● 当院における脳死肝移植症例の検討

丸橋 繁、和田浩志、小林省吾、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第28回日本肝移植研究会 2010.7.1-2 広島市

● HCV陽性肝移植におけるステロイドフリー免疫抑制法とpreemptive抗ウイルス療法の意義

和田浩志、丸橋 繁、小林省吾、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、平松直樹、考藤達哉、竹原徹郎、永野浩昭
第28回日本肝移植研究会 2010.7.1-2 広島市

● 切除不能肝転移を伴った進行・再発大腸癌に対する化学療法について-消化器外科共同研究会関連施設へのアンケート調査集計-

岡村 修、赤松大樹、畑 泰司、長谷川順一、富永春梅、谷川隆彦、井出義人、奥山正樹、武元浩新、團野克樹、大橋一朗、藤井 眞、木許健生、水島恒和、山本浩文、関本真嗣、土岐祐一郎、森 正樹
第73回大腸癌研究会 2010.7.2 鹿児島市

● 非B非C型非アルコール性肝細胞癌切除症例の検討

小林省吾、永野浩昭、村上昌裕、和田浩志、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、若狭研一、土岐祐一郎、森 正樹
第46回日本肝癌研究会 2010.7.8-9 大阪市

● 小型単発肝細胞癌に対して系統的切除は有用か？

富丸慶人、江口英利、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
第46回日本肝癌研究会 2010.7.8-9 大阪市

● 人工心肺非使用下での肝細胞癌右房内腫瘍栓に対する手術手技と成績

富丸慶人、小林省吾、丸橋 繁、和田浩志、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
第46回日本肝癌研究会 2010.7.8-9 大阪市

● 高度進行胃癌に対する切除術やバイパス術の有用性

田村茂行、三木宏文、竹野 淳、小林政義、吉岡康多、中平 伸、鈴木 玲、中田 健、岡村 修、杉本圭司
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口市

● 膵頭十二指腸切除術における“soft pancreas”に対する膵吻合合法の手技と成績

武田 裕、永野浩昭、江口英利、瀧内大輔、秋田裕史、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、種村匡弘、北川 透、梅下浩司、森 正樹、土岐祐一郎
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口市

● 消化器外科周術期における経口補水の現状と脱水予防効果-周術期経口補水療法の導入に向けて-

竹野 淳、田村茂行、三木宏文、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、柳井垂矢子、小林政義、吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、武田 裕
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● 膵癌に対する至適抗癌剤選択の構築-基礎的検討および臨床応用可能性の検討

江口英利、永野浩昭、武田 裕、種村匡弘、丸橋 繁、小林省吾、和田浩志、秋田裕史、森 正樹、土岐祐一郎
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● I型糖尿病に合併した重症胃腸障害に対する脳死下臍(腎)臓移植の意義

大村仁昭、種村匡弘、永野浩昭、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、伊藤壽記、森 正樹、土岐祐一郎
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● 膵IPMN(膵管内乳頭粘液性腫瘍)の術後悪性診断から見た外科治療の意義

桂 宜輝、種村匡弘、永野浩昭、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、森 正樹、土岐祐一郎
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● 膵切除術後のQuality Of Life(QOL)の検討

柴山晴美、梅下浩司、武田 裕、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、種村匡弘、永野浩昭、土岐祐一郎、森 正樹
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● 当院における膵頭十二指腸切除術のクリニカルパス

瀧内大輔、武田 裕、永野浩昭、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、種村匡弘、土岐祐一郎、森 正樹
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● 遠隔転移を伴う肝細胞癌の治療成績

谷田 司、和田浩司、永野浩昭、江口英利、小林省吾、丸橋 繁、武田 裕、種村匡弘、土岐祐一郎、森 正樹
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● 癌幹細胞を標的とした糖鎖改変膵癌ワクチン療法

種村匡弘、永野浩昭、三善英知、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、森 正樹、土岐祐一郎
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● 門脈内腫瘍栓、肝静脈・下大静脈腫瘍栓を伴う進行肝細胞癌に対する肝切除術

富丸慶人、江口英利、永野浩昭、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、武田 裕、種村匡弘、土岐祐一郎、森 正樹
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● 肝細胞癌手術における自己輸血輸血の現状と必要性の検討

友國 晃、江口英利、永野浩昭、富丸慶人、小林省吾、丸橋 繁、武田 裕、種村匡弘、土岐祐一郎、森 正樹
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● 肝細胞癌術後再発への治療戦略-長期予後を目指して-

永野浩昭、丸橋 繁、小林省吾、和田浩志、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● 胆道癌に対する肝切除合併膵頭十二指腸切除の意義

星野宏光、小林省吾、永野浩昭、和田浩志、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、土岐祐一郎、森 正樹
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● 脳死下臍(腎)臓移植後CMV感染症の検討

町田智彦、種村匡弘、永野浩昭、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、伊藤壽記、森 正樹、土岐祐一郎
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● 肝移植 肝部分提供手術における工夫-従来法から腹腔鏡補助下肝切除まで-

丸橋 繁、永野浩昭、和田浩志、小林省吾、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● 肝内胆管癌切除例における臨床病理学的検討および遠隔成績に基づく治療戦略

和田浩志、永野浩昭、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第65回日本消化器外科学会総会 2010.7.14-16 山口県

● 食道癌に対する化学療法を先行させた集学的治療の成績

田村茂行、三木宏文、竹野 淳、吉岡康多、小林政義、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、武田 裕
第64回日本食道学会学術集会 2010.8.31-9.1 福岡市

● 食道癌化学放射線療法時の胃瘻造設の効果についての検討

竹野 淳、田村茂行、三木宏文、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、柳井垂矢子、小林政義、吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、武田 裕
第64回日本食道学会学術集会 2010.8.31-9.1 久留米市

● 肝切除への単孔式腹腔鏡下手術の導入

小林省吾、永野浩昭、和田浩志、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、関本貢嗣、土岐祐一郎、森 正樹
第23回近畿内視鏡外科研究会 2010.9.4 大阪市

● 腹腔鏡補助下肝グRAFT採取術の安全性と有用性

丸橋 繁、永野浩昭、小林省吾、和田浩志、江口英利、武田 裕、種村匡弘、土岐祐一郎、森 正樹
第23回近畿内視鏡外科研究会 2010.9.4 大阪市

● 局所進行乳癌に対し術前内分泌療法を施行した1例

内山千恵子、柄川千代美、柳井垂矢子、小野寿子、高塚雄一、武庫川乳腺カンファレンス 2010.9.10 尼崎市

● 高度進行食道癌に対するFAP(5-FU,ADR,CDDP)治療の効果

田村茂行、竹野 淳、鈴木 玲、中平 伸、岡村 修、武田 裕
第69回日本癌学会学術総会 2010.9.22-24 大阪市

● 膵癌におけるゲムシタビン耐性予測法の構築

江口英利、永野浩昭、種村匡弘、丸橋 繁、小林省吾、和田浩志、武田 裕、秋田裕史、森 正樹、土岐祐一郎
第69回日本癌学会学術総会 2010.9.22-24 大阪市

● **マイクロRNA-21は肝細胞癌に対するIFN・5-FUに対する治療抵抗性を引き起こす**

富丸慶人、江口英利、永野浩昭、和田浩志、友國 晃、小林省吾、丸橋 繁、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第69回日本癌学会学術総会 2010.9.22-24 大阪市

● **インターフェロン α 不応の膀胱癌細胞に対するインターフェロン β のジェムシタビンとの相乗効果**

友國 晃、江口英利、永野浩昭、富丸慶人、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、森 正樹、土岐祐一郎
第69回日本癌学会学術総会 2010.9.22-24 大阪市

● **切除不能・再生進行膀胱癌に対するゲムシタビン併用WT1ペプチドワクチン療法 第I相臨床試験**

西田純幸、武田 裕、小井戸薫雄、岡 芳弘、込田英夫、本 定、大草敏史、森 正樹、土岐祐一郎、川瀬一郎、田尻久雄、杉山治夫
第69回日本癌学会学術総会 2010.9.22-24 大阪市

● **肝細胞癌に対するインターフェロン併用5-FU動注化学治療に効果予測**

畠野尚典、江口英利、永野浩昭、富丸慶人、野田剛広、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第69回日本癌学会学術総会 2010.9.22-24 大阪市

● **肝門部胆管癌に対して肝動脈・門派合併切除再建による根治切除し得た1例**

桂 宜輝、小林省吾、和田浩司、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、金 東石、若狭研一、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
第46回日本胆道学会学術集会 2010.9.25 広島市

● **胆道癌のリンパ節転移診断におけるFDG-PETの限界と外科治療における役割**

小林省吾、星野宏光、和田浩司、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、若狭研一、金 東石、下瀬川恵久、畑澤 純、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
第46回日本胆道学会学術集会 2010.9.25 広島市

● **緩和医療または移行期の腹腔内臓器の進行・再発症例における腹腔鏡下ストマ造設術の導入-低侵襲治療を目指して**

岡村 修、鈴木 玲、中田 健、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、田村茂行
第8回日本消化器外科学会大会 2010.10.13-16 横浜市

● **乳がん罹患勤労者の就労支援について**

高塚雄一
第15回産業保健調査研究会 2010.10.14-15 神奈川県

● **噴門部早期癌に対する逆流防止を付加した噴門側胃切除術の成績**

田村茂行、三木宏文、竹野 淳、金村剛志、小林政義、吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、杉本圭司
第8回日本消化器外科学会大会 2010.10.15-16 横浜市

● **腹腔鏡補助下膀胱体尾部切除の現状と今後**

武田 裕、永野浩昭、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、種村匡弘、北川 透、梅下浩司、伊藤壽記、森 正樹、土岐祐一郎
第23回日本内視鏡外科学会総会 2010.10.18-20 横浜市

● **単一創から行うガスレス腹腔鏡補助下人工肛門造設術の有用性**

鈴木 玲、中田 健、岡村 修、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、吉岡康多、小林政義、柳井亜矢子、進藤敦美、大城蘭子、渡邊光子、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、武田 裕、田村茂行
第23回日本内視鏡外科学会総会 2010.10.18-20 横浜市

● **術中胆道損傷を鏡視下に修復し得た胆石症の2例**

中平 伸、武田 裕、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、岡村 修、田村茂行、高塚雄一
第23回日本内視鏡外科学会総会 2010.10.18-20 横浜市

● **単孔式による肝腫瘍に対する腹腔鏡下手術の検討**

小林省吾、永野浩昭、和田浩志、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、関本貢嗣、土岐祐一郎、森 正樹
第23回日本内視鏡外科学会総会 2010.10.18-20 横浜市

● **腹腔鏡補助下肝グRAFT採取術の安全性と有用性**

丸橋 繁、永野浩昭、小林省吾、和田浩志、江口英利、武田 裕、種村匡弘、土岐祐一郎、森 正樹
第23回日本内視鏡外科学会総会 2010.10.18-20 横浜市

● **肝移植術直後の免疫抑制剤としてのタクロリムス水和物除放性カプセルの使用経験**

桂 宜輝、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、種村匡弘、小川 馨、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
第46回日本移植学会総会 2010.10.20-22 京都市

● **肝移植・拒絶反応診断における分子生物学的検索の可能性と臨床応用**

小林省吾、丸橋 繁、和田浩志、江口英利、武田 裕、種村匡弘、梅下浩司、松原謙一、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
第46回日本移植学会総会 2010.10.20-22 京都市

● **遠隔成績から見た脳死臓器移植の現状-Marginal donorからの移植で糖尿病性合併症は改善するか-**

種村匡弘、大村仁昭、町田智彦、植田江梨子、黒田暁生、石崎直人、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、伊藤壽記、森 正樹、土岐祐一郎、永野浩昭
第46回日本移植学会総会 2010.10.20-22 京都市

● **当院における脳死肝移植の経験と提供手術の問題点**

丸橋 繁、永野浩昭、小林省吾、和田浩志、江口英利、武田 裕、種村匡弘、上野豪久、小川 馨、萩原邦子、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹
第46回日本移植学会総会 2010.10.20-22 京都市

● **肝移植後のHCV肝炎再発予防を目的としたステロイドフリー-免疫抑制法とpreemptive抗ウイルス療法の意義**

和田浩志、丸橋 繁、小林省吾、江口英利、武田 裕、種村匡弘、小川 馨、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹、平松直樹、考藤達哉、竹原徹朗、永野浩昭
第46回日本移植学会総会 2010.10.20-22 京都市

● **大腸癌治療切除後補助化学療法としてのカペシタビンの適正投与、安全性について**

岡村 修、中田 健、鈴木 玲、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、武田 裕、田村茂行
第48回日本癌治療学会学術集会 2010.10.28-30 京都市

● XELOX±BV療法導入初期の安全性と当院におけるチームアプローチ

鈴木 玲、中田 健、岡村 修、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、吉岡康多、小林政義、柳井亜矢子、加納徳美、弘岡貴子、矢代小百合、下川福子、川崎英二、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、武田 裕、田村茂行
第48回日本癌治療学会総会 2010.10.28-30 京都市

● DPCデータを活用した胃癌パス運用

田村茂行、三木宏文、竹野 淳、鈴木 玲、中平 伸、柄川千代美、中田 健、岡村 修、武田 裕、高塚雄一、副島彰典
第58回日本職業・災害医学会学術大会 2010.11.5-6 千葉市

● 胃癌 症例報告

竹野 淳、田村茂行、三木宏文、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、武田 裕
第396回大阪市胃研究会 2010.11.10 大阪市

● 肝硬変を有する早期胃癌症例に対して胃管分節切除術を施行した1例

革島洋志、竹野 淳、田村茂行、三木宏文、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、小林政義、柳井亜矢子、吉岡康多、中平 伸、鈴木 玲、中田 健、柄川千代美、岡村 修、武田 裕、高塚雄一
第188回近畿外科学会 2010.11.20 大阪市

● 単孔式による腹腔鏡下肝切除の検討

小林省吾、丸橋 繁、和田浩志、江口英利、武田 裕、種村匡弘、関本貢嗣、土岐祐一郎、森 正樹、永野浩昭
第4回肝臓内視鏡外科研究会 2010.11.20 横浜市

● 胃癌地域連携パスの現状と展望

田村茂行、三木宏文、竹野 淳、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、柳井亜矢子、吉岡康多、小林政義、鈴木 玲、中平 伸、柄川千代美、中田 健、岡村 修、武田 裕
第72回日本臨床外科学会総会 2010.11.21-23 横浜市

● 胃全摘術におけるR型 ρ Rouxen-Y吻合による腸ろう増設術

田村茂行、三木宏文、竹野 淳、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、柳井亜矢子、吉岡康多、小林政義、鈴木 玲、中平 伸、柄川千代美、中田 健、岡村 修、武田 裕
第72回日本臨床外科学会総会 2010.11.21-23 横浜市

● 脾癌における術前化学放射線療法のPET-CTによる効果判定

武田 裕、永野浩昭、江口英利、富丸慶人、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、種村匡弘、北川 透、巽 光朗、畑澤 順、伊藤壽記、梅下浩司、森 正樹、土岐祐一郎
第72回日本臨床外科学会総会 2010.11.21-23 横浜市

● 当院の緩和ケアチーム活動の現状と対策

岡村 修、辻本浩志、岩田明子、渡辺ひろみ、下川福子、中田 健、鈴木 玲、田村茂行
第72回日本臨床外科学会総会 2010.11.21-23 横浜市

● 当院における乳癌脳転移症例の検討

柄川千代美、柳井亜矢子、内山千恵子、小野寿子、高塚雄一
第72回日本臨床外科学会総会 2010.11.21-23 横浜市

● 当院におけるSS胆嚢癌手術症例検討による至適術式

中平 伸、武田 裕、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、岡村 修、田村茂行、高塚雄一

第72回日本臨床外科学会総会 2010.11.21-23 横浜市

● 経口補水液による経口補水療法を用いた胃切除術周術期管理

竹野 淳、田村茂行、三木宏文、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、武田 裕

第72回日本臨床外科学会総会 2010.11.21-23 横浜市

● 大胸筋浸潤を併う乳腺線維腫症の1例

柳井亜矢子、柄川千代美、小野寿子、内山千恵子、高塚雄一
第72回日本臨床外科学会総会 2010.11.21-23 横浜市

● ICG蛍光法を用いて、腸管切除をまねがれた絞扼性イレウスの1例

吉岡康多、田村茂行、竹野 淳、小野寿子、金村剛志、内山千恵子、小林政義、柳井亜矢子、中平 伸、鈴木 玲、中田 健、岡村 修、三木宏文、武田 裕
第72回日本臨床外科学会総会 2010.11.21-23 横浜市

● 閉経後女性の乳腺巨大線維腺腫の1例

内山千恵子、柄川千代美、柳井亜矢子、小野寿子、高塚雄一
第72回日本臨床外科学会総会 2010.11.21-23 横浜市

● 消化器外科領域におけるSurgical site infection発生と術前栄養状態の関連性

金村剛志、中平 伸、武田 裕、小野寿子、内山千恵子、柳井亜矢子、小林政義、吉岡康多、竹野 淳、鈴木 玲、中田 健、三木宏文、岡村 修、田村茂行、高塚雄一
第72回日本臨床外科学会総会 2010.11.21-23 横浜市

● 上行結腸リンパ管腫が先進部であった成人腸重積の1例

小林政義、鈴木 玲、中田 健、岡村 修、小野寿子、内山千恵子、金村剛志、吉岡康多、柳井亜矢子、竹野 淳、中平 伸、三木宏文、武田 裕、田村茂行
第72回日本臨床外科学会総会 2010.11.21-23 横浜市

● Paget病に類似した乳頭限局した浸潤性乳管癌の1例

小野寿子、内山千恵子、金村剛志、柳井亜矢子、柄川千代美、高塚雄一
第72回日本臨床外科学会総会 2010.11.21-23 横浜市

● 膵管内乳頭粘液性腫瘍の術前悪性度診断としてのFDG-PETの意義

種村匡弘、富丸慶人、永野浩昭、谷田 司、和田浩志、小林省吾、丸橋 繁、江口英利、武田 裕、梅下浩司、若狭研一、森 正樹、土岐祐一郎
第72回日本臨床外科学会総会 2010.11.21-23 横浜市

● 肝切除パス作成までの取り組みと導入後評価

中平 伸、武田 裕
第12回大阪市肝臓外科談話会 2010.11.26 大阪市

● 胃癌地域連携パスの現状と問題点

田村茂行、竹野 淳、三木宏文、吉岡康多、鈴木 玲、中平 伸、中田 健、岡村 修、武田 裕、副島彰典
第11回日本クリニカルパス学会学術集会 2010.12.3-4 松山市

● クリニカルパス電子化のためのフレームワーク構築

久下景子、田村茂行
第11回日本クリニカルパス学会学術集会 2010.12.3-4 松山市

● 肝切除術パス作成、導入までの取り組みと導入後の評価

柳智恵子、久下景子、津田典子、大城蘭子、大山淳子、中平 伸、
杉本圭司、武田 裕、田村茂行
第11回日本クリニカルパス学会学術集会 2010.12.3-4 松山市

● 同側乳房内に発生した浸潤性小葉癌と非浸潤性乳管癌を併存した1症例

柳井亜矢子、柄川千代美、小野寿子、内山千恵子、高塚雄一
第8回日本乳癌学会近畿地方会 2010.12.4 京都市

● HER2陽性進行再発乳癌におけるタイケルブ、カペシタビンの有用性の検討

内山千恵子、柄川千代美、柳井亜矢子、小野寿子、高塚雄一
第8回日本乳癌学会近畿地方会 2010.12.4 京都市

● 診断に難渋した副乳癌の1例

小野寿子、内山千恵子、金村剛志、柳井亜矢子、柄川千代美、高塚雄一
第8回日本乳癌学会近畿地方会 2010.12.4 京都市

講演会やテレビ出演

● 乳癌化学療法における5-FU系経口抗癌剤の最新の知見

高塚雄一
乳癌学術講演会 2010.2.4 熊本市

● 胃癌地域連携パス

田村茂行
胃癌地域連携パス説明会 2010.2.4 尼崎市

● 乳がんを早期に発見するために

高塚雄一
女性の健康セミナー 2010.3.2 神戸市

● 医療連携の研究

高塚雄一
勤労者医療フォーラム 2010.3.18 川崎市

● 一尾崎市から兵庫県へー胃癌術後地域連携クリニカルパスの使用の実際と今後の展望

田村茂行
胃癌術後地域連携クリニカルパス病診連携の会 2010.3.18 尼崎市

● 胃癌術後化学療法OGSG0604の結果と今後の課題

田村茂行
兵庫胃癌化学療法セミナー 2010.7.3 神戸市

● がん治療ガイドラインー化学療法を中心にー、乳がん

高塚雄一
第11回臨床腫瘍夏期セミナー 2010.7.22-23 東京都

● Panitumumab(ベクティビックス)の治療展望

岡村 修
阪神地区ベクティビックス勉強会 2010.7.30 西宮市

● 両立支援に関する労働者健康福祉機構の取り組み

高塚雄一
勤労者医療フォーラムINかながわ 2010.9.12 川崎市

● 乳がんの診断と術後療法

高塚雄一
第11回阪神エコーレベルアップミーティング 2010.9.18 西宮市

● 大腸癌化学療法の現状と展望

岡村 修
兵庫大腸がん勉強会 2010.10.1 神戸市

● がん診療において地域連携が目指すものー地域連携パスの役割ー

田村茂行
県立西宮市病院公開セミナー 2010.10.7 西宮市

● Triple Negative乳癌の治療戦略

高塚雄一
第13回沖縄乳癌疾患懇話会 2010.10.15 那覇市

● 乳腺疾患の診療とコツと治療法

高塚雄一
日本医師会生涯教育講座 2010.10.21 大阪市

● 乳がん薬物療法における基本姿勢とUncertain Issues

高塚雄一
Kyoto Breast Cancer Forum 2010 2010.11.27 京都市

● 腹腔鏡下胆嚢摘出術の基本手技

中平 伸
第3回大阪市内視鏡外科手術セミナー 2010.12.4-5 福島市

整形外科・スポーツ整形外科

論文・著書

- Tailor-made surgical guide reduces incidence of outliers of cup placement

Hananouchi T, Saito M, Koyama T, Sugano N, Yoshikawa H
Clin Orthop Relat Res 468(4):1088-1095,2010

- The vascular network in the femoral head and neck after hip resurfacing

Hananouchi T, Nishii T, Lee SB, Ohzono K, Yoshikawa H
J Arthroplasty 25(1):146-151,2010

- Are acetabular component alignment guides for total hip arthroplasty accurate?

Minoda Y, Ohzono K, Aihara M, Umeda N, Tomita M, Hayakawa K
J Arthroplasty 25(6):986-989,2010

- A modular femoral neck and head system works well in cementless total hip replacement for patients with developmental dysplasia of the hip

Sakai T, Ohzono K, Nishii T, Miki H, Takao M, Sugano N
J Bone Joint Surg Br 92(6):770-776,2010

- Grafting with hydroxyapatite granules for defects of acetabular bone at revision total hip replacement: a minimum ten-year follow-up

Sakai T, Ohzono K, Nishii T, Miki H, Takao M, Sugano N
J Bone Joint Surg Br 92(9):1215-1221,2010

- Solitary intradural extramedullary lymphoma of the cervical spine

Yamashita T, Sakaura H, Oshima K, Iwasaki M, Yoshikawa H
J Neurosurg (Spine) 12(4):436-439,2010

- Myelopathy hand: Reviewing a useful original sign and its clinical application

Sakaura H, Iwasaki M, Ono K
J Spinal Surg 2(2):367-372,2010

- The utility of superficial abdominal reflex in the initial diagnosis of scoliosis: a retrospective review of clinical characteristics of scoliosis with syringomyelia

Fujimori T, Iwasaki M, Nagamoto Y, Sakaura H, Oshima K, Yoshikawa H
Scoliosis 5(1):17,2010

- Preservation of muscles attached to the C2 and C7 spinous processes rather than subaxial deep extensors reduces adverse effects after cervical laminoplasty

Sakaura H, Hosono N, Mukai Y, Fujimori T, Iwasaki M, Yoshikawa H
Spine 35(16): E782-786,2010

- Myelopathy hand: New evidence of the classical sign

Hosono N, Makino T, Sakaura H, Mukai Y, Fuji T, Yoshikawa H
Spine 35(8): E273-277,2010

- 鏡視下腱板修復術の治療成績:年齢の影響

内田良平、前 達雄、西本竜史、神田秀之、米田 稔
肩関節 34(2):423-426,2010

- C2, C7棘突起付着筋温存による頸椎椎弓形成術後の合併症予防ー軸椎下深層伸筋の温存は重要かー

坂浦博伸
Stryker Infos Spine 1:14-16,2010

- 腰椎の解剖

大和田哲雄
整形外科看護 15(4):53-55,2010

- 腰椎の疾患・用語

大和田哲雄
整形外科看護 15(4):56-62,2010

- 【頸部脊髄症の治療成績評価を見直す 新評価法が示すもの】頸椎の新しい評価基準(JOACMEQ)とJOAスコアの比較ー頸椎症性頸髄症と頸椎後縦靱帯骨化症における術後の経時的変化ー

大島和也、和田英路、岩崎幹季、坂浦博伸、長本行隆、柏井将文、海渡貴司、浅野雅敏、有賀健太、石井正悦、向井克容、小田剛紀、米延策雄、吉川秀樹
脊椎脊髄ジャーナル 23(3):201-205,2010

- 骨欠損を伴った大腿骨開放骨折に対しbone transport法で再建を行った1例

生田研祐、大澤良之、行方雅人、大野一幸、篠田経博、樋口周久
中部整災誌 53(5):1087-1088,2010

- セメントレス人工股関節全置換術(THA)における臼蓋コンポーネント(カップ)の非接触領域の3次元定量的評価

花之内健仁、齋藤正伸、小山 毅、萩尾圭介、吉川秀樹、菅野伸彦
日本人工関節学会誌 40:560-561,2010

- 3次元積層造形技術を利用したテーラーメイド手術ガイドのカップ設置における効果

花之内健仁、齋藤正伸、小山 毅、萩尾圭介、菅野伸彦、吉川秀樹
Hip Joint 36:147-150,2010

- 頸肩腕症候の鑑別 4.頸部痛に伴う上肢の痛み、シビレの診断

坂浦博伸
モダンフィジシャン 30(2):248-250,2010

- 特発性大腿骨頭壊死症の診断基準・病型・病期分類

不動一誠、山本健吾、花之内健仁、安藤 渉、大園健二
リウマチ科 44(4):398-405,2010

- 四肢のしびれ感 圧迫性頸髄症の痛みとしびれ

竹下克志、藤原奈佳子、星地亜都司、横山 徹、徳橋泰明、遠藤健司、加藤圭彦、田口敏彦、市村正一、里美和彦、平野 徹、伊藤拓緯、三上靖夫、坂浦博伸、松本守雄、中原進之助、松本嘉寛、清水克時、岡山忠樹、川口善治、木家哲郎、馬場久敏、井尻幸成、椎名逸雄、戸山芳明、中村耕三
臨床整形外科 45(8):683-687,2010

● 頸部神経根症におけるmyelopathy hand

細野 昇、向井克容、坂浦博伸、牧野孝洋、武中章太、三輪俊格、富士武史
臨床整形外科 45(9):843-847,2010

● 腰痛症

坂浦博伸、吉川秀樹
NSAIDsの選び方・使い方ハンドブック p.163-170 羊土社 2010

● X線学的診断

山本健吾、大園健二
特発性大腿骨頭壊死症 p.48-53 金芳堂 2010

● 脊髄サルコイドーシス

岩崎幹季、長本行隆、坂浦博伸、藤森孝人
リウマチ病セミナーXXI p.79-82 永井書店 2010

学会報告

● Ovine synovial membrane-derived mesenchymal progenitor cells retain the phenotype of the original tissue that was exposed to in vivo inflammation: evidence for a suppressed chondrogenic differentiation potential of the cells

Ando W, Chung M, Heard BJ, Nakamura N, Frank CB, Hart DA
56th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society 2010.3.6-9
New Orleans,LA

● In vivo three-dimensional kinematics of the cervical spine during head rotation in patients with degenerative cervical spine

Nagamoto Y, Ishii T, Sakaura H, Iwasaki M, Moritomo H, Kashii M, Sugamoto K, Yoshikawa H
56th Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society 2010.3.6-9
New Orleans,LA

● Carbon fiber implant to aim successful fusion in lumbar spine surgery

Ohwada T
Hacettepe University Technopolis Days Meeting 2010.3.25 Ankara,Turkey

● Industry-academy cooperation in Japan in orthopedic fields

Ohwada T
Hacettepe University Technopolis Days Meeting 2010.3.25 Ankara,Turkey

● Three dimensional analysis of uncovered area of cementless cup using a CT-based computational analysis

Hananouchi T, Saito M, Yoshikawa H, Sugano N
10th Computer Assisted Orthopaedic Surgery 2010.6.16 Paris,France

● Ovine synovial membrane-derived mesenchymal progenitor cells retain the phenotype of the original tissue that was exposed to in vivo inflammation: evidence for a suppressed chondrogenic differentiation potential of the cells

Ando W, Chung M, Heard BJ, Nakamura N, Frank CB, Hart DA
7th Combined Meeting of Orthopaedic Research Societies 2010.10.16-20
Kyoto,Japan

● Joint preserving operations for idiopathic osteonecrosis of the femoral head

Ohzono K
16th Triennial Congress of the Asia Pacific Orthopaedic Association
2010.11.4-7 Taipei,Chinese Taipei

● 肘離断性骨軟骨炎に移植した骨軟骨柱のMRI評価

堀木 充、中川玲子、吉田竹志、田野確郎
第22回日本肘関節学会 2010.2.13 さいたま市

● 小児の鉤状突起のOsteochondral flap fractureの2例

中川玲子、堀木 充、吉田竹志、田野確郎
第22回日本肘関節学会 2010.2.13 さいたま市

● ANCA-FIT人工股関節システムを使用したprimary THAの短期成績 modular neck systemの有用性について

山本健吾、相原雅治、藪野互平、不動一誠、阿部裕仁、大園健二
第40回日本人工関節学会 2010.2.26-27 沖縄県

● セメントレス人工股関節全置換術(THA)における臼蓋コンポーネント(カップ)の非接触領域の3次元定量的評価

花之内健仁、齋藤正伸、小山 毅、萩尾圭介、吉川秀樹、菅野伸彦
第40回日本人工関節学会 2010.2.26-27 沖縄県

● 膝軟骨片の脱落に対し修復固定術を施行した2例

内田良平、鳥塚之嘉、松村宣政、大園健二
第22回関西関節鏡・膝研究会 2010.3.20 大阪市

● 骨欠損を伴った大腿骨開放骨折に対しbone transport法で再建を行った1例

生田研祐、大澤良之、行方雅人、大野一幸、篠田経博、樋口周久
第114回中部日本整形外科災害外科学会 2010.4.9-10 名古屋

● 手関節尺側部痛の関節外病変のMRI所見について 尺側手根伸筋腱鞘周囲の検討

堀木 充、中川玲子、吉田竹志、田野確郎
第53回日本手の外科学会 2010.4.15-17 新潟市

● ロッキングプレートを用いた橈骨遠位端骨折後変形治療に対する矯正骨切術の治療成績

堀木 充、中川玲子、吉田竹志、田野確郎
第53回日本手の外科学会 2010.4.15-17 新潟市

● 転位した背側関節面を伴うAO分類C型Colles骨折の治療成績

中川玲子、堀木 充、吉田竹志、田野確郎
第53回日本手の外科学会 2010.4.15-17 新潟市

● C3-C6椎弓形成術の中期成績-5年以上経過例の検討

坂浦博伸、細野 昇、向井克容、藤森孝人、岩崎幹季、吉川秀樹
第39回日本脊椎脊髄病学会 2010.4.22-24 高知市

● 80歳以上の高齢者に対する後方進入腰椎椎体間固定術の検討

山下智也、鈴木省三、尾上仁彦、大和田哲雄
第39回日本脊椎脊髄病学会 2010.4.22-24 高知市

● JOABPEQと旧JOAスコアによる後方進入腰椎椎体間固定術の検討

山下智也、大和田哲雄、岩崎幹季、藤森孝人、富士武史、向井克容、三輪俊格、小田剛紀、奥田真也、山崎良二、石井正悦、立石耕介、米延策雄、海渡貴司
第39回日本脊椎脊髄病学会 2010.4.22-24 高知市

● PLIFを安全に行うための工夫-従来法との合併症比較

三輪俊格、細野 昇、海渡貴司、向井克容、武中章太、富士武史
第39回日本脊椎脊髄病学会 2010.4.22-24 高知市

● 初診時にTOHと判断するも頸部骨折を生じた1例

安藤 渉、阿部裕仁、不動一誠、花之内健仁、山本健吾、大園健二
第36回阪神地区整形外科を語る会 2010.5.8 兵庫県

● 3次元積層造型技術を利用したテーラーメイド手術ガイドのカップ設置における効果

花之内健仁、齋藤正伸、小山 毅、萩尾圭介、菅野伸彦、吉川秀樹
第83回日本整形外科学会学術総会 2010.5.27-30 東京都

● 鏡視下腱板修復術の治療成績-肩甲下筋腱断裂の有無による比較検討-

内田良平、前 達雄、田野確郎、鳥塚之嘉、堀木 充、米田 稔、大園健二
第83回日本整形外科学会学術総会 2010.5.27-30 東京都

● Prognostic factors affecting outcome after arthroscopic rotator cuff repair

内田良平、前 達雄、田野確郎、堀木 充、米田 稔、大園健二
第2回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 2010.7.2-4 沖縄県

● 診断基準に関するアンケート調査

大園健二
第1回厚生労働省特定疾患対策研究事業 骨・関節系研究班
特発性大腿骨頭壊死症調査研究分科会 2010.7.24 福岡市

● 一般医(整形外科医・放射線科医)にとって特発性大腿骨頭壊死症との鑑別診断が困難であった症例の検討

安藤 渉、花之内健仁、阿部裕仁、不動一誠、山本健吾、大園健二
第1回厚生労働省特定疾患対策研究事業 骨・関節系研究班
特発性大腿骨頭壊死症調査研究分科会 2010.7.24 福岡市

● ラグビー選手の膝蓋腱症に対し手術治療を試みた1例

生田研祐、内田良平、鳥塚之嘉、大園健二
第47回兵庫県膝関節研究会 2010.9.25 神戸市

● Paprosky Type 3臼蓋骨欠損に対してModurec cup systemを使用した人工股関節再置換術

山本健吾、阿部裕仁、不動一誠、花之内健仁、安藤 渉、相原雅治、大園健二
第37回日本股関節学会 2010.10.1-2 福岡市

● 単純CT横断面による大腿骨前捻角と3次元立体構築画像を用いた術中想定大腿骨前捻角との比較

花之内健仁、山本健吾、不動一誠、阿部裕仁、安藤 渉、大園健二
第37回日本股関節学会 2010.10.1-2 福岡市

● 臼蓋形成不全股に対するセメントレスカップの中間高位設置

不動一誠、花之内健仁、阿部裕仁、安藤 渉、山本健吾、大園健二
第37回日本股関節学会 2010.10.1-2 福岡市

● 術後関節内炎症は滑膜由来前駆細胞の軟骨分化能を抑制する;ヒツジACL 再建モデルを用いた滑膜由来前駆細胞の軟骨分化能についての比較検討

安藤 渉、Chung M, Heard BJ, 中村憲正, Frank CB, Hart DA
第25回日本整形外科学会基礎学術集会 2010.10.14-15 京都市

● 社会人アメリカンフットボール選手の下肢関節可動域及び膝周囲筋力についての検討

内田良平、中村憲正
第21回日本臨床スポーツ医学会 2010.11.6-7 茨城県

● 膝軟骨片の剥離に対し整復固定術を施行した成人の1例

八木信哉、鳥塚之嘉、内田良平、大園健二
第42回大阪骨折研究会 2010.12.11 大阪市

● 広範な骨破壊を伴う人工股関節周囲慢性血腫の1例

花之内健仁
第28回関西股関節研究会 2010.12.18 大阪市

講演会やテレビ出演

● 各種セメントレス人工股関節の手術戦略と今後の課題

大園健二
第2回信州関節外科フォーラム 2010.3.6 長野市

● Complex Primary THAの手術戦略

大園健二
第2回和歌山ジョイントセミナー 2010.5.22 和歌山市

● 反復性膝蓋骨脱臼の診断と治療-反復性膝蓋骨脱臼に対する治療の考え方(画像解析を含めて)、これまでの成績-

鳥塚之嘉
第2回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 2010.7.2-4 沖縄県

● 圧迫性頸髄症除圧術後の上肢麻痺-文献レビューと前向き調査によるエビデンス-

坂浦博伸
第37回大阪脊椎外科フォーラム 2010.7.17 大阪市

● 腰痛を生じる疾患の原因と医学的治療

坂浦博伸
社団法人兵庫県柔道整復師会 尼崎支部学術研究会 2010.9 尼崎市

● 3次元積層造型技術を用いたコンピュータ支援股関節手術ガイドの開発

花之内健仁
第21回股関節研究セミナー 2010.10.1 福岡市

● 3次元積層造型技術を利用したテーラーメイド手術ガイドのカップ設置における効果

花之内健仁、齋藤正伸、小山 毅、萩尾圭介、菅野伸彦、吉川秀樹
第21回大正富山Award記念講演 2010.10.1 福岡市

● 各種股関節疾患の診断と治療

大園健二
第34回兵庫県阪整会 2010.10.14 尼崎市

- 脊椎固定術の発展と現在、そして今後（PLIFを中心として）
小侵襲手術のあり方

大和田哲雄
第2回愛媛脊椎脊髄病セミナー 2010.12.11 松山市

形成外科

論文・著書

- 褥瘡

浅田裕司
看護学テキストNice 疾病と治療Ⅳ p.109-111 南江堂 2010

学会報告

- 人工肛門(ストマ)に発生する不良肉芽に対し炭酸ガスレーザーを用いた治療経験

清家志円、峯岸芳樹、浅田裕司
第94回日本形成外科学会関西支部学術集会 2010.3.7 豊岡市

- 巨大な鼻瘤を形成した酒さの1例

藤山 浩、清家志円、浅田裕司
第96回日本形成外科学会関西支部学術集会 2010.12.4 大阪市

脳神経外科

論文・著書

- Narrow-band imaging を用いた videoscope による第3脳室底開窓術の有用性

Khoo Hui Ming、西尾雅実、和田晃一、眞島 静、立石明広、二宮貢士、谷口理章、瀧 琢有
脳神経外科ジャーナル 19(9):696-701,2010

学会報告

- The endoscopic third ventriculostomy can improve higher brain function in the patient of long-standing overtone ventriculomegaly in adult?

Majima S, Ozaki T, Ninomiya K, Tateishi A, Nishio M, Taki T
International Federation of Neuroendoscopy interim Meeting 2010.12.12
Tokyo, Japan

- Telovelar approach to the fourth ventricle: Refinements of the surgical technique

Khoo Hui Ming, Taki T, Yoshimine T
8th Asian Congress on Neurological Surgeons 2010.11.22 Kuala Lumpur, Malaysia

- 上位頸椎後方アプローチにおける後方支持組織温存のための工夫について

二宮貢士、瀧 琢有、西尾雅実、和田晃一、立石明広、眞島 静、
Khoo Hui Ming
第61回近畿脊椎外科研究会 2010.3.27 大阪市

- ガンマナイフを行った転移性脳腫瘍症例の生命予後に転移巣数と腫瘍体積が与える影響

和田晃一、瀧 琢有、西尾雅実、立石明広、眞島 静、二宮貢士、
Khoo Hui Ming
第71回近畿脳腫瘍研究会 2010.4. 豊中市

- 最近の脳卒中診療

西尾雅実、尾崎友彦、二宮貢士、眞島 静、立石明広、瀧 琢有
尾崎地区脳疾患診療連携カンファレンス 2010.7.15 尾崎市

- 脊髄硬膜動静脈漏遮断手術における術中ICG-VAGの有用性について

二宮貢士、尾崎友彦、眞島 静、立石明広、西尾雅実、瀧 琢有
第40回兵庫県脳神経外科医懇話会 2010.7.31 神戸市

- M1 動脈瘤手術の pitfall

福屋章吾、尾崎友彦、二宮貢士、眞島 静、立石明広、西尾雅実、
瀧 琢有
第60回日本脳神経外科学会近畿地方会 2010.9.12 吹田市

- 脊髄硬膜動静脈漏遮断手術における術中ICG-VAGの有用性について

二宮貢士、尾崎友彦、眞島 静、立石明広、西尾雅実、瀧 琢有
第62回近畿脊椎外科研究会 2010.10.16 大阪市

- 第4脳室内腫瘍にたいするTelovelar Approach

瀧 琢有、尾崎友彦、二宮貢士、眞島 静、立石明広、西尾雅実
日本脳神経外科学会第69回学術総会 2010.10.27 福岡市

- 局所血栓溶解療法を行った静脈洞血栓症

西尾雅実、尾崎友彦、二宮貢士、眞島 静、立石明広、瀧 琢有
日本脳神経外科学会第69回学術総会 2010.10.29 福岡市

- 成人水頭症における第3脳室底開窓術の効果

眞島 静、尾崎友彦、二宮貢士、立石明広、西尾雅実、瀧 琢有
日本脳神経外科学会第69回学術総会 2010.10.27 福岡市

- 非出血性椎骨脳底動脈瘤解離の治療と予後に関する retrospective study

立石明広、尾崎友彦、二宮貢士、眞島 静、西尾雅実、瀧 琢有
日本脳神経外科学会第69回学術総会 2010.10.27 福岡市

- 大孔部腹側病変への後方アプローチについて

二宮貢士、尾崎友彦、眞島 静、立石明広、西尾雅実、瀧 琢有
日本脳神経外科学会第69回学術総会 2010.10.29 福岡市

- 脊髄硬膜動静脈漏遮断手術における術中ICG-VAGの有用性について

二宮貢士、尾崎友彦、眞島 静、立石明広、西尾雅実、瀧 琢有
日本脳神経外科学会第69回学術総会 2010.10.29 福岡市

- 当院での再発悪性グリオーマに対するガンマナイフ治療

尾崎友彦、二宮貢士、眞島 静、立石明広、西尾雅実、瀧 琢有
日本脳神経外科学会第69回学術総会 2010.10.28 福岡市

- 脳神経外科領域におけるニューロナースの実効性

松本恭子、尾崎友彦、二宮貢士、眞島 静、立石明広、西尾雅実、
瀧 琢有
日本脳神経外科学会第69回学術総会 2010.10.29 福岡市

- 局所血栓溶解療法を行った静脈洞血栓症

西尾雅実、尾崎友彦、二宮貢士、眞島 静、立石明広、瀧 琢有
第26回日本脳神経血管内治療学会総会 2010.11.19 福岡県

- 脳底動脈先端部近傍動脈瘤に対するクリッピング術

二宮貢士、尾崎友彦、眞島 静、立石明広、西尾雅実、瀧 琢有
第15回関西脳神経外科手術研究会 2010.12.18 大阪市

心臓血管外科・呼吸器外科

論文・著書

- Inverted intercostal hernia of the soft tissue presenting as slow-growing chest wall tumor after thoracotomy

Iwata T, Yasuoka T, Hanada S, Suehiro Y, Nishibayashi A, Inoue K, Kobayashi Y, Mizoguchi H, Miura T
Ann Thorac Surg 90 (4):1355-7,2010

学会報告

- 腹部大動脈瘤人工血管再置換に十二指腸閉塞症を来した1例

溝口裕規、榊 雅之、井上和重、小林靖彦、安岡高志、岩田 隆、末廣泰男
第63回兵庫県血管外科研究会 2010.1.16 神戸市

- 肝硬変を伴った腹部大動脈瘤に対して、左外-内腸骨動脈バイパス術後に血管内ステント術を施行した1例

小林靖彦、三浦拓也、安岡高志、井上和重、岩田 隆、溝口裕規、末廣泰男
第24回心臓血管外科ウインターセミナー 2010.2.5-7 長野県

- 狭小大動脈弁輪に対する手術成績-生体弁CEP Magnaおよび機会弁SJM regentの検討-

溝口裕規、榊 雅之、井上和重、小林靖彦、安岡高志、岩田 隆、末廣泰男
第40回日本心臓血管外科学会学術総会 2010.2.15-17 神戸市

- 関西労災病院における呼吸器外科診療の現状

岩田 隆
第5回大阪市立大学呼吸器外科勉強会 2010.2.20 大阪市

- 腹部大動脈瘤人工血管再置換に十二指腸閉塞症を来した1例

溝口裕規、三浦拓也、井上和重、小林靖彦、安岡高志、岩田 隆、末廣泰男、西林章光
第24回日本血管外科学会近畿地方会 2010.3.6 大津市

- 限局型肺小細胞癌に対する外科治療の長期成績

岩田 隆、西山典利、永野晃史、泉 信博、月岡卓馬、丁 奎光、花田庄司、井上清俊、末廣茂文
第110回日本外科学会定期学術集会 2010.4.10 名古屋市

- Adalimumab投与による続発性肺クリプトコッカス症の1切除例

岩田 隆、安岡高志、井上和重、小林靖彦、溝口裕規、花田庄司、末廣泰男、西林章光、榊 雅之
第27回日本呼吸器外科学会 2010.5.14 仙台市

- 腹部大動脈瘤に対して、左外-内腸骨動脈バイパス術施行後に血管内ステントグラフトを施行した3症例

小林靖彦、三浦拓也、安岡高志、井上和重、岩田 隆、溝口裕規、末廣泰男
第38回日本血管外科学会 2010.5.20-22 さいたま市

- 超高齢者(80歳以上)における冠動脈バイパス術の手術成績

小林靖彦、三浦拓也、安岡高志、井上和重、岩田 隆、溝口裕規、末廣泰男
第53回関西胸部外科学会学術集会 2010.6.24-25 名古屋市

- 大動脈弁位感染性心内膜炎を発症した大動脈四尖弁の1例

溝口裕規、三浦拓也、井上和重、小林靖彦、安岡高志、岩田 隆、末廣泰男、西林章光
第53回関西胸部外科学会学術集会 2010.6.24-25 名古屋市

- 慢性透析患者に対するオフポンプ冠動脈バイパス術の周術期管理および短期成績に関する検討

末廣泰男、三浦拓也、榊 雅之、井上和重、安岡高志、小林靖彦、岩田 隆、溝口裕規
第53回関西胸部外科学会学術集会 2010.6.24-25 名古屋市

- 大動脈弓部より左総頸動脈と左鎖骨下動脈を巻き込んだ縦隔悪性腫瘍の1切除例

岩田 隆、三浦拓也、安岡高志、井上和重、小林靖彦、井上英俊、西林章光
第55回兵庫県心臓外科懇話会 2010.7.16 神戸市

- 大動脈弓部より左総頸動脈と左鎖骨下動脈を巻き込んだ縦隔平滑筋肉腫の1切除例

岩田 隆、三浦拓也、安岡高志、井上和重、小林靖彦、花田庄司、井上英俊、西林章光
第6回大阪市立大学呼吸器外科勉強会 2010.7.28 大阪市

- 高齢者(75歳以上)の胸部大動脈瘤手術症例の検討

井上和重、三浦拓也、小林靖彦、岩田 隆、井上英俊、西林章光
第51回日本脈管学会総会 2010.10.14-16 北海道

- 高齢者(70歳以上)AVRIについて-機械弁と生体弁置換術との比較、検討-

小林靖彦、三浦拓也、安岡高志、井上和重、岩田 隆、井上英俊、西林章光
第64回日本胸部外科学会学術集会 2010.10.24-27 大阪市

- 同一肺葉内に扁平上皮癌を重複し、消化管上皮への分化を認めた稀な原発性肺腺癌の1切除例

西林章光、岩田 隆、安岡高志、花田庄司、井上英俊、小林靖彦、井上和重、三浦拓也
第51回日本肺癌学会総会 2010.11.4 広島市

講演会やテレビ出演

- 当科における慢性透析患者の開心術症例についての検討-on pump CABGを中心に-

末廣泰男、三浦拓也、榊 雅之、安岡高志、井上和重、小林靖彦、岩田 隆、溝口裕規
第4回武庫川周術期循環管理研究会 2010.2.5 西宮市

皮膚科

論文・著書

- 脳転移を来した乳房外Paget癌の1例：剖検結果と進展様式の考察

山中隆嗣、種村 篤、飯室詠理子、西岡めぐみ、矢島智子、谷 守、
金田眞理、片山一朗、野島 聡、青笹克之、平川聡史、橋本公二
皮膚の科学 9(3):229-236,2010

- 重症筋無力症を伴った胸腺腫患者に生じたタクロリムス(プロgraf)によるStevens-Johnson症候群の1例

山中隆嗣、渡部愛子、庄田裕紀子、田口敬子、金田眞理
皮膚の科学 9(3):237-243,2010

学会報告

- 重症尋常性天疱瘡に対し大量γグロブリン・血漿交換併用療法が奏功した1例

青木克憲、石田 勲、上田恵理子、依藤秀樹、福本裕美、富田弘道、
倭 正也、幸野 健、和泉雅章
第74回大阪透析研究会 2010.3.14 大阪市

- 尋常性白斑に対する308nmエキシマランプの安全性および有用性の検討

山中隆嗣、種村 篤、飯室詠理子、西岡めぐみ、崎本和子、片山一朗
第109回日本皮膚科学会総会 2009.4.16-18 大阪市

- 重症尋常性天疱瘡に対し大量γグロブリン・血漿交換併用療法が奏功した1例

青木克憲、石田 勲、上田恵理子、依藤秀樹、福本裕美、富田弘道、
倭 正也、幸野 健、和泉雅章
第55回日本透析医学会 2010.6.18 神戸市

講演会やテレビ出演

- 尋常性乾癬の診断と治療について

石田 勲
鳥居薬品社内研修会 2010.9.16 尼崎市

泌尿器科

論文・著書

- 腹腔鏡手術の止血装置－装置別の使用法について－

川端 岳、田口 功、松原重治、松下 経、津村功志
Jpn J Endourol ESWL 23(1):2-9,2010

- 迷入した金属クリップを核に形成された尿道結石の1例

津村功志、田口 功、奥野優人、松下 経、松原重治、山中邦人、川端 岳
西日本泌尿器科 72(11):633-635,2010

- 過活動膀胱の原因と治療について

松原重治
リビング尼崎・伊丹 1月30日号

学会報告

- 腹腔鏡下半腎摘出術を行った異所性尿管瘤を伴う完全重複腎盂尿管の1例

津村功志、松下 経、松原重治、田口 功、川端 岳
第4回KURF 2010.1.16 神戸市

- 尿管腫瘍と鑑別が困難であったSLE合併尿管アミロイドーシスの1例

松下 経、津村功志、松原重治、田口 功、川端 岳
第210回日本泌尿器科学会関西地方会 2010.2.6 枚方市

- 褐色細胞腫に対する腹腔鏡下左副腎摘除術

松下 経、津村功志、松原重治、田口 功、川端 岳
第14回Clinical Urology研究会 2010.3.13 神戸市

- 悪性腫瘍に対する腹腔鏡下副腎摘除術の経験

川端 岳、田口 功、松原重治、松下 経、津村功志
第22回日本内分泌外科学会総会 2010.6.11 吹田市

- クッシング症候群を呈した副腎black adenomaの1例

山尾 裕、松下 経、福原 恒、松原重治、田口 功、川端 岳
第212回日本泌尿器科学会関西地方会 2010.9.18 西宮市

- 骨盤機能温存のための手術手技 各領域に学ぶ手技とそのコツー前立腺癌に対する腹腔鏡下前立腺全摘除術における機能温存手技

川端 岳、田口 功、松原重治、松下 経、山尾 裕、福原 恒
第23回日本内視鏡外科学会総会 シンポジウム5 2010.10.19 横浜市

- 腹腔鏡下前立腺全摘除術における若干の工夫点(ビデオ)

川端 岳、福原 恒、松下 経、松原重治、山尾 裕、田口 功
第24回日本Endourology・ESWL学会総会 2010.10.22 京都市

- 進行性精巣腫瘍に対する化学療法後の後腹膜リンパ節郭清術

川端 岳、河内明宏、中村晃和、三木恒治
第24回日本Endourology・ESWL学会総会 パネルディスカッション
「リンパ節郭清術」2010.10.22 京都市

● 腹腔鏡下前立腺全摘除術における膀胱尿道吻合の1工夫

福原 恒、山尾 裕、松下 経、松原重治、田口 功、川端 岳
第24回日本Endourology・ESWL学会総会 2010.10.23 京都市

● 腹腔鏡下前立腺全摘除術の初期成績

江川雅之、上村吉穂、福田 護、高島 博、七里泰正、川端 岳
第24回日本Endourology・ESWL学会総会 2010.10.22 京都市

● 進行性精巣腫瘍の化学療法後残存腫瘍に対する腹腔鏡下後腹膜リンパ節郭清の初期経験

木村泰典、中村晃和、河内明宏、三神一哉、本郷文弥、三木恒治、
川端 岳
第24回日本Endourology・ESWL学会総会 2010.10.23 京都市

● 前立腺全摘除術後再発に関する検討 (Clinical Urology研究会)

金丸聰淳、松原重治、伊藤哲之、金丸洋史、川端 岳、中村一郎、
山下真寿男、山中 望、川喜田睦司
第48回日本癌治療学会総会 2010.10.29 京都市

● LRPの超早期尿禁制獲得のための若干の工夫

福原 恒、山尾 裕、松原重治、田口 功、川端 岳
第16回Clinical Urology研究会 2010.11.13 神戸市

● 当院におけるTUEB(transurethral enucleation with bipolar)の治療成績

田口 功、福原 恒、山尾 裕、松下 経、松原重治、川端 岳
第60回日本泌尿器科学会中部総会 2010.12.2 名古屋市

● Primitive neuroectodermal tumor(PNET)の1例

福原 恒、山尾 裕、松下 経、松原重治、田口 功、川端 岳
第213回日本泌尿器科学会関西地方会 2010.12.18 大阪市

講演会やテレビ出演

● 前立腺癌治療における病院と診療所の現状とこれから

川端 岳、濱見 学、原田健次、西 俊昌、下垣博義
座談会 2010.2.18 尼崎市

● mRCCについての最近の知見

田口 功
ファイザー社内勉強会 2010.2.26 神戸市

● 前立腺全摘除術後の再発について

松原重治
武田薬品社内勉強会 2010.3.4 尼崎市

● 下部尿路症状と前立腺肥大症

川端 岳
甲山カンファランス 2010.5.28 西宮市

● 腹腔鏡下根治的右腎摘除術

川端 岳
第11回腹腔鏡ビデオ講習会 2010.7.3 東京都

● 腹腔鏡技術認定に合格するためのコツとトラブル対処法

川端 岳
第5回北大阪Endourology研究会 2010.9.9 大阪市

● 前立腺肥大症の新しい手術療法

川端 岳
第15回U-TEC(Takeda Expert TV Conference in Urology)
2010.9.14 東京都

● TUEB up date-TUEBのコツが解ったー

川端 岳、中川 健
第24回日本Endourology・ESWL学会総会 フースレクチャー
2010.10.23 京都市

● オシッコで困ってませんか?

松原重治
からだところの健康講座 2010.12.9 大阪市

産婦人科

論文・著書

- **Vascular endothelial growth factor is a promising therapeutic target for the treatment of clear cell carcinoma of the ovary**

Mabuchi S, Kawase C, Altomare DA, Morishige K, Hayashi M, Sawada K, Ito K, Terai Y, Nishio Y, Klein-Szanto AJ, Burger RA, Ohmichi M, Testa JR, Kimura T
Mol Cancer Ther 9(8):2411-2422,2010

- **分子標的治療の現状と将来**

伊藤公彦、堀 謙輔、尾崎公章
産婦の実際 59(10):1535-1545,2010

学会報告

- **Phase II trial of Paclitaxel and Nedaplatin in patients with advanced/recurrence uterine cervical cancer: a Kansai Clinical Oncology Group study**

Takekuma M, Hirashima Y, Tsubamoto H, Tabata T, Arakawa A, Itani Y, Furukawa N, Murakoshi H, Takeuchi S, Ito K, Kansai Clinical Oncology Group
13th Biennial Meeting of International Gynecologic Cancer Society
2010.10.23-26 Prague, Czech Republic

- **Phase II trial of weekly irinotecan and carboplatin for relapsed ovarian cancer – a Kansai Clinical Oncology Group study**

Tsubamoto H, Kawaguchi R, Takeuchi S, Itani Y, Arakawa A, Shiozaki T, Tabata T, Toyoda S, Ito K, Kansai Clinical Oncology Group
13th Biennial Meeting of International Gynecologic Cancer Society
2010.10.23-26 Prague, Czech Republic

- **月経随伴症状に対するプロゲステンIUDの有用性に関する検討**

山本志津香、栗谷健太郎、大西圭子、大門映美子、山本 亮、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第31回日本エンドメトリーオシス学会 2010.1.16-17 京都市

- **月経随伴症状に対するプロゲステンIUDの有用性に関する検討**

山本志津香、栗谷健太郎、大西圭子、大門映美子、山本 亮、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第24回武庫川産婦人科セミナー 2010.2.13 西宮市

- **当科における再発卵巣癌に対するリポソーム化ドキソルビシンの使用経験**

栗谷健太郎、大西圭子、大門映美子、山本志津香、山本 亮、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第24回武庫川産婦人科セミナー 2010.2.13 西宮市

- **当院で経験した常位胎盤早期剥離症例**

大西圭子、栗谷健太郎、大門映美子、山本志津香、山本 亮、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
平成21年度周産期事例検討会 2010.3.6 神戸市

- **SLEに合併した外陰ボーエン様丘疹の1例**

大門映美子、栗谷健太郎、大西圭子、山本志津香、山本 亮、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第62回日本産科婦人科学会 2010.4.23-25 東京都

- **当科における卵巣癌IIIc期の治療成績の検討**

大西圭子、栗谷健太郎、大門映美子、山本志津香、山本 亮、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第62回日本産科婦人科学会 2010.4.23-25 東京都

- **当科における再発卵巣癌に対するリポソーム化ドキソルビシンの使用経験**

栗谷健太郎、大西圭子、山本志津香、大門映美子、山本 亮、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第62回日本産科婦人科学会 2010.4.23-25 東京都

- **mTORをターゲットとした卵巣明細胞腺癌の治療戦略**

河瀬千晶、馬淵誠士、澤田健二郎、森重健一郎、木村 正、大道正英、矢本希夫、伊藤公彦、西尾幸浩
第62回日本産科婦人科学会 2010.4.23-25 東京都

- **Lynch症候群(遺伝性非ポリポーシス大腸癌)患者に発生した子宮体癌の1例**

大西圭子、栗谷健太郎、繁田直哉、安藤亮介、脇本 哲、大門映美子、山本志津香、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第28回大阪大学産婦人科オープンクリニカルカンファレンス
2010.5.29 大阪市

- **当院における助産師外来・院内助産開設に至るまで**

栗谷健太郎、繁田直哉、安藤亮介、大西圭子、脇本 哲、山本志津香、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第84回兵庫県産科婦人科学会 2010.6.6 神戸市

- **妊娠15週に腸閉塞を起こした1例**

大門映美子、栗谷健太郎、大西圭子、山本志津香、山本 亮、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第122回近畿産科婦人科学会 2010.6.19-20 京都

- **子宮体部癌肉腫の一部に、神経内分泌細胞への分化がみられた1症例**

山本 亮、伊藤公彦、堀 謙輔、尾崎公章、大門映美子、山本志津香、栗谷健太郎、大西圭子、中塚伸一、木村勇人
第48回日本婦人科腫瘍学会 2010.7.8-10 つくば市

- **妊娠24週で子宮内胎児死亡(IUFD)、播種性血管内凝固症候群(DIC)を発症し原因究明に苦慮した1例**

繁田直哉、安藤亮介、大西圭子、栗谷健太郎、脇本 哲、山本志津香、尾崎公章、堀 謙輔、伊藤公彦
第29回大阪大学産婦人科オープンクリニカルカンファレンス
2010.11.6 大阪市

- **子宮体部原発の表層拡大型扁平上皮癌の1例**

木村勇人、奥 和子、杉生憲二、山根三千秋、吉野龍一、中塚伸一、星田義彦、大門映美子、堀 謙輔、伊藤公彦
第49回日本臨床細胞学会秋季大会 2010.11.21-22 神戸市

講演会やテレビ出演

- **卵巣癌**

堀 謙輔
市民のための健康講座 阪神ケーブルテレビ 2010.2

- **当院における塩酸イリノテカンを用いた治療の実際**

堀 謙輔
CPT-11学術講演会 2010.3.13 大阪市

● 子宮頸がん -診断・治療とその予防-

伊藤公彦
西宮小児科医会研修会 2010.4.21 西宮市

● 助産師が行う超音波検査

栗谷健太郎
平成22年度助産師職能大会 2010.6.24 神戸市

● 本邦における臨床試験の現状と将来構想

伊藤公彦
第7回婦人科がん会議 イブニングセミナー 2010.6.25-26 松山市

● 単に院内助産ではなく、産科におけるチーム医療の確立である

堀 謙輔
院内助産所・助産師外来開設のためのシンポジウム 2010.8.1 神戸市

● 助産外来、院内助産のリスク・マネジメント

堀 謙輔
院内助産所・助産師外来開設のための管理者および助産師研修 2010.10.26 神戸市

● 卵巣癌の化学療法 -分子標的治療を含めて-

伊藤公彦
平成22年度岐阜産科婦人科研究会-腫瘍- 2010.10.30 岐阜市

● プラチナ製剤感受性再発卵巣がんに対するドキシル+カルボプラチン併用療法の役割

伊藤公彦
再発卵巣がん治療セミナー 2010.11.13 東京都

● 分娩期、産じょく期の異常とその対応

堀 謙輔
院内助産所・助産師外来開設のための管理者および助産師研修 2010.11.30 神戸市

眼 科

論文・著書

● 翼状片

渡辺 仁
眼科手術 23:191-196,2010

● ウイルス性角結膜炎

渡辺 仁
内科 106:849-852,2010

● ドライアイリサーチアワード解説

渡辺 仁
Frontiers in Dry Eye 5:42-43,2010

● 治療ディベート 兔眼性角膜炎

渡辺 仁、重安千花、山田昌和、木村亜紀子、森山 涼
Frontiers in Dry Eye 5:50-56,2010

● 涙点プラグ

渡辺 仁
江口秀一郎編 新ES Now No2 外来小手術 外眼部手術 達人への道 p.86-91 メジカルビュー 2010

● 異物除去

渡辺 仁
江口秀一郎編 新ES Now No2 外来小手術 外眼部手術 達人への道 p.91-93 メジカルビュー 2010

● 結膜結石

渡辺 仁
江口秀一郎編 新ES Now No2 外来小手術 外眼部手術 達人への道 p.93 メジカルビュー 2010

● Meibom腺梗塞

渡辺 仁
江口秀一郎編 新ES Now No2 外来小手術 外眼部手術 達人への道 p.94-95 メジカルビュー 2010

● 涙液減少型ドライアイ

渡辺 仁
大橋裕一編 専門医のための眼科クオリファイ②結膜炎オールラウンド p.114-121 中山書店 2010

● 観血的涙点閉鎖術の適応とコツを教えてください

渡辺 仁
大橋裕一編 専門医のための眼科クオリファイ②結膜炎オールラウンド p.232-234 中山書店 2010

● 涙点閉鎖術

渡辺 仁
超入門 眼科手術基本術式50 p.64-66 メディカ出版 2010

● 角膜搔爬

渡辺 仁
超入門 眼科手術基本術式50 p.89-91 メディカ出版 2010

● 角膜熱形成術

渡辺 仁
超入門 眼科手術基本術式50 p.92-93 メディカ出版 2010

● 角膜縫合

渡辺 仁
超入門 眼科手術基本術式50 p.94-97 メディカ出版 2010

● エキシマレーザー角膜表層切除術

渡辺 仁
超入門 眼科手術基本術式50 p.98-102 メディカ出版 2010

● 結核、梅毒、Hansen病による眼感染症

渡辺 仁
下村嘉一編 眼の感染症 p.74-77 2010 南江堂

学会報告

● Efficacy of surgery for conjunctivochalasis with objective as well as subjective symptoms

Watanabe H, Koh S, Hori Y
6th International Conference on the Tear Film & Ocular Surface: Basic Science and Clinical Relevance 2010.9.25 Firenze, Italy

● Medical and Surgical Treatment for Dry Eye

Hitoshi Watanabe
2nd Asia Cornea Society Biennial Scientific Meeting Symposium 22. Cicatrizing Ocular Surface Diseases 2010.12.2 Kyoto, Japan

● 涙点プラグ、涙点閉鎖

渡辺 仁
第33回日本眼科手術学会 教育セミナー21 眼科外眼部手術(2) 2010.1.23 東京都

● 液体涙点プラグ、白内障術後ドライアイに対する治療効果涙点閉鎖

渡辺 仁
第33回日本眼科手術学会 モーニングセミナー 2010.1.23 東京都

● 短時間でかつ無縫合で完全閉が可能な新しい涙点閉鎖手術

渡辺 仁、木坊子展生、福地祐子、中田 亙
第34回角膜カンファランス、第26回日本角膜移植学会 モーニングセミナー 2010.2.11-12 東京都

● ドライアイに対するスーパーイーグルプラグの治療効果ー続報ー

木坊子展生、渡辺 仁、福地祐子、中田 亙
第34回角膜カンファランス、第26回日本角膜移植学会 2010.2.11 東京都

● BUT短縮に対する治療

渡辺 仁
第4回箱根ドライアイクラブ in 淡路 シンポジウム:SPKからBUTへ BUT短縮の臨床 2010.5.28 淡路島

● 角膜ジストロフィ

渡辺 仁
3i角膜塾 2010.8.6 京都市

● ドライアイ、マイボーム腺異常

渡辺 仁
3i角膜塾 2010.8.6 京都市

● ムチンから見たドライアイ

渡辺 仁
ドライアイジクアス点眼キックオフミーティング 2010.10.7 大阪市

● 症例から学ぶ角結膜疾患

渡辺 仁
ファイザー日常臨床セミナー 2010.10.27 姫路市

● これからの診断・治療に必要なドライアイの基礎知識

渡辺 仁
愛知県眼科臨床懇話会 2010.10.30 名古屋市

● Ocular Surface疾患の見極め方

渡辺 仁
第64回日本臨床眼科学会ランチョンセミナー1.緑内障日常臨床のポイント 2010.11.11 神戸市

● 涙点径に基づいたスーパーイーグルプラグのサイズ選定の試作器具について

渡辺 仁
第64回日本臨床眼科学会 2010.11.12 神戸市

● 涙点プラグの新しい使い方-最新の涙点プラグを学ぼう-

渡辺 仁
第64回日本臨床眼科学会 涙点プラグ活用法 A to Z ランチョンセミナー 2010.11.12 神戸市

● 外科的治療 解決！ドライアイ

渡辺 仁
第64回日本臨床眼科学会 ランチョンセミナー 2010.11.13 神戸市

● インストラクションコース ドライアイスペシャリストの老舗 こだわり講座

渡辺 仁、島崎 潤、横井則彦
第64回日本臨床眼科学会 2010.11.13 神戸市

● ムチンって何？MUCで行こう！溢れ出すムチンの世界

渡辺 仁
参天オキュラーサーフェスフォーラム 2010.11.20 大阪市

講演会やテレビ出演

● 今、これだけは知っておきたい角膜感染症の診断と治療

渡辺 仁
加古川 高砂 眼科医会集談会 特別講演 2010.3.27 加古川市

● 症例から学ぶ角結膜疾患

渡辺 仁
岩手県眼科医会集談会 特別講演 2010.4.23 盛岡市

● 知っておきたいドライアイの診断と治療

渡辺 仁
鹿児島県眼科医会勉強会 特別講演 2010.7.17 鹿児島県

● 緑内障点眼薬での角膜上皮障害の見方とその治療

渡辺 仁
デュオドラバ発売記念講演会 特別講演 2010.9.4 神戸市

● これだけは知っておきたいドライアイの診断と治療

渡辺 仁
ドライアイ 特別講演会 2010.9.17 那覇市

● 症例から学ぶ角結膜疾患

渡辺 仁
兵庫県東部眼科医会講演会 特別講演 2010.11.6 西宮市

主催研究会

●
渡辺 仁
兵庫県オキュラーサーフェス研究会 2010.9.4 神戸市

●
渡辺 仁
武庫川眼科アカデミー 2010.10.2 西宮市

耳鼻咽喉科

論文・著書

● 長期経過後に遺伝性血管性浮腫と診断された反復性咽喉頭顔面浮腫例

細川清人、伊東真人、花本 敦、滝本泰光
耳鼻咽喉科臨床 103(9):851-857,2010

● メチレンブルー液を使用した副甲状腺の術中同定

細川清人、花本 敦、滝本泰光、伊東真人
耳鼻咽喉科臨床 103(10):947-951,2010

● ラリngoマイクロサージェリー下にのう胞開窓術を行ったLaryngoceleの1例

細川清人、伊東真人
日本気管食道学会会報 61(4):388-394,2010

学会報告

● 頭頸部癌との鑑別を必要とした梅毒感染症の1例

伊東真人、細川清人、花本 敦
第72回日本耳鼻咽喉科臨床学会 2010.7.2 岡山県

● 舌根部に膿瘍形成を認めた下極型扁桃膿瘍の1症例

滝本泰光、笹井久徳、伊東真人
第165回日耳鼻兵庫県地方部会 2010.7.3 神戸市

● Mohs軟膏の使用によりQOLの改善を認めた上咽頭がん頸部リンパ節転移症例

滝本泰光、伊東真人、笹井久徳、北村公二
第166回日耳鼻兵庫県地方部会 2010.12.5 西宮市

リハビリテーション科

論文・著書

- Noninvasive positive pressure ventilation for long-term ventilatory management

Toki A, Sumida M
Noninvasive Mechanical Ventilation Theory, Equipment, and Clinical Applications p.199-203 Springer 2010

- 特集/脊髄損傷のリハビリテーション-合併症に関する最近のトピックス-呼吸機能障害

土岐明子、住田幹男
Monthly Book Medical Rehabilitation (115):32-40,2010

- 在宅での排痰介助-カフマシーンなど-

土岐明子
脊損慢性期マネジメントガイド p.103-106 NPO法人日本せきずい基金 2010

学会報告

- 左片麻痺患者の応用歩行獲得に向けて療法を実施した1症例

山内佳美、福井浩之
第23回兵庫県理学療法士学会 2010.7.1 姫路市

- 重度手根管症候群に対する母指対立再建術後の母指対立機能の成績

中山 淳、田野確朗
第22回日本運動器リハビリテーション学会 2010.7.10 仙台市

- 人工関節全置換術患者の腰痛症状と骨盤傾斜および腰椎変形の関連

谷口陽一、花之内健二、栗田真吾、山本健吾、梶平 司、白井一郎、内山匡将、岡本浩明、松元典子、山内佳美、平田明日香、池田真治、大瀧俊夫、大園健二
第37回日本股関節学会 2010.10.1-22 福岡市

- 手指MP関節伸展位拘縮に対する動的スプリントの検討

中山 淳、西尾みのり、箕輪直子、大野弥生、草澤 愛、和田美波、堀木 充、田野確朗、大瀧俊夫
全国労災病院リハビリテーション技師会第40回全国研修会 2010.10.30 大阪市

講演会やテレビ出演

- (社)兵庫県理学療法士会の活動について

梶平 司
(社)兵庫県理学療法士会 平成22年度新人教育セミナー I 2010.6.20 神戸市

- 理学療法士、広がる役割

梶平 司
神戸新聞 2010.7.17 特集掲載 「きょう7月17日 理学療法の日」

放射線科

論文・著書

- 画像診断法の基礎-心臓核医学-PET

石田良雄
Journal of Clinical Echocardiography(心エコー) 11(2):152-167,2010

- F-18 FDG PETによる心臓サルコイドーシスの診断-有用性と限界

石田良雄、木曾啓祐、植田初江
日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌 30(1):77-80,2010

- 心サルコイドーシス-ステロイド治療-免疫抑制剤治療

石田良雄
PET journal 10:41,2010

- 虚血性心不全-心筋viability評価

石田良雄
PET journal 11:39,2010

- 拡張型心筋症-beta受容体遮断薬治療

石田良雄
PET journal 12:39,2010

- 心臓核医学の実践的応用-症例と解説-

石田良雄
メディカルレビュー社 2010

- 心・血管病の分子イメージングの原理・方法-対象臓器b.心筋

石田良雄
田原宣広 編 心・血管病の分子イメージング p.44-51 永井書店 2010

- 心疾患の診断・評価-虚血性心疾患

石田良雄
臨床医とコメディカルのための最新クリニカルPET p.172-178
先端医療技術研究所 2010

- 画像診断法-ラジオアイソトープ(RI)による画像計測

石田良雄
石原 謙 編 臨床工学講座 生体計測装置学 p.242-235
医歯薬出版社 2010

学会報告

- Superiority of cardiac MIBG clearance rate to conventional parameters in predicting effectiveness of beta-blocker therapy for patients with dilated cardiomyopathy

Ishida Y
Congress of Asian Society of Cardiovascular Imaging (ASCI) 2010.3.19
Taipei,Taiwan

- 当院における頭頸部シェルポイント&実状

橋本貴生
放射線治療研究会 2010.6.11 神戸市

● 胸膜原発MALT lymphomaの1例

中城和也
第113回核医学症例検討会 2010.8.7 大阪市

● 2次元検出器を用いた3軸断面線量分布検証ソフト開発の試み

樽谷和雄
第23回放射線腫瘍学会 2010.11.18 千葉県

講演会やテレビ出演

● Tc-99m MIBIを用いた心筋血流SPECTの新しい展開

石田良雄
第9回心臓核医学ミッドサマーセミナー特別講演 2010.7.17 大阪市

● 慢性冠動脈疾患と心臓核医学

石田良雄
日本心臓核医学会・大阪地区教育研修会I 教育講演
2010.10.2 大阪市

● 心臓核医学の心不全診断への応用

石田良雄
日本心臓核医学会・大阪地区研修会II 教育講演
2010.10.23 大阪市

主催研究会

●
石田良雄
日本心臓核医学会・関西地域教育研修会 2010.7.31 大阪市

●
渡辺 均
第21回阪神腹部画像診断研究会 2010.8.5 西宮市

●
石田良雄
第21回心臓核医学カンファレンス 2010.9.3 大阪市

麻酔科・中央手術部

論文・著書

● Pregnancy does not enhance volatile anesthetic sensitivity on the brain: an electroencephalographic analysis study

Ueyama H, Hagiwara S, Takashina M, Nakae A, Mashimo T
Anesthesiology 113(3):577-584,2010

● 【産科麻酔 基本的考え方から最新診療まで】全身麻酔を巡る問題点

上山博史
麻酔 59(3):357-361,2010

● 病的肥満患者の膝人工関節置換術に際し、超音波画像を用いて膝窩坐骨神経ブロックと持続大腿神経ブロックを施行した1症例

林 英明、上山博史
麻酔 59(10):1260-1262,2010

● 帝王切開術の術後鎮痛

上山博史
麻酔科学レクチャー 2(2):246-250,2010

● 腕神経叢ブロック:腕神経叢の解剖と腕神経叢ブロック総論

林 英明
柴田康之編 麻酔科学レクチャー 徹底ガイド末梢神経ブロックQ&A 2(3):453-458,2010

● 腕神経叢ブロック:鎖骨下法

林 英明
柴田康之編 麻酔科学レクチャー 徹底ガイド末梢神経ブロックQ&A 2(3):473-478,2010

● 超音波ガイド下末梢神経ブロックの基本

林 英明
小松 徹、藤原祥裕、益田律子編 周術期超音波診断・治療ガイド エルゼビア・ジャパン p.111-123 東京 2010

● 超音波ガイド下腕神経叢ブロック鎖骨下アプローチ

林 英明
小松 徹、藤原祥裕、益田律子編 周術期超音波診断・治療ガイド エルゼビア・ジャパン p.142-147 東京 2010

● 頸椎と傍頸椎領域:浅頸神経叢ブロック

林 英明
小松 徹、佐藤 裕、瀬尾憲正、廣田和美編 超音波ガイド下脊柱管・傍脊神経ブロックと超音波画像ポケットマニュアル 克誠堂出版 p.32-38 東京 2010

学会報告

● Clinical efficacy of ultrasound-guided supraclavicular brachial plexus block: outcome of 125 consecutive cases

Hayashi H, Ueyama H
13th Asian Australasian Congress of Anesthesiologists (AACA) 2010.6.1-5 Fukuoka, Japan

● Are children need more inhalational anesthetics? -EEG analysis study-

Kitada R, Ueyama H, Kiyonaka S, Hagihira S, Hayashi H
13th Asian Australasian Congress of Anesthesiologists (AACA) 2010.6.1-5
Fukuoka, Japan

● Are children need more inhalational anesthetics?

Kitada R, Ueyama H, Kiyonaka S, Hagihira S, Hayashi H
ASA2010 2010.10.16-20 San Diego, CA

● 硬膜外麻酔に際し硬膜穿刺を繰り返す硬膜穿刺後頭痛 (PDPH) が持続した症例に対する硬膜外血液パッチの経験

清中さわみ、林 英明、上山博史
日本麻酔科学会関西支部症例検討会 2010.4.18 大阪市

● 超音波ガイド下局所麻酔-基礎と最近の話題-上肢の解剖と超音波画像

林 英明
日本麻酔科学会第57回学術集会 2010.6.3-5 福岡市

● 簡易な禁煙 支援パンフレットを用いた麻酔科術前禁煙支援の現状と課題

末田 彩、久利通興、中川雅史、馬渡圭子、林 英明、上山博史
日本麻酔科学会第57回学術集会 2010.6.3-5 福岡市

● 麻薬製剤および供給方法の変更による麻薬払い出し量の変化

末田 彩、久利通興、来田 理恵、平田絵美、清中さわみ、上山博史
日本麻酔科学会第57回学術集会 2010.6.3-5 福岡市

● 脳波からみた小児と成人のセボフルラン感受性の違い

来田理恵、上山博史、萩平 哲、馬渡圭子、宮尾章士、林 英明
日本麻酔科学会第57回学術集会 2010.6.3-5 福岡市

講演会やテレビ出演

● 超音波ガイド下上肢神経ブロック

林 英明
麻酔集中治療ウルトラサウンドセミナー-2010 2010.2.5-7 北海道

● 医療ガス設備の保守管理(含、人工呼吸器)

林 英明
第16回第1種ME技術実力検定試験講習会 2010.4.18 大阪市

病 理 科

論文・著書

● 卵巣悪性移行上皮腫瘍の2例

若林和彦、中塚伸一、田中和子、横山雄一、棟方 哲
医学検査 59(6):794-798, 2010

● Castleman病

中塚伸一
癌診療指針のための病理診断プラクティス リンパ球増殖疾患 p.96-103
中山書店 2010

● Hodgkinリンパ腫

中塚伸一、水木満佐央
癌診療指針のための病理診断プラクティス リンパ球増殖疾患 p.104-126
中山書店 2010

● 皮膚T細胞リンパ腫

中塚伸一
癌診療指針のための病理診断プラクティス リンパ球増殖疾患 p.273-287
中山書店 2010

学会報告

● 壊死性筋膜炎の2剖検例

木村勇人、永野輝明、中塚伸一、星田義彦、小野寿子、後藤摩耶子、
倭 正也、伊藤公彦
第99回日本病理学会総会 2010.4.27-29 東京都

● 子宮体部原発の表層拡大型扁平上皮癌の1例

木村勇人、奥 和子、杉生憲二、山根三千秋、吉野龍一、中塚伸一、
星田義彦、大門映美子、堀 謙輔、伊藤公彦
第49回日本臨床細胞学会秋期大会 2010.11.21-22 神戸市

講演会やテレビ出演

● リンパ増殖性病変の診断プロセス

中塚伸一
第35回日本臨床細胞学会大阪府支部学術集会 2010.3.6 大阪市

● 前立腺癌の病理診断

中塚伸一
尼崎市泌尿器科医会 2010.6.17 尼崎市

歯科口腔外科

論文・著書

- 実習効果を高めるための準備 4.実習をイメージしてみよう
3)病院の歯科の仕組み

大西淑美
真木良信 監修 臨床実習HAND BOOK p.52-56
クインテッセンス出版株式会社 2010

学会報告

- 糖尿病教育入院患者の口腔衛生の実態

高野敬子
糖尿病セミナー 2010.1.27 堺市

- 口腔に初発症状を認めた肺原発全身多発転移癌の1例

平岡慎一郎
第28回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 2010.1.27-29 東京都

- がん患者さんが歯科受診したら…

大西淑美
兵庫県歯科衛生士会尼崎支部研修会 2010.3.27 尼崎市

- 急性期患者の口腔ケアについて

大西淑美、井上雅子、青木摩耶
百年記念病院職員研修会 2010.4.16 神戸市

- 関西労災病院における歯科衛生実態調査

高野敬子
第7回阪神糖尿病合併症セミナー 2010.6.4 西宮市

- 口腔ケアがQOLの維持に有効であった肺がん原発、上顎歯肉転移患者の1例

大西淑美、渡部昌美、平岡慎一郎
第15回日本緩和医療学会総会・学術大会 2010.6.18-19 東京都

- 病棟口腔ケア最前線-急性期から終末期まで-

大西淑美
社会歯科学研究会 歯科衛生士最前線シンポジウム 2010.6.27 東京都

- 歯科診療における糖尿病患者への対応

高野敬子
日本歯科衛生士学会 シンポジウム 2010.9.18-20 千葉県

- ビスホスホネート系薬剤関連顎骨壊死患者における口腔ケアの役割と有用性について

大西淑美、平岡慎一郎、全正彰、伊藤 章、高野敬子、寺西典子、
北村龍二
第5回日本歯科衛生士会学術大会 2010.9.18-20 千葉県

- 兵庫県歯科衛生士会の「口腔ケアリーダー養成講座」方向性の検討-参加者へのアンケート調査より-

米田真理子、大西淑美、朝田美鈴ほか
第5回日本歯科衛生士会学術大会 2010.9.18-20 千葉県

- 味覚発生における神経栄養因子の役割

伊藤 章
第8回国際シンポジウム「味覚嗅覚の分子機構」2010.10 福岡県

- ビスホスホネート系薬剤関連顎骨壊死において口腔ケアが有用であった1症例

大西淑美、平岡慎一郎、木全正彰、北村龍二
第19回日本口腔感染症学会総会・学術大会 2010.11.5-6 吹田市

- 緩和医療における口腔ケアの可能性-がん治療から始まるチーム医療-

大西淑美
第19回日本口腔感染症学会総会・学術大会 2010.11.5-6 吹田市

- 治療に難渋した頸部郭清術後リンパ漏の1例

平岡慎一郎
第22回日本口腔科学会近畿地方部会 2010.11.27 大阪市

講演会やテレビ出演

- 保湿剤について-基礎編-

大西淑美
兵庫県歯科衛生士会口腔ケアリーダー養成講座アドバンスコース
ランチョンセミナー 2010.4.26 八鹿市

- 保湿剤について-臨床編-

大西淑美
兵庫県歯科衛生士会口腔ケアリーダー養成講座ベーシックコース
ランチョンセミナー 2010.5.23 神戸市

- 急性期から終末期における病院歯科衛生士の役割

大西淑美
愛知県歯科衛生士会2010年度研修会 2010.7.25 愛知県

- ドライマウス

北村龍二
尼崎市歯科医師会大庄支部勉強会 2010.12.11 尼崎市

医療情報部・診療情報管理室

学会報告

- 病歴データの活用-当院におけるがん入院患者の病歴の特異性抽出の試み-

松本佳緒里、安井邦枝、富永幾代、三渡直美、帖佐晴美、山際美代子、
長谷川由佳、山口亜依、和田安彦
第58回日本職業・災害医学会学術大会 2010.11.5-6 千葉県

薬 剤 部

論文・著書

- 循環器病棟における持参薬チェックの完全実施とクリティカルパスへの応用に向けた取り組み

松本 篤、山内祐人、堀川泰清、韓 秀妃
日本病院薬剤師会雑誌 46(6):800-803,2010

- 乳癌薬物療法症例における薬剤管理指導業務

川崎英二
Patient Instruction in Cancer Chemotherapy 特別号 II 11-13,2010

学会報告

- 外来内服抗がん剤治療に対する病院薬剤部の関わり

川崎英二、下川福子、韓 秀妃
第31回日本病院薬剤師会近畿学術大会 2010.1.30-31 京都市

- 抗悪性腫瘍薬ドキシル注の使用報告と薬剤師の関わり

兼行由佳、川崎英二、韓 秀妃
第31回日本病院薬剤師会近畿学術大会 2010.1.30-31 京都市

- 外来内服抗がん剤治療に対する病院薬剤部の関わり

川崎英二、下川福子、韓 秀妃
兵庫県病院薬剤師会尼崎支部会 2010.2 尼崎市

- 抗悪性腫瘍薬ドキシル注の使用報告と薬剤師の関わり

兼行由佳、川崎英二、韓 秀妃
兵庫県病院薬剤師会尼崎支部会 2010.2 尼崎市

- ラパチニブ療法における外科と薬剤部とのチーム医療

川崎英二、柄川千代美、下川福子、吉田敦子、宇治公美子、柳井亜矢子、
高塚雄一
第123回阪神乳癌疾患懇話会 2010.3.5 大阪市

- 糖尿病の薬物治療

朝岡 哲
尼崎市薬剤師会・関西労災病院薬剤部合同研修会 2010.12.4 尼崎市

講演会やテレビ出演

- がん化学療法レジメン審査における薬剤師の役割の現状と課題

川崎英二
兵庫県がん診療連携協議会第2回薬剤師セミナー 2010.1 神戸市

- 緩和ケア-明日から使える疼痛管理-

韓 秀妃
兵庫県保険医協会薬科部研究会 2010.9.4 神戸市

- 関節リウマチ治療薬の指導のポイント

韓 秀妃
第36回神戸薬科大学リカレントセミナー 2010.10.17 神戸市

主催研究会

韓 秀妃
兵庫県病院薬剤師会尼崎支部会 2010.2 尼崎市

朝岡 哲
尼崎市薬剤師会・関西労災病院薬剤部合同研修会 2010.12.4 尼崎市

看護部

論文・著書

● 外来化学療法センターを訪ねて

弘岡貴子
医薬の門 49(6):34-35,2010

● 治療に伴う副作用に対するケアとセルフケア支援

上野洋子
がん患者ケア 9・10月号:43-48,2010

● 外来がん化学療法看護 お助けポケット手帳

弘岡貴子、加納徳美
高塚雄一 監修 メディカ出版 2010

● 狭心症、心筋梗塞

友政淳子、櫻井文乃
佐藤千史/井上智子 編 病態生理ビジュアルマップ 1p.77-93
医学書院 2010

学会報告

● 壮年期ストーマ保有者への心理的サポートのために

渡邊光子
日本ストーマ排泄リハビリテーション学会 2010.2.13 京都市

● 緩和的ストーマ造設後の食事経口摂取再開とその影響に関する実態調査

渡邊光子
第19回日本創傷・オストミー・失禁管理学会 2010.5.8-9 東京都

● 循環器領域の急変時対応-看護師として大切なこと・必要なこと-

境 敏恵
近畿コメディカル循環器・集中治療研究会 2010.6.19 大阪市

● 腹部離解創への効果的な陰圧閉鎖療法の1考察

渡邊光子
兵庫褥瘡・皮膚潰瘍研究会 2010.7.3 神戸市

● バスキューアアクセス作成後にトラブルを抱えた高齢患者2事例への看護を振り返る

山口美佳、田尻朝子、松浦美佐
中之島カンファレンス第20回 2010.7.3 大阪市

● 脳神経外科診療におけるニューロナースの実効性

松本恭子、久下景子他
第69回日本脳神経外科学会学術総会 2010.10.27-29 福岡市

● チーム医療のためのオールインワンパスの構築

久下景子
第58回日本職業・災害医学会学術大会 2010.11.5 千葉県

● 電子カルテシステム導入後におけるNST活動の現状と課題

柳智恵子、田村茂行、萩原秀紀、三木宏文、朝岡 哲、芝原裕和、
長尾美恵、大西淑美、久下景子
第58回日本職業・災害医学会学術大会 2010.11.5 千葉県

講演会やテレビ出演

● 関西労災病院の地域連携(現状と課題)

姫野勝子
尼崎市地域包括支援センター 2010.2.24 尼崎市

● 乳がん化学療法における入院時の患者教育と副作用対策

加納徳美
Kinki taxotere breast cancer forum 2010.3.20 大阪市

● コンサルテーション概論

渡邊光子
認定看護師教育課程 全科共通科目 兵庫県看護協会 2010.6.2 神戸市

● 明日からできる褥瘡ケア

渡邊光子
関西創傷セミナー 2010.7.17 神戸市

● 相談の実際

渡邊光子
認定看護師教育課程 皮膚排泄ケアコース 兵庫県看護協会
2010.8.23 神戸市

● 進行がん患者にみられる身体的症状と看護

早川昌子
ナースのためのホスピス緩和ケア研修 2010.8.28 神戸市

● 再発カンファレンス・乳がん看護のセカンドオピニオン

早川昌子
第7回日本乳癌学会中部地方会 2010.9.5 名古屋市

● 実践！創傷・褥瘡・脆弱皮膚のスキンケア

渡邊光子
予防的スキンケアの実際 2010.9.18 大阪市

● 院内助産・助産師外来の意義と開設・運営の実際

岩永千秋
院内助産・助産師外来開設のための研修 2010.10.5, 12.7 神戸市

● 災害対策の現状・課題と問題点

崎園雅栄
第58回日本職業・災害医学会学術大会 2010.11.5 千葉県

● 皮膚排泄ケア講義

渡邊光子
認定看護師教育課程 2010.11.10 神戸市

● 私にできる災害看護

崎園雅栄
兵庫県看護協会東阪神支部研修会 2010.11.13 尼崎市

● 乳がん術後補助療法の看護

加納徳美
第19回北和乳腺フォーラム 2010.11.18 奈良市

● 急変時の看護(BLSとAEDを用いた実技演習)

境 敏恵
阪神南圏域再就業支援研修 兵庫県看護協会 2010.12.2 西宮市

● がん対策推進育成コース(第1回目)

上野洋子
尼崎市民健康増進スクール 2010.12.22 尼崎市

検査科

学会報告

- 子宮に転移した浸潤性小葉癌の1例

長友忠相、中塚伸一、永野輝明、木村勇人、奥 和子 山根三千秋、
杉生憲二、吉野龍一、伊藤公彦、尾崎公章
第51回日本臨床細胞学会春期大会 2010.5.31 横浜市

- 膀胱原発小細胞癌の1例

杉生憲二、中塚伸一、永野輝明、木村勇人、奥 和子 山根三千秋、
吉野龍一、長友忠相、山尾 裕、川端 岳
第49回日本臨床細胞学会秋期大会 2010.11.22 神戸市

- 乳頭に限局した浸潤性乳管癌の1例

長友忠相、中塚伸一、永野輝明、木村勇人、奥 和子 山根三千秋、
杉生憲二、吉野龍一、小野寿子、高塚雄一
第49回日本臨床細胞学会秋期大会 2010.11.22 神戸市

- 精度管理調査の方法と管理試料の問題点

芝原裕和
第50回近畿医学検査学会 2010.12.11 奈良市

講演会やテレビ出演

- 生化学自動分析装置BM6070を24時間運用する 為のKnow How

芝原裕和
第2回クリナ会近畿セミナー 2010.6.13 大阪市

栄養管理室

学会報告

- 特定保健用食品の使用状況調査-糖尿病患者と非糖尿病患者との比較-

和田幸恵、橋本美津代、長尾美恵、森川侑佳、佐々木周伍、山本裕一、
林 功、五郎川伸一
第53回日本糖尿病学会年次学術集会 2010.5.27-29 岡山市

勤労者予防医療センター

学会報告

● メタボリック症候群改善のための運動指導

高野賢一郎
第45回日本理学療法士協会学術大会 2010.5.27-29 岐阜市

● 新しい職域の中でいかに理学療法アプローチを確立するか「産業保健分野の理学療法」

高野賢一郎
第45回日本理学療法士協会全国学術研修大会 2010.10.1-2 松山市

● 企業における包括的腰痛予防対策(第1報)

高野賢一郎
第40回全国労災病院リハビリテーション技師会全国研修会
2010.10.30-31 大阪市

● 禁煙と減量を同時に進める保健指導の有効性

老谷るり子、高野賢一郎、増田潤子、鈴木恵美子、山縣英久、横川朋子
第58回職業・災害医学会 2010.11.5-6 千葉県

● 職種別体操の効果(タクシードライバー)-体操パンフレットの 実践率とその効果-

高野賢一郎、山縣英久
第58回職業・災害医学会 2010.11.5-6 千葉県

講演会やテレビ出演

● ストレス関連障害と職場のストレス対策

老谷るり子、増田潤子、高野賢一郎
第9回予防医療ネットワーク研修会 2010.3.5 尼崎市

● 勤労者の禁煙支援

老谷るり子
徳島産業保健推進センターセミナー 2010.6.9 徳島市

● 肩こりの予防改善

高野賢一郎
徳島産業保健推進センターセミナー 2010.6.9 徳島市

● メタボリックシンドローム予防のための食事

増田潤子
兵庫産業保健推進センターセミナー 2010.6.28 神戸市

● 30代メタボ予備軍のための運動指導の方法(実技)

高野賢一郎
兵庫産業保健推進センターセミナー 2010.6.28 神戸市

● 若年性のがん患者の家族のメンタルサポート-がんの家族を 看取って医療についてあらためて考えたこと-

老谷るり子、増田潤子、高野賢一郎
第10回予防医療ネットワーク研修会 2010.8.30 尼崎市

● 食事バランスガイドの使い方

増田潤子
兵庫産業保健推進センターセミナー 2010.9.1 神戸市

● セルフエフィカシーを高める運動指導のポイント(実技)

高野賢一郎
兵庫産業保健推進センターセミナー 2010.9.1 神戸市

● 勤労者の禁煙支援

老谷るり子
兵庫産業保健推進センターセミナー 2010.9.28 神戸市

● メタボリックシンドローム予防のための食事

増田潤子
徳島産業保健推進センターセミナー 2010.10.27 徳島市

● 30代メタボ予備軍のための運動指導の方法

高野賢一郎
徳島産業保健推進センターセミナー 2010.10.27 徳島市

主催研究会

●

老谷るり子
第9回予防医療ネットワーク研修会 2010.3.5 尼崎市

●

老谷るり子
第10回予防医療ネットワーク研修会 2010.8.30 尼崎市

産業中毒センター

論文・著書

- Speciation analysis of arsenics in commercial hijiki by HPLC-tandem-MS/MS and HPLC-ICP-MS
Shimoda Y, Suzuki Y, Endo Y, Kato K, Tachikawa M, Endo G, Yamanaka Y
J Health Sci 56(1):47-56,2010
- シックハウス症候群における活動性追従眼球運動と瞳孔反応の有効性の検討
小川真規、横沢冊子、吉田辰夫
日本職業・災害医学会会誌58(2):65-69,2010
- 二次健康診断としての生物学的モニタリングの実施状況
圓藤吟史、芦田敏文、圓藤陽子、川本俊弘、道辻広美、山瀧 一
労働衛生管理 21(2):41-44,2010

学会報告

- New biological indicator for inorganic arsenic exposure
Hata A, Endo Y, Habib MA, Shimoda Y, Yamanaka Y, Endo G
IOHA 2010 2010.9.28-10.2 Rome, Italy
- Arsine metabolism based on the speciation analysis of serum and urine from a patient
Yamanaka K, Endo Y, Shimoda Y, Yoshimura Y, Endo G
IOHA 2010 2010.9.28-10.2 Rome, Italy
- バングラディシュ人民共和国・ヒ素汚染地区住民の尿中形態別ヒ素濃度について
畑 明寿、圓藤陽子、Habib M.A.、山中健三、藤谷 登、圓藤吟史
第80回日本衛生学会学術総会 2010.5.9-11 仙台市

講演会やテレビ出演

- 新しい化学物質とその対策
圓藤陽子
大阪府医師会産業医研修会 2010.8.1 大阪市

教育・研修センター

論文・著書

- 認知症
田口敬子、山縣英久、三木哲郎
日本臨床 2010年8月増刊号 遺伝子診療学第2版-遺伝子診断の進歩とゲノム治療の展望- p.406-411 日本臨床社 2010
- 精神・神経疾患
山縣英久
改訂版 分子予防環境医学-生命科学研究の予防・環境医学への統合-
分子予防環境医学研究会編 p.529-538 本の泉社 2010
- 講演会やテレビ出演
- 中毒学入門 地下鉄サリン事件、有機リン化合物と拮抗剤
山縣英久
京都大学大学院医学研究科特別講義 2010.6.16 京都市

関西労災病院 臨床・学術業績集2010年

関西労災病院 Now2011 別冊

発行日 2011年7月

発 行 独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院
〒660-8511 尼崎市稲葉荘3丁目1番69号
TEL: 06-6416-1221
FAX: 06-6419-1870

印 刷 宏和印刷株式会社
〒590-0057 大阪府堺市堺区御陵通3番17号
TEL: 072-223-0180